令和7年度

社会調査実習報告書

第　14　号

淑徳大学
コミュニティ政策学部

はしがき

本報告書は、淑徳大学コミュニティ政策学部コミュニティ政策学科の「社会調査実習」を履修した学生の調査研究の成果である。

コミュニティ政策学科では、専門科目（社会学分野）の教育目標に「社会事象や社会に関連する諸事実を明らかにするために、データの収集から分析にいたるまでの基礎的な事柄を理論と方法の両面から理解する」ことを据え、コミュニティ研究の方法の１つである社会調査を学生が体系的に学習するためのカリキュラムを組んでいる。１年次前期に「社会調査論」、１年次後期に「社会調査法」、２・３年前期に「統計解析法」と「社会統計学」、２・３年後期に「応用統計解析法」を履修する。これらの計５科目の単位を修得済みであることが、３・４年前期開講の「社会調査実習」の履修条件となっている。

「社会調査実習」は、それまでの各社会調査関連科目での学びの集大成として、研究テーマの設定から、テーマに関わる仮説および分析方法の検討、調査票の作成、実査、データの集計と解析、そして報告書による成果の公表という社会調査の一連の過程に、学生が主体となって取り組むものである。

令和７年度の科目担当教員は本多敏明と青柳涼子であり、履修学生は７名であった。７名ともこの「社会調査実習」の単位修得をもって「社会調査士資格」取得に必要な科目をすべて履修済みとなる。

令和７年度は、首都圏のベッドタウンのひとつとして旧日本住宅公団によっていち早く整備された集合住宅地である千葉市美浜区幸町２丁目を対象とした。最大で約 19,000 人の人口は、現在では半数に減るとともに、高齢化が約 32%を超えるなどまちのありようも変わらざるをえない。こうしたなか団地自治会や社会福祉協議会や地域包括支援センター等で構成され、まちの課題を共有し協力して解決に取り組む「幸町２丁目連携会議」がまちの現状を把握する必要があり、協力して実施した。今回は主にまちのイベント認知・参加状況、住民同士の交流、まちに対する評価などについて尋ねるとともに、まちのイベントの認知度を高めることも目的とした。

調査にあたっては、調査にご回答いただいた方々はもとより、「幸町２丁目連携会議」の皆さまに調査項目や配布・回収作業に至るまで多大なご協力をいただいた。ここに記して感謝を申し上げたい。

淑徳大学コミュニティ政策学部
教　授　本多　敏明
教　授　青柳　涼子

目　次

はしがき ····· 本多　敏明・青柳　涼子···· i

第１章　調査概要 ····· 本多　敏明····· 1
第２章　地域住民の交流と地域愛着度の関係性 ···· 田村　凛心····· 3
第３章　地域住民との関係性が地域愛着度に与える影響の分析
····· 中澤　歓乃····· 8
第４章　地域愛着と地域イベント運営参加意欲との関連
····· 川鍋　花純····· 14
第５章　地域での人とのつながりおよび定住意向と防災行動との関連
····· 横山　陽····· 18
第６章　異なる世代との日常的な交流と生活満足度の関連
····· 竹腰　直希····· 23
第７章　定住意向と地域課題に対する住民の意識との関連
····· 渡部　瑞季····· 27
第８章　地域での人とのつながりと地域課題関心 ·· 荒井　響····· 31
第９章　イベント参加意向を規定する要因に関する分析
····· 青柳　涼子····· 34
あとがき ····· 本多　敏明・青柳　涼子···· 41

付録
単純集計表 ····· 45
自由記述 ····· 71
調査票 ····· 83

第１章　調査概要

本多　敏明

１．調査目的と調査連携先

本調査の目的は、千葉市美浜区幸町２丁目の全世帯を対象に、地域イベントの参加状況や認知度、地域での交流頻度等を尋ね、人びとの地域愛着やまちの満足度を形成する要因を明らかにすることにある。

本調査は「幸町２丁目連携会議」と連携して実施した。「幸町２丁目連携会議」は、自治会や民生委員、社会福祉協議会地区部会等の住民組織ならびにあんしんケアセンター（地域包括支援センター）や民間の高齢者施設また市の保健福祉センター等から構成されており、地域の情報の共有化を進め、課題解決に取り組む団体である。

２．調査名称と調査対象

本調査の調査名と主な調査項目は、以下のとおりである。

調査名：暮らしぶりに関するアンケート

主な調査項目：

- まちのイベント参加経験
- 今後のまちのイベント参加意欲
- イベント運営協力意欲
- まちの定期イベント認知度
- 共用スペース交流頻度
- 家族や仕事以外での異なる世代との交流頻度
- 地域愛着
- 相談相手（体調不良時）
- 相談相手（嫌がらせを受けた時）
- 相談相手（近所の DV に気づいた時）
- 定住意向
- まちの満足
- 個人の生活満足
- 調査の感想やまちづくりに対するお考え（自由記述）

調査対象者は、千葉市美浜区幸町２丁目在住の全世帯である。対象者の年齢は 18 歳以上で上限は設けなかった。表１－１は、調査対象地域の性別年齢別人口と回答者を示している。

表１－１　住民基本台帳に基づく人口（左）と回答者（右）

	男	女	総数		男	女	総数	（上段：%） （下段：人）
18-29歳	8.3%	7.9%	16.2%	18-29歳	0.5%	1.7%	2.1%	
	837	797	1634		4	14	18	
30歳代	6.5%	4.6%	11.1%	30歳代	1.5%	2.5%	4.0%	
	656	461	1117		13	21	34	
40歳代	6.0%	5.8%	11.9%	40歳代	2.7%	3.8%	6.5%	
	609	586	1195		23	32	55	
50歳代	10.5%	8.8%	19.4%	50歳代	7.0%	9.5%	16.5%	
	1061	889	1950		59	80	139	
60歳代	6.7%	6.7%	13.4%	60歳代	10.3%	11.3%	21.6%	
	679	671	1350		87	95	182	
70歳代	6.6%	8.0%	14.6%	70歳代	9.1%	14.3%	23.4%	
	665	804	1469		77	120	197	
80歳代	4.6%	7.3%	11.9%	80歳代	7.2%	14.4%	21.6%	
	464	739	1203		61	121	182	
90歳以上	0.5%	1.1%	1.5%	90歳以上	1.5%	2.6%	4.2%	
	47	108	155		13	22	35	
全体	49.8%	50.2%	100.0%	全体	40.0%	60.0%	100.0%	無回答 35名
	5018	5055	10073		337	505	842	

「18–29 歳」「30 歳代」「40 歳代」の回答者割合が少なかった。なお「18 歳」回答者はいなかった。最年少は「19 歳」、最高齢は「96 歳」だった。

３．調査方法と回収方法

調査期間は、2025 年６月 23 日～７月 15 日だった。

(1) 配布方法：「タウンプラス」およびポスティング

UR 団地以外の集合住宅：タウンプラス（2025 年６月 23 日）

UR 団地および 19 番地自治会：ポスティング（2025 年６月 24 日・25 日）

(2) 回収方法：郵送および地域内の各回収ボックス

(3) 有効回収数・率

表１－２　居住形態別の配布方法・配布日・配布数と回収数・率

居住形態	配布者（方法）	配布日	配布数	居住形態（再カテゴリー）	回収数	回収率
UR賃貸	生活支援アドバイザー（ポスティング）	2025年6月25日（水）・26日（木）	3673	UR賃貸	454	12.4%
UR分譲	学生（ポスティング）	2025年6月24日（火）	1140	UR分譲	196	17.2%
分譲マンション（非UR）	郵便（タウンプラス）	2025年6月23日（月）	946	分譲マンション（非UR）	161	17.0%
19番地	学生（ポスティング）	2025年6月24日（火）	85	その他	66	35.9%
しょうじゅレジデンス	あんしんケア職員（施設職員経由）	2025年6月30日（月）	99	その他		
全体			**5943**		**877**	**14.8%**

単純集計結果および自由記述結果は巻末に掲載した。

本調査は全数調査のため、本来は統計的検定は不要であるが、参考までに記載する。

第２章　地域住民の交流と地域愛着度の関係性

田村　凛心

本章では、地域住民の交流と地域愛着度との関係性について検討する。

近年、都市部の住宅地では住民同士の関係性が弱まり、地域コミュニティの機能低下が指摘されており（地域コミュニティに関する研究会 (2022)）、地域コミュニティの機能低下を阻止できるかどうかが重要な課題となっている。とくに団地のような集合住宅では、住民の交流や地域行事への参加のあり方が、地域に対する愛着や安心感の形成にどの程度影響を及ぼすのかを明らかにする必要がある。

そこで本章では、主に居住者の交流行動に注目し、共有スペースでの交流や地域イベント参加が住民の地域愛着にどのように関連するのかを明らかにすることを目的とする。

具体的には、以下の２つの仮説を検証する。

仮説１　共用スペースでの交流がある人ほど、地域愛着度が高い
仮説２　地域イベントの参加経験が多い人ほど、地域愛着度が高い

１．共用スペースでの交流と地域愛着度の関連について

仮説１「共用スペースでの交流がある人ほど、地域愛着度が高い」を検証する。共用スペースでの交流の頻度を独立変数、地域愛着度を従属変数とする。

（1）共用スペースでの交流度

共用スペースでの交流について尋ねた項目は、以下の７項目である。

Q5a　幸町公民館
Q5b　幸町子育てリラックス館
Q5c　ふくふく広場
Q5d　幸町団地内の各集会所
Q5e　団地以外の自治会館の集会所や集会室
Q5f　幸町団地内の公園
Q5g　千葉市が管轄する公園

上記７項目それぞれについて用意した回答の選択肢は、「かなり交流がある」「たまに交流がある」「あまり交流がない」「まったく交流がない」「利用したことがない」の５つである。調査対象者の共用スペースでの交流を算出するために、まず「かなり交流がある」「たまに交流がある」を「交流あり」、「あまり交流がない」「まったく交流がない」を「交流なし」に統合し、「利用したことがない」はそのまま用いた。

（2）地域愛着度の尺度化

地域愛着度を測定するために尋ねた項目は、以下の 10 項目である。

Q7a　このまちはリラックスできる
Q7b　雰囲気や土地柄が気に入っている
Q7c　このまちを歩くのは気持ちよい
Q7d　お気に入りの場所がある
Q7e　自分のまちという感じがする
Q7f　このまちが好きだ
Q7g　まちに思い出がある
Q7h　まちに自分の居場所がある
Q7i　このまちは住みやすい
Q7j　このまちにずっと住みたい

回答の選択肢は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４つで、「あてはまる」に３点、「どちらかといえばあてはまる」に２点、「どちらかというとあてはまらない」に１点、「あてはまらない」に０点を与えた。

10 項目の信頼性係数は、α＝0.934 と 0.7 以上であり、内的一貫性が確認された。そこで 10 項目の総和を算出し、地域愛着尺度を作成した。理論値は最小値０、最大値 30、得点が高いほど地域愛着度が高いことを意味している。結果、記述統計は以下のようになった。平均値 18.07、標準偏差 6.94、最小値０、最大値 30、歪度-0.31、尖度-0.11。

（3）共用スペースでの交流と地域愛着度の分散分析

共用スペースにおける交流と地域愛着度の関連を分析するため、共用スペースでの交流度と前節の手順で作成した地域愛着尺度を用いて、一元配置の分散分析を行った。

表２－１　幸町公民館での交流と地域愛着度の関連（一元配置分散分析）

共用スペース交流	n	地域愛着度の平均値	標準偏差
交流あり群	137	21.38	6.24
交流なし群	357	17.89	6.43
利用したことがない群	271	16.52	7.21
F値＝24.2	p＜.001		

表２－２　幸町公民館での交流と地域愛着度の多重比較

共用スペース交流	n	地域愛着度の平均値		
交流あり群	137	21.38	***	***
交流なし群	357	17.89		
利用したことがない群	271	16.52	*	

*:p<0.05　***:p<0.001

その結果、F 値 24.2、p 値は＜0.001 を示した。0.1%水準で有意なため２変数には何らかの関連があると考えられる。しかしどの群のあいだに有意な差があるかわからないので、Tukey の多重比較を行ったところ、交流あり群×交流なし群、交流あり群×利用したことがない群の間に 0.1%水準で有意な差があり、交流なし群×利用したことがない群では５%水準で有意な差があることがわかった。表２－２の通り、「交流あり群」の地域愛着度の平均値のほうが、他の２群と比べて高い。このことから、共用スペースで交流がある人ほど地域愛着度が高い傾向が示された。また、他の６項目も分散分析を行ったが、「幸町公民館」（表２－１）と結果に大きな差が見られなかったため、本稿では詳細な提示は割愛する。

２．地域イベントの参加経験が多い人ほど、住民の地域愛着度が高い。

続いて仮説２「地域イベントの参加経験が多い人ほど、住民の地域愛着度が高い」を検証する。仮説１と従属変数が同じであることから、地域イベントの参加経験を独立変数に加えて、住民の地域愛着度を従属変数とする重回帰分析をおこなう。

（1）地域イベントの参加経験

地域イベントの参加経験について尋ねた項目は、以下の８項目である。

Q1a　UR イベント（民族楽器演奏会、親子体操、健康体操、自習室など）
Q1b　自治会主催イベント（団地祭り、七夕祭り、もちつき）
Q1c　幸町２丁目地区部会イベント（高齢者委員会：お楽しみ会、長寿を祝う会）
Q1d　幸町２丁目地区部会イベント（障害者福祉委員会：ボッチャ、バス旅行）
Q1e　幸町２丁目地区部会イベント（児童母子福祉委員会：料理教室、ボーリング大会）
Q1f　幸町２丁目地区部会イベント（ボランティア委員会：地区部会だより発行作業）
Q1g　青少年育成委員会イベント（オータムスクール）
Q1h　幸町子育てリラックス館イベント（にんぎょうげき、育児相談と身体測定、わいわいたいむ）

それぞれの項目の回答選択肢は「何度も参加したことがある」「数回参加したことがある」「参加したことがない」「知らなかったが参加したい」の４つで、それぞれ「何度も参加し

たことがある」に２点、「数回参加したことがある」に１点、「参加したことがない」「知らなかったが参加したい」に０点を与えた。

これらを合成変数にするために、信頼性係数を算出したところ、信頼性係数は、0.712 と 0.7 以上であるため、内的一貫性が確認できた。そこで、８項目の総和を算出する。理論値では最小値０､最大値 16 で得点が高いほど地域イベント参加経験度が高いことを意味する。結果、平均値 1.48、標準偏差 1.99、最小値０、最大値 16、歪度 2.80、尖度 11.7。

（2）共用スペース利用度の尺度化

共用スペースでの交流を独立変数として用いるために、分析当初は「利用したことがない」の回答者を「非該当」として除外して尺度をつくったが、度数が 260 にまで減ってしまった。そのため、「かなり交流がある」「たまに交流がある」「あまり交流がない」「まったく交流がない」を「１＝利用したことがある」に統合し、「０＝利用したことがない」に２値化したうえで尺度化をおこなった。合成変数にするために、信頼性係数を算出したところ、信頼性係数は、0.916 と 0.7 以上であるため、内的一貫性が確認できた。そこで、７項目の総和を算出する。理論値では最小値０、最大値７で得点が高いほど地域愛着度が高いことを意味する。結果、平均値 3.79、標準偏差 2.76、最小値０、最大値７、歪度-0.88、尖度-1.56。

（3）性別と年代

独立変数として「性別」と「年代」を投入するにあたってダミー変数を作成した。「性別ダミー（男性＝１、女性＝０）」「39 歳以下ダミー」「40 歳～69 歳ダミー」である。

また、「性別」の「３.その他」「４．答えたくない」は回答が少数であったため、欠損値として処理した。

（4）地域愛着度を従属変数とする重回帰分析

地域愛着度を従属変数に、性別（男＝１）、年齢（70 歳以上を基準）、共用スペース利用尺度、地域イベント参加尺度を独立変数にした重回帰分析を行った。分析の結果、共用スペース利用尺度が５％水準、地域イベント参加尺度が１％水準で有意だった。共用スペース利用尺度の標準化係数（標準化β）が 0.08 に対して、地域イベント参加尺度の標準化係数（標準化β）は 0.26 により、地域イベントに参加することは共用スペースを利用することよりも約３倍ほど地域愛着度を高めることを示している。

表２－３　地域愛着度を従属変数とする重回帰分析

		β	標準化β	p値
性別（男＝1、女＝0）		−0.68	−0.05	0.189
年代				
	（39歳以下＝1）	1.64	0.06	0.103
	（40歳～69歳＝1）	0.24	0.01	0.642
共用スペース利用尺度		0.19	0.08	0.041
地域イベント参加尺度		0.98	0.26	<.001
定数				
			n=656	
			p <0.001	
			adj.R^2=0.087	

３．考察

本章では、まず「共用スペースでの交流がある人ほど、地域愛着度が高い」という検証を行った。分散分析の結果、地域愛着度は「交流あり群」が最も高く、仮説が立証されたといえる。この結果は、たんに団地内に集会所や公民館などの共用スペースが存在し、それをただ利用するだけでなく、その場において地域住民同士のあいさつや会話といった「他者との交流」が行われることが、住民の地域に対する愛着に関係していることを示唆する。つまり、物理的な施設の設備にとどまらず、そこを拠点とした地域住民のつながりが地域への愛着や親近感を深める上で重要な役割を果たしている可能性が高い。

次に、「地域イベントの参加経験が多い人ほど、住民の地域愛着度が高い」という検証を行った。重回帰分析の結果、地域イベント参加尺度は地域愛着度に対して有意な影響を与えており、仮説が立証されたといえる。一般に、イベントへの参加は時間や労力を要するものであり、住民にとっては心理的、物理的な負担を伴う行動である。それにもかかわらず、あえてその場に足を運ぶという行動が選択されている事実がある。すなわち、イベントの参加は、地域愛着を高める要因といえる。このことから、イベントはたんなる催し物ではなく、住民が地域への愛着を再確認できる重要な機会として考えられる。

以上の結果から、共用スペースにおける日常的な交流と、地域イベントへの積極的な参加の双方が、地域愛着度を高める要因であることが示された。近年、都市部の集合住宅においては住民間の人間関係の希薄化が指摘されているが、本研究の結果は、住民同士が日常的に顔を合わせる機会や、地域イベントを通じた能動的な関わりが、地域愛着度の向上に寄与していることを示唆している。したがって、今後のまちの運営においては、共用スペースの利便性を高めて自然な交流を生む仕掛けづくりを行うだけでなく、住民が地域への愛着を行動に移せるようなイベントを継続的に実施していくことが、住民の地域愛着を育み、安心できる住環境を形成するために不可欠であると言える。

引用文献

地域コミュニティに関する研究会（2022）「地域コミュニティに関する研究会　報告書」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000819371.pdf（最終閲覧 2025/12/17）

第３章　地域住民との関係性が地域愛着度に与える影響の分析

中澤　歓乃

１．問題意識と仮説

本章では、住民間の人間関係の快適さと物理的な快適さの、どちらがより地域愛着度に大きな影響を与えるのか、また、地域における人とのつながりの強さは、地域愛着度にどのような影響を及ぼしているのかを分析し、その結果を報告する。

地域における人間関係の快適さは、その地域においてのみ形成される関係性である点に特徴がある。そこで本章では、こうした人間関係の快適さと物理的な生活環境の快適さを比較し、どちらが地域愛着度により強く影響しているのかを明らかにする。さらに、その中でも地域住民とのつながりの強さに着目して分析を行うことで、調査対象地域の活性化に向けた課題や方向性を検討し、地域の発展に資する知見を得ることを目的とする。

具体的には、以下の２つの仮説について検討する。

仮説１　地域住民との人間関係の快適さは、物理的な生活環境の快適さよりも、地域愛着度に与える影響が大きい

仮説２　地域での人とのつながりが強い人はそうでない人よりも、地域愛着度が高い

２．仮説１の分析

仮説１「地域住民との人間関係の快適さは、物理的な生活環境の快適さよりも、地域愛着度に与える影響が大きい」の検証をするにあたり、「地域住民との人間関係の快適さ」と「物理的な生活環境の快適さ」と「地域愛着度」の３つの変数を使用した。独立変数は「地域住民との人間関係の快適さ」と「物理的な生活環境の快適さ」であり、従属変数は「地域愛着度」である。

（1）地域住民との人間関係の快適さの尺度化

地域住民との人間関係の快適さについて、以下の４項目を尋ねた。

Q13e　このまちは近隣住民との交流がしやすい
Q13f　このまちは家族や友人との交流がしやすい
Q13g　このまちの人はルールを守る
Q13h　このまちの人は親切だ

それぞれの項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法で尋ねた。さらに、「あてはまる」を３点、「どちらかといえばあてはまる」を２点、「どちらかといえばあてはまらない」を１点、「あ

てはまらない」を０点として総和を算出し、これを「人間関係の快適さ」とする。そのため、得点が高いほど、地域住民との人間関係に快適さを感じていることを意味する。

総和を算出するにあたり、まず、信頼性係数を求めた。クロンバックのα係数は 0.803 で 0.7 以上であり内的整合性があるという結果が得られたため、合成した。

尺度の統計情報は次のとおりである。平均値 5.91、標準偏差 2.37、最小値０、最大値 12、尖度 0.17、歪度-0.92 である。

（2）物理的な生活環境の快適さの尺度化

物理的な生活環境の快適さについて、以下の４項目を尋ねた。

Q13a　このまちは公共交通機関の利用がしやすい
Q13b　このまちは清潔だ
Q13c　このまちの自然は豊かだ
Q13d　このまちは静穏だ

それぞれの項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法で尋ねた。さらに、「あてはまる」を３点、「どちらかといえばあてはまる」を２点、「どちらかといえばあてはまらない」を１点、「あてはまらない」を０点として総和を算出し、これを「物理的生活環境の快適さ」とする。そのため、得点が高いほど、物理的な生活環境に快適さを感じていることを意味する。

総和を算出するにあたり、まず、信頼性係数を求めた。クロンバックのα係数は 0.666 で 0.7 以下であり内的整合性が低い結果になった。そのため、「Q13a　このまちは公共交通機関の利用がしやすい」の項目を削除し、３項目でもう一度信頼性係数を求めた。その結果、クロンバックのα係数は 0.731 になり、0.7 以上であり内的整合性があるという結果が得られたため、合成した。

尺度の統計情報は次のとおりである。平均値 5.62、標準偏差 1.79、最小値０、最大値９、尖度 0.60、歪度-0.35 である。

（3）地域愛着度の尺度化

地域愛着度について、以下の 10 項目を尋ねた。

Q7a　このまちはリラックスできる
Q7b　雰囲気や土地柄が気に入っている
Q7c　このまちを歩くのは気持ちよい
Q7d　お気に入りの場所がある
Q7e　自分のまちという感じがする

Q7f　このまちが好きだ
Q7g　まちに思い出がある
Q7h　まちに自分の居場所がある
Q7i　このまちは住みやすい
Q7j　このまちにずっと住みたい

それぞれの項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法で尋ねた。さらに、「あてはまる」を３点、「どちらかといえばあてはまる」を２点、「どちらかといえばあてはまらない」を１点、「あてはまらない」を０点として総和を算出し、これを地域愛着度とする。そのため、得点が高いほど、地域愛着度が高いことを意味する。

総和を算出するにあたり、まず、信頼性係数を求めた。クロンバックのα係数は 0.934 で 0.7 以上であり内的整合性があるという結果が得られたため、合成した。

尺度の統計情報は次のとおりである。平均値 18.07、標準偏差 6.94、最小値０、最大値 30、尖度-0.11、歪度-0.31 である。

（4）分析

（１）で作成した人間関係の快適さと、（２）で作成した物理的生活環境の快適さ、（３）で作成した地域愛着度の３つの変数を用いて、仮説１「地域住民との人間関係に快適さを感じている人は、物理的な生活環境に快適さを感じている人よりも、地域愛着度が高い」について分析を行う。

具体的には、人間関係の快適さと地域愛着度、物理的生活環境の快適さと地域愛着度それぞれについて、相関分析を行った。（表３－１、表３－２）

相関分析は、２変数間に直線的な関係が全くない場合は相関係数が０、完全な正の相関がある場合は１、完全な負の相関があるときは－１の値をとる。

表３－１　人間関係の快適さと地域愛着度の相関分析

		平均	標準偏差	相関係数	p 値
人間関係の快適さ	(n=741)	5.91	2.37	0.598	<.001 ***
地域愛着度	(n=741)	18.07	6.94		

***<0.01

表３－２　物理的生活環境の快適さと地域愛着度の相関分析

		平均	標準偏差	相関係数	p 値	
物理的環境の快適さ	(n=765)	5.62	1.79	0.470	<.001	***
地域愛着度	(n=765)	18.07	6.94			

***<0.01

以上の分析の結果、人間関係の快適さと地域愛着度の相関係数（表３－１）は 0.598 で中程度の正の相関が 0.1%水準で有意であることが分かり、物理的生活環境の快適さと地域愛着度の相関係数（表３－２）は 0.470 で中程度の正の相関が 0.1%水準で有意であることが分かった。このことから、人間関係の快適さの方が物理的な生活環境の快適さよりも相関係数が約 0.13 高くなっているため、仮説は支持されたといえる。

しかし、相関分析は、他の要因を考慮せずに２つの変数間の関連性の強さを算出する分析方法であり、人間関係の快適さと物理的生活環境の快適さのそれぞれの変数が、互いに影響を与え合っている可能性を考慮していない。そこで、他方の変数の影響を統制したうえで、各要素と地域愛着度の相関関係を調べるために、偏相関分析を行った。

偏相関分析とは、一見相関があるように見える２変数間において、隠れた第３の要因の影響を除いて相関係数を調べる分析である。

（5）偏相関分析の結果

人間関係の快適さと地域愛着度の分析では、物理的生活環境の快適さを制御変数として投入し、また物理的生活環境の快適さと地域愛着度の分析では、人間関係の快適さを制御変数として投入し、それぞれ偏相関分析を行った（表３－３）。

表３－３　地域愛着度との偏相関分析

		制御変数	相関係数	p 値	
人間関係の快適さ	(n=741)	物理的環境の快適さ	0.473	<.001	***
物理的環境の快適さ	(n=741)	人間関係の快適さ	0.215	<.001	***

***<0.01

以上の結果から、表３－３の上段のとおり、物理的生活環境の快適さの影響を除外すると、人間関係の快適さと地域愛着度の相関係数は 0.473 で中程度の正の相関がみられた。他方で、人間関係の快適さの影響を除外すると、物理的環境の快適さと地域愛着度の相関係数は 0.215 で弱い正の相関があることが分かった。このことから、人間関係の快適さの方が物理的環境の快適さよりも、相関係数がおよそ 0.25 高くなっているため、仮説は支持されたといえる。さらに、表３－２の結果と比べると、物理的生活環境の快適さの相関係数が半分未満にまで下がっていることから、物理的生活環境の快適さは人間関係の快適さの影響を受

けていることが分かった。

３．仮説２の分析

仮説２「地域での人とのつながりが強い人はそうでない人よりも、地域愛着度が高い」の検証をするにあたり、「地域での人とのつながりの強さ」と「地域愛着度」の２つの変数を使用した。

（1）地域での人とのつながりの尺度化

地域での人とのつながりについて、以下の４項目を尋ねた。

Q13i　私には、よく会話する人がこのまちにいる
Q13j　私には、困ったときに頼れる人がこのまちにいる
Q13k　私には、信頼できる人がこのまちにいる
Q13l　私には、普段から気にかけている人がこのまちにいる

それぞれの項目について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法で尋ねた。さらに、「あてはまる」を３点、「どちらかといえばあてはまる」を２点、「どちらかといえばあてはまらない」を１点、「あてはまらない」を０点として総和を算出し、これを「地域での人とのつながり尺度」とする。そのため、得点が高いほど、地域での人とのつながりが強いことを意味する。

総和を算出するにあたり、まず、信頼性係数を求めた。クロンバックのα係数は 0.943 で 0.7 以上であり内的整合性があるという結果が得られたため、合成した。

尺度の統計情報は次のとおりである。平均値 4.98、標準偏差 3.64、最小値０、最大値 12、尖度-0.91、歪度 0.19 である。

（2）地域愛着度の尺度化

地域愛着度の尺度化については、仮説１で作成した合成尺度を用いる。

（3）分析

（１）で作成した地域での人とのつながりと、（２）で作成した地域愛着度の２つの変数を用いて、仮説２「地域での人とのつながりが強い人はそうでない人よりも、地域愛着度が高い」について分析を行う。

具体的には、地域での人とのつながりと地域愛着度について、相関分析を行った（表３－４）。

表３－４　地域での人とのつながりと地域愛着度の相関分析

		平均	標準偏差	相関係数	p 値
地域での人とのつながり	(n=767)	4.98	3.64	0.513	<.001 ***
地域愛着度	(n=767)	18.07	6.94		

***<0.01

以上の分析の結果、地域での人とのつながりと地域愛着度の相関係数は 0.513 で中程度の正の相関が 0.1%水準で有意であることが分かった。このことから、地域での人とのつながりが強い人ほど地域愛着度が高いことが分かるため、仮説は支持されたといえる。

４．まとめ

仮説１の検証では、その地域における地域住民との人間関係の快適さは、物理的な生活環境の快適さよりも、地域愛着度に与える影響が大きいということが分かった。また、それと同時に、物理的な生活環境の快適さについては、人間関係の快適さの影響も受けているということも分かった。以上のことから、仮説は支持されたといえる。

仮説２の検証では、地域での人とのつながりが強いほど、地域愛着度が高いという結果が得られた。このことから、仮説は支持されたといえる。

本調査をした地域において、地域における人間関係や人とのつながりは、地域愛着度に大きな影響を与えていることが明らかになったため、地域内で住民同士のコミュニケーションができるイベントなどを行うことが、この地域における人口定着に効果的なのではないかと考える。しかし、具体的にどのようなことをすれば、人間関係の快適さを上げることができるかについては、今回の調査では明らかにできなかったため、これを今後の課題とする。

第４章　地域愛着と地域イベント運営参加意欲との関連

川鍋　花純

地域で開催されるイベントは、当日に参加する人だけでなく、その準備や運営を担う人によって支えられている。では、どのような人が運営の担い手となり得るのかを考えたとき、地域に対して愛着を持つ人だと考えた。地域に愛着を持つ人は、その地域のために何か行動したいという意識を持ちやすく、結果としてイベント運営への参加にもつながる可能性がある。そこで本章では以下の仮説を検証する。

仮説　地域愛着度が高い人は低い人よりも、地域のイベントの運営に参加する意欲が高い

１．使用する変数

（1）地域愛着

地域愛着度を明らかにするために、「あなたは、今住んでいるこのまちについてどのように感じていますか」という質問を設けた。

Q7a　このまちはリラックスできる
Q7b　雰囲気や土地柄が気に入っている
Q7c　このまちを歩くのは気持ちよい
Q7d　お気に入りの場所がある
Q7e　自分のまちという感じがする
Q7f　このまちが好きだ
Q7g　まちに思い出がある
Q7h　まちに自分の居場所がある
Q7i　このまちは住みやすい
Q7j　このまちにずっと住みたい

回答は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法で得た。「あてはまる」に４点、「どちらかといえばあてはまる」に３点、「どちらかといえばあてはまらない」に２点、「あてはまらない」に１点を与え合成尺度を作成した。信頼性係数は 0.934 である。なお、本分析にあたっては、得点の分布を確認の上、「地域愛着度高群」「地域愛着度中群」「地域愛着度低群」の３群にわけた。

（2）地域イベント運営参加意欲

地域のイベントの運営に参加する意欲の程度を明らかにするために、「あなたは、Q1 の a～h のようなイベントの運営に協力したいと思いますか」という質問を設けた。

Q3a　企画の提案
Q3b　イベントの宣伝
Q3c　チラシの作成
Q3d　前日や当日の簡単なお手伝い
Q3e　イベント協力者の勧誘

回答は、「とてもそう思う」「そう思う」「そう思わない」「まったくそう思わない」の４件法で得た。分析のために「とてもそう思う」「そう思う」を「そう思う」に、「そう思わない」「まったくそう思わない」を「そう思わない」の２つに統合した。

２．分析

地域愛着度３群と地域イベント運営参加意欲とのクロス集計とカイ二乗検定を行った。

（1）企画提案

表４－１　地域愛着度と「企画提案」協力意欲のクロス集計

	そう思う	そう思わない	χ^2値	p値
地域愛着度低群（n=179）	8.4%	91.6%		
地域愛着度中群（n=384）	13.8%	86.2%	4.849	0.089
地域愛着度高群（n=177）	15.8%	84.2%		

統計的に有意ではなかったが、地域愛着度高群ほど企画提案の協力意欲があるという10%水準での傾向差がみられた。

（2）イベントの宣伝

表４－２　地域愛着度と「イベントの宣伝」協力意欲のクロス集計

	そう思う	そう思わない	χ^2値	p値
地域愛着度低群（n=179）	7.3%	92.7%		
地域愛着度中群（n=383）	14.1%	85.9%	11.18	0.004
地域愛着度高群（n=175）	19.4%	80.6%		

地域愛着度高群ほどイベント宣伝の協力意欲があるという１%水準での有意差がみられた。

（3）チラシの作成

表４－３　地域愛着度と「チラシの作成」協力意欲のクロス集計

	そう思う	そう思わない	χ^2値	p値
地域愛着度低群（n=179）	10.1%	89.9%		
地域愛着度中群（n=382）	14.1%	85.9%	7.541	0.023
地域愛着度高群（n=178）	20.2%	79.8%		

地域愛着度高群ほどチラシ作成の協力意欲があるという５％水準での有意差がみられた。

（4）前日や当日の簡単なお手伝い

表４－４　地域愛着度と「前日や当日の簡単なお手伝い」協力意欲のクロス集計

	そう思う	そう思わない	χ^2値	p値
地域愛着度低群（n=176）	17.6%	82.4%		
地域愛着度中群（n=385）	28.6%	71.4%	23.932	<0.001
地域愛着度高群（n=180）	41.1%	58.9%		

地域愛着度高群ほど前日や当日の簡単なお手伝いの協力意欲があるという 0.1%水準での有意差がみられた。

（5）協力者の勧誘

表４－５　地域愛着度と「協力者の勧誘」協力意欲のクロス集計

	そう思う	そう思わない	χ^2値	p値
地域愛着度低群（n=175）	6.3%	93.7%		
地域愛着度中群（n=386）	9.6%	90.4%	5.084	0.079
地域愛着度高群（n=171）	13.5%	86.5%		

統計的に有意ではなかったが、地域愛着度高群ほど協力者の勧誘の協力意欲があるという10%水準での傾向差がみられた。

３．まとめ

本調査の結果、５項目中３項目において、地域愛着度が高い人ほど、地域イベントの運営に参加する意欲が有意に高いことが明らかとなった。とくに、前日準備や当日の手伝いといった比較的参加しやすく、短時間で関わることのできる活動については、参加意欲が高いことが確認された（表４－４）。これらの活動は心理的・時間的負担が比較的少ないため、多くの人が関わりやすいと考えられる。

一方で、企画提案や協力者の勧誘といった項目については、有意差が認められなかった。これらの活動は、自発的な行動や自身の意見が必要になるため、参加に対する心理的ハードルが高い可能性がある。また、責任の大きさや対人関係なども影響し、参加しにくい要因となっていることが考えられる。

以上の結果から、地域愛着を高めるには、まず誰もが気軽に参加できる機会を充実させ、地域との関わりを持つ機会を増やすことが重要であるといえる。こうした参加経験の積み重ねは、地域に対する親しみや関心を高め、地域愛着の向上につながり、イベント運営協力者が増えると考えられる。

第５章　地域での人とのつながりおよび定住意向と防災行動との関連

横山　陽

１．問題意識と仮説

本章では、地域での人とのつながりおよび定住意向が防災行動とどのような関連があるかを検討する。

この調査主題は、以下２つの疑問によるものである。

地域での人とのつながりが強い住民は近隣の住民同士で声掛けなどを行うため、地域での人とのつながりが弱い住民と比べて防災行動を多くとっているのではないか。

定住意向が強い住民は、今の住まいの環境を長く維持したいと考えるため、定住意向が弱い住民と比べて防災行動を多くとっているのではないか。

このテーマに着目して仮説を立て、検証を行った。

仮説１　地域での人とのつながりが強い人ほど、防災行動をとっている
仮説２　定住意向が強い人ほど、防災行動をとっている

２．仮説１「地域での人とのつながりが強い人ほど、防災行動をとっている」の検証

（1）地域での人とのつながりの尺度化

地域での人とのつながりを調べるため、以下の４項目を「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法で尋ねた。

Q13i　私には、よく会話する人がこのまちにいる
Q13j　私には、困ったときに頼れる人がこのまちにいる
Q13k　私には、信頼できる人がこのまちにいる
Q13l　私には、普段から気にかけている人がこのまちにいる

地域での人とのつながりを点数化するために、Q13i から Q13l までに逆転項目処理を行い、「あてはまる」を３点、「どちらかといえばあてはまる」を２点、「どちらかといえばあてはまらない」を１点、「あてはまらない」を０点とした。

これらを合成変数にするために、クロンバックのアルファ係数の算出を行ったところ、アルファ係数は 0.943 と 0.7 以上であるため、地域での人とのつながりに関する４項目を尺度として使用することに一定の内的整合性があると判断される。

この４項目の総和を算出し、合計点が高いほど地域での人とのつながりが強いという地域での人とのつながり尺度を作成した。

作成された地域での人とのつながり尺度の記述統計量は次のとおりである。平均値 4.98、標準偏差 3.64、最小値０、最大値 12、尖度-0.91、歪度 0.19。

また、地域での人とのつながり尺度において性別との関連を明らかにするため、t 検定を

行った。結果、地域での人とのつながり尺度の平均値は男性が 4.10 である一方、女性の平均値は 5.69 と、男性と比べて女性は地域での人とのつながりが強いことがわかる。また、有意確率は 0.01 未満であったため、性別と地域での人とのつながり尺度には１％水準で有意な差があることがわかった。

さらに、年代ごと（10 歳刻み）の関連を明らかにするため、分散分析を行った。結果、「80 歳以上」と比べて、「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」「70～79 歳」は地域での人とのつながりが有意に強いことがわかった。

（2）防災行動の尺度化

次に、どのような防災行動をとっているのかを調査するため、災害に備えて行っていることについて以下の 20 項目を複数回答で尋ねた。

Q1501　食糧の備蓄
Q1502　飲料水の備蓄
Q1503　懐中電灯の準備
Q1504　ラジオの準備
Q1505　非常用の持出し袋の準備
Q1506　生活用水の汲み置きや備蓄
Q1507　生活用水の汲み置きや備蓄
Q1508　スマートフォンや携帯電話の電池切れ対策
Q1509　家具の固定や転倒防止
Q1510　感震ブレーカーの設置
Q1511　家屋の耐震強化
Q1512　土のうの用意
Q1513　暴風対策（片付け・ガラス飛散防止）
Q1514　地震保険や火災保険などへの加入
Q1515　家族との連絡方法の確認
Q1516　帰宅経路や帰宅困難時の対応の確認
Q1517　避難場所の確認
Q1518　災害情報の積極的な収集
Q1519　防災訓練への参加
Q1520　まちの避難所の安全性の下調べ

あてはまるものすべてを選択する複数回答で尋ねた。なお、「Q1512　土のうの用意」は回答者の大半を占める集合住宅居住者個人にはそぐわないため、除いて分析を行った。

これらを合成変数にするために、クロンバックのアルファ係数の算出を行ったところ、ア

ルファ係数は 0.808 と 0.7 以上であるため、防災行動に関する 19 項目を尺度として使用することに一定の内的整合性があると判断される。この 19 項目の総和を算出し、合計点が高いほど防災行動をとっているという防災行動尺度を作成した。

作成された防災行動尺度の記述統計は次のとおりである。平均値 6.01、標準偏差 3.73、最小値０、最大値 19、尖度-0.43、歪度 0.33。

また、防災行動尺度において性別との関連を明らかにするため、t 検定を行った。結果、防災行動尺度の平均値は男性が 5.41 である一方、女性の平均値は 6.37 であり、男性と比べて女性は防災行動を多くとっていることがわかる。有意確率は 0.05 未満であったため、性別と防災行動尺度には５％水準で有意な差があることがわかった。

さらに、年代ごと（10 歳刻み）の関連を明らかにするため、分散分析を行なった。結果、有意な差は見られなかった。

（3）仮説1の相関分析

作成した地域での人とのつながり尺度と防災行動尺度を用いて、仮説１「地域での人とのつながりが強い人ほど、防災行動をとっている」を検証するため、相関分析を行った。

表５－１　地域での人とのつながり尺度と防災行動尺度の相関分析

	平均	標準偏差	相関係数	p値	
地域での人とのつながり尺度 (n=824)	4.98	3.64	0.275	<.001	***
防災行動尺度 (n=824)	6.00	3.73			

***：p<0.001

その結果、相関係数 0.275 は 0.1%水準で有意であり、地域での人とのつながり尺度と防災行動尺度には弱い正の相関があることが明らかになった。

また、先述のとおり地域での人とのつながり尺度と防災行動尺度の両方において、性別による有意差が見られた。そのため、男女別に同様の相関分析を行ったものの、男性では、0.245、女性では 0.244（どちらも 0.1%水準で有意）と相関係数に男女差は見られなかった。以上のことから、性別にかかわらず、人とのつながりの強さと防災行動に弱い正の相関があるため、仮説１は支持された。

３．仮説2「定住意向が強い人ほど、防災行動をとっている」の検証

まず、定住意向を調べるために「あなたは、このまちに住みつづけたいですか」という質問文を設け、「いまの住まいに住みつづけたい」「このまちのなかで住み替えたい」「いずれは引っ越しをしたい」「わからない」の４件法で尋ねた。「いまの住まいに住みつづけたい」

「このまちのなかで住み替えたい」を「１＝定住意向強群」に統合し、「いずれは引っ越しをしたい」「わからない」を「２＝定住意向弱群」に統合して定住意向の強弱に分けた。これと前節の防災行動尺度を用いて、ｔ検定を行った。

表５－２　定住意向と防災行動尺度のt検定

	平均値	標準偏差	t 値	p 値	
定住意向強群（n=547）	6.43	3.76	4.6	＜0.001	***
定住意向弱群（n=315）	5.24	3.57			

その結果、定住意向強群は定住意向弱群と比べて、0.1%水準で、防災行動尺度をとっていた。以上のことから、定住意向が強い人ほど防災行動を多くとっていることがわかるため、仮説２は支持された。

４．重回帰分析

以上の分析の結果、地域での人とのつながり尺度および定住意向は、防災行動尺度に対してプラスに作用することがわかったため、複数の独立変数が防災行動尺度にどの程度の影響を与えているのかを検証するため、重回帰分析を行った。

重回帰分析を行うにあたり、次のようなダミー変数を作成した。性別については男性＝１、女性＝０とし、定住意向の強弱については定住意向強群＝１、定住意向弱群＝０とした。これらに年齢と地域での人とのつながり尺度も投入して重回帰分析を行った。

表５－３　重回帰分析

	防災行動尺度		
	標準化β	p値	
性別　（男性＝１）	-0.080	0.025	*
年齢	0.084	0.020	*
地域での人とのつながり尺度	0.193	<0.001	***
定住意向　（定住意向強群＝１）	0.085	0.023	*
N	773		
p値	p<.001		
調整済みR^2乗	0.080		

*：p<0.05、***：p<0.001

その結果、「性別（女性）」「年齢(年長者)」「定住意向（強群)」の３項目は５％水準で、「地域での人とのつながり尺度」は0.1%水準で有意であった。そのなかで防災行動尺度に最も強い影響を及ぼす（標準化βの絶対値が最も大きい）変数は「地域での人とのつながり

尺度」であり（0.193)、「性別（女性)」「年齢(年長者)」「定住意向（強群)」の約２倍であることがわかった。

５．考察

（1）仮説1についての考察

地域での人とのつながり尺度と防災行動尺度を作成し、これらの相関分析を行った結果では弱い正の相関がみられた。このような結果になった理由として、地域での人とのつながりが強いと近隣の住民同士での会話が増えることによって防災に関する話をするようになることで防災を心掛けるようになるといった、防災行動をとるようになるきっかけを得る機会が多くなるためではないかと考える。

また地域での人とのつながり尺度と防災行動尺度は男性よりも女性の方が平均値が高いこともわかった。このような結果になった理由として、男性は仕事などで日中は家にいない者が多いため、女性の方がこのまちにおける人間関係や防災に対して関心が高いためではないかと考える。

（2）仮説2についての考察

定住意向と防災行動のｔ検定の結果、定住意向の強い人はそうでない人と比べて防災行動を多くとっていることがわかった。このような結果になった理由として、定住意向の強い人はいまの住環境を維持したいと考えるため、住まいを守るための防災行動を多くとるのではないかと考える。

（3）重回帰分析についての考察

仮説１・仮説２の結果を踏まえて、防災行動尺度に対してどの独立変数がどの程度の影響を与えているのかを検証するため重回帰分析を行った結果、性別・年齢・定住意向・地域での人とのつながり尺度のすべての項目で有意な差が見られた。

そして、今回の結果では標準化βの値が最も大きい独立変数は、地域での人とのつながり尺度であった。つまり、性別や年齢よりも地域での人とのつながり尺度が防災行動尺度に与える影響が大きいということがわかった。

このような結果になった理由として、地域での人とのつながりが強い人は他者とのコミュニケーションを通じて他者の考えを取り入れたり、それを実行する力が身についているため、性別や年齢などよりも防災行動尺度に与える影響が大きいのではないかと考える。

以上のことから、地域での人とのつながりや定住意向の強弱は、防災行動を促進する影響を与えており、そのなかでも人とのつながりが強いことが防災行動につながりやすいことがわかった。

第６章　異なる世代との日常的な交流と生活満足度の関連

竹腰　直希

本章では異なる世代との日常的な交流と個人の生活満足度にどのような関係があるのかを検討する。この調査主題を挙げた背景として、日頃の異なる世代の人との会話や交わりは、さまざまな情報に触れることができ、個人の生活満足度が高くなるのではないかと考えたからだ。そこで以下の仮説を検証する。

仮説　異なる世代との日常的な交流が多い人ほど個人の生活満足度が高い

１．仮説の検証

「異なる世代との日常的な交流が多い人ほど個人の生活満足度が高い」を検証するために使用する変数は、「異なる世代との日常的な交流」と「生活満足度」である。

（1）異なる世代との交流

「異なる世代」を「５歳以上離れた人」と操作的に定義した。「あなたは異なる世代の人（５歳以上離れた人）と日常的な交流がありますか」という質問を設けた。回答選択肢は、「よくある」「たまにある」「あまりない」「まったくない」の４つを用意した。

（2）個人の生活満足度および全体的な生活満足度

個人の生活満足度は、内閣府「国民生活に関する世論調査」（令和７年８月調査。以下、内閣府調査）を基に、「あなたは、以下のａ ～ ｅについてどう思いますか」という質問を設けた。ただし、内閣府調査の「耐久消費財」「自己啓発・能力向上」は本調査では除外し、「収入」「貯蓄」「食生活」「住生活」「余暇」の５項目を尋ねた。さらに「あなたは、全体として見ると、現在の生活にどの程度満足していますか」という質問を設け「全体的な生活満足度」を尋ねた。回答選択肢は内閣府調査と同様に「満足している」「まあ満足している」「やや不満だ」「不満だ」の４つを設けた。

本調査と内閣府調査を比較する（表６－１）。「収入」「貯蓄」「住生活」の「満足」（「満足」＋「まあ満足」）と「不満」（「やや不満」＋「不満」）の比率はおよそ近い結果だった。「余暇」は、内閣府調査では「満足」と「不満」が約半数ずつであったのに対して、本調査では「満足」が約６割だった。「全体的な生活満足度」は、内閣府調査では「満足」と「不満」がほぼ半数ずつであるのに対して、本調査では「満足」が約７割と多い傾向にある。内閣府調査と本調査との結果を比較して、大きな差異はないと考える。

表６－１　本調査の単純集計

	満足	まあ満足	やや不満	不満
収入	6.6%	36.7%	33.9%	22.8%
貯蓄	5.6%	29.7%	36.7%	28.4%
食生活	14.6%	59.1%	19.9%	6.4%
住生活	11.4%	51.5%	25.0%	9.1%
余暇	10.1%	50.1%	28.2%	11.5%
全体	10.5%	61.6%	21.9%	6.1%

表６－２　内閣府調査の単純集計

	満足	まあ満足	やや不満	不満
収入	4.8%	30.1%	39.2%	25.5%
貯蓄	4.3%	25.4%	38.4%	31.3%
食生活	15.1%	46.5%	27.4%	10.6%
住生活	18.2%	48.4%	23.7%	8.2%
余暇	9.2%	41.3%	33.9%	14.3%
全体	6.7%	43.5%	34.6%	15.0%

２．分析

（1）性別と異なる世代との交流の関係の分析

カイ二乗検定の結果、0.1%水準で有意な差があり、女性のほうが異なる世代との交流が多い（表６－３）。

表６－３　性別で見る異なる世代との交流頻度

		よくある	たまにある	あまりない	まったくない	X^2	p値
性別	男　n=331	13.3%	30.2%	21.1%	35.3%	40.491	<.001
	女　n=498	26.1%	37.3%	17.5%	19.1%		

（2）年代と異なる世代との交流の分析

カイ二乗検定の結果、有意な差がなく、年代と異なる世代との交流は関係がないと言える（表６－４）。

表６－４　年代で見る異なる世代との交流頻度

			よくある	たまにある	あまりない	まったくない	X^2	p値
年代	19歳～29歳	n=18	16.7%	22.2%	22.2%	38.9%	24.787	0.131
	30歳～39歳	n=37	27.0%	37.8%	18.9%	16.2%		
	40歳～49歳	n=56	12.5%	39.3%	17.9%	30.4%		
	50歳～59歳	n=145	14.5%	33.1%	23.4%	29.0%		
	60歳～69歳	n=182	20.3%	31.3%	17.0%	31.3%		
	70歳～79歳	n=195	20.5%	36.4%	20.5%	22.6%		
	80歳以上	n=199	27.6%	36.7%	15.1%	20.6%		

（3）異なる世代との交流と（収入・貯蓄・食生活・住生活・余暇・全体）の分析

カイ二乗検定の結果、「収入」および「貯蓄」で有意な差が見られなかった。

表６－５　異なる世代との交流頻度で見る食生活満足度

異なる世代との交流頻度			満足	不満足	X^2	p値
	よくある	n=166	81.9%	18.1%	8.760	0.033
	たまにある	n=288	73.6%	26.4%		
	あまりない	n=160	73.1%	26.9%		
	まったくない	n=220	68.6%	31.4%		

「食生活」は５％水準で有意な差が見られた。異なる世代との交流が多い人ほど、食生活に対する満足度が高いと言える。

表６－６　異なる世代との交流頻度で見る住生活満足度

異なる世代との交流頻度			満足	不満足	X^2	p値
	よくある	n=170	79.4%	20.6%	16.966	<.001
	たまにある	n=288	62.8%	37.2%		
	あまりない	n=161	64.6%	35.4%		
	まったくない	n=216	61.6%	38.4%		

「住生活」は0.1％水準で有意な差が見られた。異なる世代との交流がある人ほど、住生活に対する満足が高いと言える。

表６－７　異なる世代との交流頻度で見る余暇満足度

異なる世代との交流頻度			満足	不満足	X^2	p値
	よくある	n=162	79.0%	21.0%	30.783	<.001
	たまにある	n=283	57.6%	42.4%		
	あまりない	n=160	57.5%	42.5%		
	まったくない	n=214	52.3%	47.7%		

余暇については0.1％水準で有意な差が見られた。異なる世代との交流は余暇活動の充実と関連があると言える。

表６－８　異なる世代との交流頻度で見る全体の生活満足度

異なる世代との交流頻度			満足	不満足	X^2	p値
	よくある	n=174	86.2%	13.8%	28.656	<.001
	たまにある	n=290	70.0%	30.0%		
	あまりない	n=161	73.9%	26.1%		
	まったくない	n=220	62.3%	37.7%		

次に「全体の生活満足度」は0.1%水準で有意な差が見られた。

これらの結果から異なる世代交流が日常的にある人は、「食生活」「住生活」「余暇」「全体的な生活」に満足している傾向があると言える。つまり、異なる世代との交流は、金銭的なものを除いて生活の質を高めることに寄与していると考えられる。

３．まとめ

本章では、「異なる世代との日常的な交流が多い人ほど個人の生活満足度が高い」という仮説のもと異なる世代との交流と生活満足度の関係について分析をした結果、金銭的なものを除いて、仮説どおりの結果がえられた。金銭的なものが仮説どおりではなかった要因は、金銭的なものは他人に相談しづらいことが考えられる。

結果から今後の取り組みとして重要と考えられるのは、男性が異なる世代との交流が有意に少ない点だと思われる。異なる世代との交流が少ないことから、男性に対しては地域内などでの日常的な声掛けや挨拶を意識的にすることが必要であると考える。近隣との日頃からの挨拶や会話はもちろん、民生委員の定期的な訪問や近所の同性の友人の誘いが男性の異なる世代との交流の場への参加の一歩につながると考える。また、地域内での交流を多くすることで有事の際にすぐに助け合えるなどの効果も期待できると考える。

最後にはなるが、今回の調査では、異なる世代との交流と生活満足度の関係を分析した。その中で今回の調査で性別によって異なる世代との交流に差があることが分かった。そのことから、今後調査をする際は例えば性別と１週間での人との交流回数との関係について詳しく調査してみたい。その結果によっては交流回数の増加によって、健康寿命の意識が上昇したり、地域内での孤立や孤独死などを減らすことにもつながるのではないかと考える。

引用文献

内閣府（2025）「国民生活に関する世論調査（令和７年８月調査）」
https://survey.gov-online.go.jp/living/202509/r07/r07-life/（最終閲覧 2025/12/17）

第７章　定住意向と地域課題に対する住民の意識との関連

渡部　瑞季

近年、少子高齢化が全国的に進行し、多くの地域において人口減少が進行している。とくに就職や結婚といったライフイベントを契機に若者がまちを離れる傾向がある。このような状況の中で、若者を含む住民に長期的な定住を考えてもらうためには、まず、地域における課題を調査することが重要である。なぜならば、引っ越しを考えている人は、進学や就職に伴う仕方のない引っ越しを除けば、現在居住している地域に対して何らかの不満や問題意識を抱いている可能性が高いからである。住民がどのような点に不満を抱いているかを明らかにすることは、地域課題の改善や定住促進に向けた施策を検討する上で不可欠なのではないかと考えた。そこで本章では、次の仮説を検証する。

仮説　他のまちへの引っ越しを考えている人ほど、地域課題への関心が高い

１．使用する変数

(1) 定住意向の単純集計

定住意向を調べるために、調査票では「あなたは、このまちに住みつづけたいですか」という質問文を設け、選択肢には「いまの住まいに住みつづけたい」「このまちのなかで住み替えたい」「いずれは引っ越しをしたい」「わからない」の４つを用意した。

その結果、「いまの住まいに住みつづけたい」人は 57.3%、「このまちのなかで住み替えたい」人は 5.9%、「いずれは引っ越しをしたい」人は 20.1%、「わからない」人は 16.7%であった。「いまの住まいに住みつづけたい」「このまちのなかで住み替えたい」を合わせて 63.2%の人々は幸町２丁目に住みつづけたいと考えていることが分かった。「性別」と定住意向でクロス集計をしたところ、男女で有意な差はみられなかった（「その他」「わからない」と回答したものは分析の対象から除外した）。

しかし、表７－１のとおり年代別（Q21 で回答を得た年齢を分析しやすくするため「19-29 歳」「30 代」「40 代」「50 代」「60 代」「70 代」「80 歳以上」と分けた）で見たところ、0.1%水準で有意な差がみられた（表７－２）。30 代以下の若年層では、定住意向が弱く、70 代・80 代の高齢層では定住意向が強かった。このことから年齢層によって将来設計に差があることが考えられる。とくに若年層は、進学や就職、結婚などを契機に、居住地を移動する可能性が高いが、そのさいより住みやすい地域が選ばれると考えられるため、このような結果になったのだろう。一方、高齢層は長年の居住経験や地域コミュニティとの結びつきが強く、住み慣れた地域に住み続けたいという意識が高いと推察される。

表７－１　年代と定住意向のクロス表

	いまの住まいに住みつづけたい	このまちのなかで住み替えたい	いずれ引っ越し	わからない
19-29歳	22.2	11.1	44.4	22.2
30代	32.4	5.4	51.4	10.8
40代	45.5	9.1	32.7	12.7
50代	45.2	6.2	26.0	22.6
60代	53.0	8.2	22.4	16.4
70代	62.9	4.1	13.9	19.1
80歳以上	77.9	3.4	6.4	12.3

（2）地域課題別関心度の単純集計

「あなたは、このまちのa～lについてどの程度、関心がありますか」という12の地域課題に対する関心を尋ねた。回答は「１」が一番関心が低く、「４」が中程度、「７」が一番関心が高い、と答えてもらう７件法である。この結果が以下の表７－２である。

表７－２　地域課題別関心度の単純集計

	1(低)	2	3	4(中)	5	6	7(高)
a.子育てしやすい環境づくり	14.8	6.2	9.9	39.1	11.8	7.2	11.0
b.安心して暮らせる地域づくり	3.1	2.4	7.1	34.5	16.9	13.8	22.2
c.教育環境の充実	11.8	6.8	10.7	41.0	12.7	8.7	8.3
d.医療・福祉体制の充実	5.9	3.5	8.4	29.2	15.2	15.1	22.5
e.飲食店の充実	10.9	7.0	11.4	28.2	14.8	11.7	16.0
f.騒音対策の充実	6.6	5.4	11.6	37.2	14.5	8.8	16.0
g.交通の利便性向上	6.2	4.2	8.1	23.2	14.3	15.7	28.3
h.買い物環境の利便性向上	4.9	3.4	7.0	29.2	16.6	16.3	22.6
i.交流の活性化	9.8	7.6	15.1	43.1	12.1	7.2	5.2
j.まちの景観の保全	5.2	4.3	9.3	38.8	18.2	12.7	11.5
k.街灯の整備	4.1	3.9	7.4	35.1	17.0	15.0	17.5
l.防災対策の充実	3.5	3.2	6.8	33.6	14.4	14.8	23.7

表７－２の結果から、最も関心が高い（６と７の合計）のは、「g　交通の利便性向上」で44.0%である一方、最も関心が低い（１と２の合計）のは、「a　子育てしやすい環境づくり」で21.0%であった。

２．分析

クロス集計を行うにあたり、地域課題別関心度を３件法に再分類した。具体的には、「１」と「２」を「低群」、「３」から「５」までを「中群」、「６」と「７」を「高群」に統合した。

性別や年代、定住意向を独立変数とし、地域課題への関心を従属変数としたクロス集計をおこないカイ二乗検定結果のｐ値を一覧表にまとめたものが表７－３である。

表７－３　性別･年代･定住意向と地域課題別関心度のクロス集計結果表

	性別		年代		定住意向	
a.子育てしやすい環境	0.089	†	<.001	***	<.001	***
b.安心できる環境	0.354		0.002	**	0.037	*
c.教育環境	0.271		<.001	***	<.001	***
d.医療・福祉の充実	0.196		0.199		0.007	**
e,飲食店の充実	0.200		<.001	***	0.107	
f.騒音対策の充実	0.478		0.018	*	0.004	**
g.交通の利便性向上	0.100	†	0.003	**	0.067	†
h.買い物環境の利便性向上	0.006	**	0.193		0.011	*
i.交流の活性化	0.007	**	0.072	†	<.001	***
j.景観の保全	0.033	*	0.434		0.019	*
k.街灯の整備	0.002	**	0.911		0.075	†
l.防災対策の充実	0.075	†	0.221		0.002	**

†;<0.10 , *:<0.05 , **:<0.01 , ***:<.001

表７－３の結果から、性別（「男」「女」）と地域課題別関心度のカイ二乗検定で有意な差が見られたのは、「h. 買い物環境の利便性向上」「i. 交流の活性化」「j. 景観の保全」「k. 街灯の整備」だった。いずれの項目も女性のほうが男性よりも地域課題への関心が高かった。

次に、年代（「19-29 歳」「30 代」「40 代」「50 代」「60 代」「70 代」「80 代以上」）と地域課題別関心度のカイ二乗検定で有意な差が見られたのは、「a. 子育てしやすい環境」「b. 安心できる環境」「c. 教育環境」「e. 飲食店の充実」「f. 騒音対策の充実」「g. 交通の利便性向上」だった。いずれの項目も、「19-29 歳」「30 代」「40 代」が地域課題への関心が高かった。

そして、定住意向（「いまの住まいに住みつづけたい」「このまちのなかで住み替えたい」「いずれは引っ越しをしたい」「わからない」）と地域課題別関心度のカイ二乗検定で有意な差が見られたのは、「a. 子育てしやすい環境」「b. 安心できる環境」「c. 教育環境」「d. 医療・福祉の充実」「f. 騒音対策の充実」「h. 買い物環境の利便性向上」「i. 交流の活性化」「j. 景観の保全」「k. 街灯の整備」「l. 防災対策の充実」だった。多くの項目において、「いまのまちのなかで住み替えたい人」（定住意向が強い層）が「いずれ引っ越したい人」よりも地域課題への関心が高い傾向が見られた。とくに、「a. 子育てしやすい環境」「c. 教育環境」「d. 医療・福祉の充実」「i. 交流の活性化」「k. 街灯の整備」「l. 防災対策の充実」では、「いまのまちのなかで住み替えたい人」がとくに関心が高かった。

一方、「f. 騒音対策の充実」については、「いずれ引っ越したい人」がとくに関心が高かった。このことから、騒音問題は現住地に対する不満と直接的に結びつきやすく、改善よりも転出を考える要因となっている可能性がある。

また、表７－３には記載されていないが、「b. 安心できる環境」「h. 買い物環境の利便性向上」「j. 景観の保全」では、有意な傾向（10%水準の傾向差）はあるものの、定住意向による大きな差はみられず、両者で関心の程度が比較的近い結果となった。これらの項目は、定

住意向にかかわらず多くの住民にとって共通して重要視される基礎的な生活環境要素であると考えられる。

「他のまちへ引っ越しを考えている人ほど、地域課題への関心が高い」という仮説を設定したが、本調査結果からは、この仮説は支持されなかった。多くの地域課題において高い関心を示したのは、引っ越し意向のある層ではなく、「いまの住まいに住みつづけたい」「このまちのなかで住み替えたい」と考える層であった。

３．考察

本調査の結果から、地域課題への関心は性別・年代・定住意向といった属性によって異なることが明らかとなった。とくに、日常生活や安全性、将来設計と密接に関わる課題において、関心の差が顕著であった。

まず、性別による差が見られた項目では、いずれも女性の関心が男性より高かった。買い物環境や交流の活性化、街灯の整備といった項目は、日常生活の利便性や安全性に直結する内容である。このことから、地域施策においては、家事・買い物・地域活動など生活に密着した視点を重視した環境整備が重要であると考えられる。具体的には、徒歩圏内での買い物環境の充実や、夜間の安全性を高める街灯整備、防犯対策の強化など、日常生活の不安や不便を軽減する施策が有効である。

次に、年代別では「19-29 歳」「30 代」「40 代」の比較的若年～中年層において、子育て、教育、交通、生活環境に関する関心が高かった。これらの年代は、就労や結婚、子育てといったライフイベントと地域環境との関係性が強い時期である。そのため、子育て支援策や教育環境の充実、通勤・通学を想定した交通利便性の向上は、若年層の定住や転入を促す重要な施策であると考えられる。また、飲食店の充実や騒音対策など、生活の快適性に関わる施策も、日常的に地域を利用する機会の多い世代にとって満足度向上につながるといえる。

さらに、定住意向別の分析では、いまの住まいに住みつづけたい、あるいはこのまちのなかで住み替えたいと考える層ほど、幅広い地域課題に高い関心を示していた。このことから、子育て、教育、医療・福祉、防災、安全対策といった生活基盤に関わる施策は、定住意向の高い層のニーズに直結しており、これらを重点的に改善することは、地域への愛着や継続的な居住を後押しする施策となりうるだろう。

一方、騒音対策の充実は、いずれ引っ越し意向のある層で関心が高い結果となった。このことから、騒音問題は居住満足度を低下させ、転出を検討する直接的な要因となりやすい課題であると考えられる。したがって、騒音に関する課題は早期に改善を図ることが、転出抑制の観点からも重要である。しかし、騒音問題は重要な課題である一方で、現時点において有効な解決策を見出すことは容易ではなく、今後も継続的に検討をしていく必要がある。

第８章　地域での人とのつながりと地域課題関心

荒井　響

地域の人とのつながりが強い人ほど、地域のさまざまな話題を耳にするなど、地域課題に関心を持つようになるのではないか。反対に、仕事で忙しい人や一人暮らしの人など、地域の人とのつながりが弱い人は、地域にどのような課題があるかを知る機会が少なく、地域課題をあまり認識していないのではないか。以上の問題意識から、次の仮説を検証する。

仮説　地域での人とのつながりが強い人ほど、地域課題関心が高い

１．使用する変数

（1）地域での人とのつながり

地域での人とのつながりを調べるために、以下の４項目を使用する。

Q13i　私には、よく会話する人がこのまちにいる
Q13j　私には、困ったときに頼れる人がこのまちにいる
Q13k　信頼できる人がこのまちにいる
Q13l　私には、普段から気にかけている人がこのまちにいる

回答選択肢はそれぞれ「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法である。地域での人とのつながりを尺度化すべく、「あてはまる」を３点、「どちらかといえばあてはまる」を２点、「どちらかといえばあてはまらない」を１点、「あてはまらない」を０点とした。信頼性係数を求めたところ、0.943 と 0.7 以上であったため、地域での人とのつながり尺度に一定の内的整合性があると判断される。合計点が高いほど地域での人とのつながりが強いことを意味する。記述統計量は、平均値 4.98、標準偏差 3.64、最小値０、最大値 12、尖度-0.91、歪度 0.19 だった。

分析のために、地域での人とのつながり尺度を、「低群」(24.5%。202 人)「中群」(42.0%。369 人)「高群」（35.0%。307 人）の３群に分けた。

（2）地域課題の関心

地域課題の関心を調べるために、以下の 12 項目を使用する。

Q18a　子育てしやすい環境づくり
Q18b　安心して暮らせる地域づくり
Q18c　教育環境の充実
Q18d　医療・福祉体制の充実化

Q18e　飲食店のさらなる充実
Q18f　騒音対策の充実
Q18g　交通の利便性向上
Q18h　買い物環境の利便性向上
Q18i　交流の活性化
Q18j　まちの景観の保全
Q18k　街灯の整備
Q18l　防災対策の充実

回答選択肢は関心が低い「１」から、中程度で「４」、最も関心が高いと「７」とする７件法である。分析のために、「１」と「２」を「低」、「３」から「５」を「中」、「６」と「７」を「高」の３つに統合した。

２．分析

仮説「地域での人とのつながりが強い人ほど、地域課題関心が高い」を検証するために、地域での人のつながり３群と地域課題関心をクロス集計しカイ二乗検定を行った。

表８－１　地域での人とのつながりと地域課題関心(子育てしやすい環境づくり)のクロス集計

			地域課題関心				
			小	中	高	X^2	p値
人とのつながり	弱	n=185	37.8%	52.4%	9.7%	58.509	<.001 ***
	中	n=326	17.2%	66.6%	16.3%		
	強	n=217	42.6%	57.4%	57.4%		

「子育てしやすい環境づくり」に関しては、地域での人とのつながりが強い人ほど関心が高く、弱い人ほど関心が低いという 0.1%水準で有意な結果だった。このような仮説を支持する結果が 10 項目でみられたため、一例として「子育てしやすい環境づくり」のみ掲載した。

ただし、表８－２と表８－３は仮説を支持しない有意な結果もみられた。

表８－２　地域での人とのつながりと地域課題関心(騒音対策の充実)のクロス集計

			地域課題関心				
			小	中	高	X^2	p値
人とのつながり	弱	n=187	17.1%	50.8%	32.1%	26.407	<.001 ***
	中	n=339	8.0%	72.6%	19.5%		
	強	n=231	12.6%	61.0%	26.4%		

騒音対策の充実に関して、地域での人とのつながりが弱い人は比較的に、関心が低いか高いかのどちらかにわかれた。

表８－３　地域での人とのつながりと地域課題関心(交通の利便性向上)のクロス集計

			地域課題関心					
			小	中	高	X^2	p値	
人とのつながり	弱	n=194	16.0%	38.1%	45.9%	17.792	0.001	**
	中	n=346	7.2%	52.6%	40.2%			
	強	n=237	11.0%	41.8%	47.3%			

交通の利便性の向上に関しても、地域での人とのつながりが弱い人は比較的に、関心が低いか高いかのどちらかにわかれた。

３．考察

本章では、「地域での人とのつながりが強い人ほど、地域課題への関心が高い」という仮説を検証するために、地域での人とのつながり尺度と地域課題関心との関連を分析した。その結果、多くの項目において仮説を支持する傾向が確認された。

とくに「子育てしやすい環境づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「教育環境の充実」「医療・福祉体制の充実」「買い物環境の利便性向上」「交流の活性化」「防災対策の充実」など、地域コミュニティと密接に関わる項目では、地域での人とのつながりが強い人ほど関心が高い傾向がみられた。これは、日常的な会話や相互扶助的な人間関係を通じて、地域の課題に接する機会が増え、地域に対する当事者意識が高まるためだと考えられる。また、「街灯の整備」や「まちの景観の保全」といった地域環境に関する項目でも同様の傾向がみられ、地域での人とのつながりが強い人ほど、自らの生活空間として地域を意識しやすいことが示唆される。

一方で、「騒音対策の充実」「交通の利便性向上」については、地域での人とのつながりによる大きな差はみられなかった。これらの課題は、日常生活を送るうえで多くの住民に共通して関係するため、地域でのつながりの強弱にかかわらず、広く関心を持たれやすい課題であると考えられる。とくに「交通の利便性向上」は、本調査が 18 歳以上を対象としていることから、通勤・通学など日常と密接に関わる生活課題であり、地域での人間関係とは独立して関心が高まりやすかった可能性がある。

最後に、「騒音対策の充実」については、自由記述において生活マナーに関する苦言がみられたことからの推測になってしまうが、騒音問題はたんなる生活環境上の問題としてだけでなく、生活スタイルの違いに対する不満や不安とも結びつきながら認識されている可能性が示唆される。

第９章　イベント参加意向を規定する要因に関する分析

青柳　涼子

１．問題意識

近年、地域社会においては、住民同士のつながりの希薄化や地域活動の担い手不足が課題として指摘されている。そのなかで、地域の各種イベントは、住民同士の交流を促進し、地域への関心や愛着を高める重要な機会として期待されている。しかしながら、実際にはイベント参加者の減少や固定化といった課題もある。

こうした状況を踏まえると、地域イベントへの参加意向がどのような要因によって規定されているのかを明らかにすることは、今後の地域づくりを考えるうえで非常に重要である。とりわけ、個人の属性だけでなく、過去のイベントへの参加経験や地域への関心、さらには地域内での人間関係といった要因が、参加意向にどのように関わっているのかを検討する必要がある。

そこで本章では、地域イベントへの参加意向（参加したい／参加したくない）を従属変数とし、基本属性、イベント参加経験、まちへの関心、まちにおける人間関係を独立変数とした二項ロジスティック回帰分析を行う。これにより、属性要因を統制したうえで、参加意向を規定する諸要因を明らかにすることを目的とする。

２．地域イベントへの参加意向の基礎集計

（1）基本属性との関連

表９－１　基本属性と地域イベントへの参加意向の関連

		n	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	χ^2値	p値	
性別	男性	319	7.2%	29.2%	41.7%	21.9%	0.10	0.023	*
	女性	462	11.7%	34.0%	38.5%	15.8%			
世代	19～39歳	53	18.9%	45.3%	13.2%	22.6%	25.44	0.003	**
	40～59歳	198	7.1%	31.8%	41.4%	19.7%			
	60～79歳	357	7.6%	31.7%	42.6%	18.2%			
	80～96歳	204	13.7%	29.4%	39.2%	17.6%			
居住年数	～19年	308	9.7%	33.8%	35.4%	21.1%	10.03	0.123	n.s.
	20～39年	229	7.4%	31.0%	46.7%	14.8%			
	40年～	275	11.6%	30.9%	38.2%	19.3%			
同居有無	いる	48	31.3%	47.9%	16.7%	4.2%	38.47	0.000	***
	いない	721	8.9%	30.8%	40.6%	19.7%			

***:p<0.001　**:p<0.01　*:p<0.05

本調査では、地域イベントへの参加経験および今後の参加意向を把握するための項目を設けた。まず、当該地域で実施されている具体的なイベントへの参加経験を尋ね（Q1）、続いて、それらのイベントに対する今後の参加意向を尋ねた（Q2）。質問文および選択肢の詳細については、巻末の調査票を参照されたい。

はじめに、基本属性と地域イベントへの参加意向との関連を検討するため、クロス集計および χ 二乗検定を行った（表９－１）。

表９－１に示すように、性別と参加意向との間には有意な関連が認められ、女性は男性に

比べて参加意向が高い傾向がみられた。

また、世代と参加意向との間にも有意な関連が認められた。19～39 歳では参加に前向きな回答が多い一方、40 歳以上の各世代では「どちらかといえば参加したくない」とする回答が多い傾向がみられた。ただし、80 歳以上で「参加したい」とする回答が１割を超えている点は特筆に値する。

さらに、同居家族に中学生以下の子どもがいるか否かと参加意向との関連をみると、「いる」と回答した者（n＝48）では、「参加したい」または「どちらかといえば参加したい」と回答した者が約８割を占め、参加に対して前向きな態度が確認された。一方、「いない」と回答した者（n＝721）では、同様の回答は４割程度にとどまっていた。

なお、居住年数と参加意向との間には有意な関連は認められなかった。

（2）地域イベント参加経験との関連

表９－２　地域イベントへの参加経験と地域イベントへの参加意向の関連

	参加経験の有無	n	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	χ^2値	p値	
UR主催	参加経験あり	106	34.0%	47.2%	15.1%	3.8%	114.87	0.000	***
	参加経験なし	667	6.0%	29.5%	43.0%	21.4%			
自治会主催	参加経験あり	476	14.3%	37.8%	36.8%	11.1%	73.53	0.000	***
	参加経験なし	319	3.1%	23.8%	43.3%	29.8%			
地区部会高齢者委員会	参加経験あり	75	24.0%	33.3%	29.3%	13.3%	21.27	0.000	***
	参加経験なし	713	8.1%	31.8%	40.7%	19.4%			
地区部会障害者委員会	参加経験あり	79	24.1%	41.8%	25.3%	8.9%	30.06	0.000	***
	参加経験なし	711	8.2%	30.9%	41.1%	19.8%			
地区部会児童母子委員会	参加経験あり	32	34.4%	34.4%	9.4%	21.9%	28.51	0.000	***
	参加経験なし	756	8.7%	32.1%	40.6%	18.5%			
地区部会ボランティア委員会	参加経験あり	30	30.0%	46.7%	13.3%	10.0%	21.32	0.000	***
	参加経験なし	750	9.2%	31.2%	40.4%	19.2%			
青少年育成委員会	参加経験あり	36	38.9%	27.8%	27.8%	5.6%	37.52	0.000	***
	参加経験なし	749	8.4%	32.2%	40.2%	19.2%			
幸町子育てリラックス館	参加経験あり	37	40.5%	51.4%	5.4%	2.7%	60.19	0.000	***
	参加経験なし	745	8.1%	31.0%	41.3%	19.6%			

***：p<0.001

次に、地域イベントへの参加経験と今後の参加意向との関連を検討する。Q1 では、UR イベント、自治会主催イベント、幸町２丁目地区部会イベント（高齢者委員会、障害者福祉委員会、児童母子福祉委員会、ボランティア委員会）、青少年育成委員会イベント、幸町子育てリラックス館イベントの計８項目について参加経験を尋ねた。回答の選択肢は、「何度も参加したことがある」「数回参加したことがある」「参加したことがない」「知らなかったが参加したい」の４つである。

分析にあたっては、「何度も参加したことがある」と「数回参加したことがある」を「参加経験あり」、「参加したことがない」と「知らなかったが参加したい」を「参加経験なし」として再分類した。

表９－２は、イベント参加経験の有無と今後の参加意向との関連について、クロス集計および χ 二乗検定を行った結果を示したものである。

分析の結果、地域イベントへの参加経験の有無と参加意向との間には明確な関連が認められた。すなわち、参加経験がある人は、ない人よりも「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答する割合が高い傾向が一貫して確認された。この傾向は複数の項目に共通してみられ、安定したパターンであると考えられる。

以上より、過去の参加経験が、今後の参加意向を高める要因として作用している可能性が示唆される。

（3）まちへの関心との関連

本調査では、まちへの関心の程度を測定するため、12 項目を設定した。具体的には、「子育てしやすい環境づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「教育環境の充実」「医療・福祉体制の充実」「飲食店のさらなる充実」「騒音対策の充実」「交通の利便性向上」「買い物環境の利便性向上」「交流の活発化」「まちの景観の保全」「街灯の整備」「防災対策の充実」である。各項目について、１（低い）から７（高い）までの７件法で回答を得た。

分析にあたっては、回答を「１～２」を低群、「３～５」を中程度群、「６～７」を高群に分類した。そのうえで、参加意向との関連を検討するため、クロス集計および χ 二乗検定を行った（表９－３）。

その結果、すべての項目において、まちへの関心度（低・中・高）と参加意向との間に有意な関連が認められた。具体的には、関心度が高い群ほど「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答する割合が高く、関心度が低い群ほど「参加したくない」側の回答が多い傾向が確認された。

（4）まちにおける人間関係との関連

本調査では、対象者のまちにおける人間関係の状況を把握するため、４項目を設定した。具体的には、「私には、よく会話する人がこのまちにいる」「私には、困ったときに頼れる人がこのまちにいる」「私には、信頼できる人がこのまちにいる」「私には、普段から気にかけている人がこのまちにいる」である。回答は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の４件法で得た。

分析にあたっては、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を「いる」群、「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」を「いない」群に分類した。そのうえで、参加意向との関連を検討するため、クロス集計および χ 二乗検定を行った（表９－４）。

その結果、地域内に相談や交流のできる相手の有無と参加意向との間には有意な関連が認められた。具体的には、「いる」と回答した者のほうが、「参加したい」「どちらかといえば参加したい」とする割合が高く、「いない」と回答した者では「参加したくない」側の回答が多い傾向が確認された。

以上より、地域内における人的つながりの有無は、地域イベントへの参加意向に影響を与える重要な要因の一つであると考えられる。

表９－３　まちへの関心と地域イベントへの参加意向の関連

	関心	n	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	χ^2値	p値	
子育てしやすい環境づくり	低	147	5.4%	23.1%	40.1%	31.3%	46.88	0.000	***
	中	427	10.3%	33.0%	41.7%	15.0%			
	高	129	15.5%	48.1%	24.8%	11.6%			
安心して暮らせる地域づくり	低	38	7.9%	18.4%	34.2%	39.5%	21.60	0.001	**
	中	438	9.4%	30.8%	41.8%	18.0%			
	高	272	11.8%	39.3%	34.2%	14.7%			
教育環境の充実	低	130	4.6%	21.5%	40.0%	33.8%	50.15	0.000	***
	中	467	10.3%	33.8%	41.3%	14.6%			
	高	123	14.6%	48.0%	23.6%	13.8%			
医療・福祉体制の充実化	低	64	9.4%	23.4%	25.0%	42.2%	32.60	0.000	***
	中	399	10.0%	31.6%	42.6%	15.8%			
	高	282	9.6%	38.7%	36.2%	15.6%			
飲食店の更なる充実	低	132	12.9%	28.8%	31.1%	27.3%	21.55	0.001	**
	中	396	8.6%	31.8%	44.7%	14.9%			
	高	208	11.1%	38.9%	32.2%	17.8%			
騒音対策の充実	低	87	14.9%	29.9%	32.2%	23.0%	14.15	0.028	*
	中	462	9.3%	34.8%	41.1%	14.7%			
	高	183	8.7%	32.2%	34.4%	24.6%			
交通の利便性向上	低	78	15.4%	29.5%	24.4%	30.8%	27.58	0.000	***
	中	338	8.0%	29.9%	47.0%	15.1%			
	高	335	11.0%	37.0%	34.0%	17.9%			
買い物環境の利便性向上	低	58	6.9%	24.1%	29.3%	39.7%	27.11	0.000	***
	中	392	10.7%	30.1%	43.4%	15.8%			
	高	296	9.1%	38.9%	35.1%	16.9%			
交流の活性化	低	127	7.1%	15.7%	37.0%	40.2%	115.44	0.000	***
	中	510	7.8%	33.1%	44.1%	14.9%			
	高	90	24.4%	57.8%	11.1%	6.7%			
まちの景観の保全	低	30	8.6%	21.4%	27.1%	42.9%	52.06	0.000	***
	中	76	8.4%	31.8%	44.3%	15.5%			
	高	26	15.0%	42.2%	28.3%	14.4%			
街灯の整備	低	18	5.4%	25.0%	37.5%	32.1%	21.54	0.001	**
	中	78	8.4%	30.9%	43.1%	17.6%			
	高	38	13.9%	38.1%	32.4%	15.6%			
防災対策の充実	低	17	8.3%	25.0%	31.3%	35.4%	28.13	0.000	***
	中	70	8.6%	29.3%	45.0%	17.1%			
	高	48	13.3%	39.3%	30.5%	16.8%			

***:p<0.001　**:p<0.01　*:p<0.05

表９－４　まちにおける人間関係と地域イベントへの参加意向の関連

	有無	n	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	χ^2値	p値	
よく会話する人	いる	342	14.0%	39.2%	36.8%	9.9%	42.06	0.000	***
	いない	440	6.8%	27.5%	40.9%	24.8%			
困ったときに頼れる人	いる	317	15.1%	39.7%	36.0%	9.1%	49.35	0.000	***
	いない	466	6.4%	27.3%	41.8%	24.5%			
信頼できる人	いる	319	14.7%	39.5%	37.3%	8.5%	46.45	0.000	***
	いない	461	6.7%	28.0%	41.2%	24.1%			
普段から気にかけている人	いる	295	14.6%	41.7%	36.6%	7.1%	54.42	0.000	***
	いない	479	7.3%	26.7%	41.3%	24.6%			

***:p<0.001

３．地域イベントへの参加意向を規定する要因分析

（1）分析に使用する変数

従属変数は「地域イベントへの参加意向」である。「参加したい」「どちらかといえば参加したい」を「参加したい」、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」を「参加したくない」に再分類し、２値化した。「参加したい」は 339 人（41.7%）、「参加したくない」は 473 人（58.3%）である。

独立変数は、「イベント参加経験」「まちへの関心」「まちにおける人間関係」である。統制変数として、性別、年齢、居住年数、および中学生以下の子どもの同居の有無を投入した。

「イベント参加経験」は、表９－２に示した８種類のイベントへの回答をもとに「イベント参加経験度」を算出し、そのうえで「参加経験なし」「参加経験あり（低）」「参加経験あり（高）」の３群に分類した。各群の内訳は、「参加経験なし」が 297 人（37.1%）、「参加経験あり（低）」が 366 人（45.7%）、「参加経験あり（高）」が 138 人（17.2%）である。

「まちへの関心」は、表９－３に示した 12 項目の回答を合算して「まちへの関心度」を算出した。クロンバックの α 係数は 0.902 であり、十分な内的整合性が確認された。記述統計量は、最小値 12、最大値 84、平均値 53.87、中央値 54.00、標準偏差 13.692、歪度-0.342、尖度 0.280 である。

「まちにおける人間関係」は、表９－４に示した４項目の回答を用いて尺度化した。具体的には、「あてはまる」を３点、「どちらかといえばあてはまる」を２点、「どちらかといえばあてはまらない」を１点、「あてはまらない」を０点として得点化した。クロンバックの α 係数は 0.943 であり、高い内的整合性が確認された。記述統計量は、最小値０、最大値 12、平均値 4.98、中央値 5.00、標準偏差 3.641、歪度 0.189、尖度-0.908 である。

分析方法には、二項ロジスティック回帰分析を用いた。

（2）分析結果と考察

ロジスティック回帰分析の結果、地域イベントへの参加意向に対して、いくつかの要因が有意な影響を及ぼしていることが明らかとなった（表９－５）。従属変数は地域イベント参加意向（参加したい＝１、参加したくない＝０）である。

まず、基本属性に関する変数についてみると、居住年数は有意な負の影響を示し、居住年数が長いほど参加意向が低い傾向がみられた。この結果は、性別や年齢、イベント参加経験、まちへの関心などの他の要因を統制した場合、居住年数の効果が独立には負に現れることを示している。

一方、中学生以下の子どもと同居している場合には、参加意向が有意に高く、同居していない場合と比較して約 2.8 倍参加意向が高かった。なお、性別および年齢については、有意な影響は認められなかった。

次に主要な独立変数についてみると、イベント参加経験は全体として有意であり、参加経験が多いほど参加意向が高いことが示された。具体的には、参加経験がない者に比べて、参加経験が低い群では約 2.5 倍、参加経験が高い群では約 10 倍、それぞれ参加意向が高かった。

また、「まちへの関心度」は有意な正の影響を示し、関心が高いほど参加意向が高まる傾向が確認された。同様に、「まちにおける人間関係」も有意な正の影響を示し、まちのなかで人間関係を築いているほど参加意向が高いことが明らかとなった。

以上の結果から、地域イベントへの参加意向は、過去の参加経験をはじめとして、地域への関心や人間関係といった「地域との関わりの程度」によって強く規定されていることが示唆される。

表９－５　地域イベントへの参加意向を規定する要因分析

	B	標準誤差	Wald	p値		Exp(B)
性別（女性=1）	0.135	0.197	0.468	0.494		1.144
年齢	0.006	0.007	0.667	0.414		1.006
居住年数のZ得点	−0.537	0.122	19.272	0.000	***	0.585
中学生以下の子ども同居（あり=1）	1.027	0.453	5.131	0.023	*	2.792
イベント参加経験（ref=経験なし）						
イベント参加経験あり（低）	0.917	0.237	15.017	0.000	***	2.501
イベント参加経験あり（高）	2.307	0.360	41.164	0.000	***	10.040
まちへの関心度	0.027	0.008	12.066	0.001	**	1.027
まちにおける人間関係	0.090	0.030	8.878	0.003	**	1.094
定数	−3.567	0.702	25.791	0.000	***	0.028
n	584		p<0.001	**:p<0.01	*:p<0.05	
−2対数尤度	663.823					
Cox-Snell R2 乗	0.207					
Nagelkerke R2 乗	0.277					
Hosmer と Lemeshow の検定	p＝0.830					

４．結論

本章では、地域イベントへの参加意向（参加したい／参加したくない）を従属変数とし、基本属性、イベント参加経験、まちへの関心、まちにおける人間関係を独立変数とした二項ロジスティック回帰分析を行った。この分析により、属性要因を統制したうえで、参加意向に関連する要因を明らかにした。

分析の結果、地域イベントへの参加意向は、個人の基本属性よりも、地域との関わりの程度によって強く規定されていることが明らかとなった。

まず、クロス集計の結果から、イベント参加経験がある人ほど参加意向が高く、まちへの関心が高い人ほど参加に前向きであり、さらに地域内に人間関係を有する人ほど参加意向が高いことが確認された。これらの結果は、地域との接点や関与の蓄積が参加意欲の形成に重要であることを示している。

次に、ロジスティック回帰分析の結果においても同様の傾向が確認された。とりわけイベント参加経験の影響は大きく、参加経験が多いほど参加意向が有意に高まることが示された。また、まちへの関心、およびまちにおける人間関係も有意な正の影響を示し、これらが参加意向を高める重要な要因であることが明らかとなった。

一方、基本属性に関する変数については、他の要因を統制した場合、居住年数は参加意向と負の関連を示し、中学生以下の子どもと同居している場合には参加意向が有意に高いことが確認された。他方で、性別および年齢については有意な影響は認められなかった。

以上の結果から、地域イベントへの参加を促進するためには、属性的特徴に着目するだけでなく、参加経験の機会を提供すること、地域への関心を高める働きかけ、そして地域内の人間関係を醸成することが重要であると結論づけられる。

最後に、残された課題について言及しておきたい。

第一に、本章での分析は、横断的なデータに基づくものであり、因果関係の方向を厳密に特定することはできない。たとえば、参加経験が参加意向を高めている可能性が示唆されたものの、もともと参加意欲の高い人がイベントに参加している可能性も考えられる。今後は、縦断的データの収集や分析を通じて、因果関係をより精緻に検討する必要がある。

第二に、本研究では地域との関わりを「地域イベントへの参加経験」「まちへの関心」「まちにおける人間関係」の指標で捉えたが、地域への愛着や信頼感、情報接触の機会といった他の要因については十分に考慮、検討できていない。今後、これらの変数を含めた包括的な分析が求められる。

第三に、本研究の対象は特定の地域に限定されているため、得られた知見の一般化には慎重である必要がある。今後、異なる地域特性を持つ複数の地域を対象とした比較分析を行うことで、結果の妥当性を検証することが重要である。

以上の課題を踏まえつつ、地域イベントへの参加を促進するための実践的方策について、さらなる検討を進めていきたい。

あとがき

本科目「社会調査実習」は、一般社団法人社会調査協会によって認定される社会調査士資格を取得するための必須科目であり、社会調査協会の定めによれば、本科目（＝社会調査協会が指定する「社会調査の実習を中心とする科目」）には年間 30 回の授業が必要である。「社会調査実習」は、コミュニティ政策学部のカリキュラムにおいて、前学期中に週２コマ、計 30 回という形で行われる。

この 30 回の授業の中で、はじめに現地を訪問した。幸町２丁目連携会議のメンバーの方々にまちの様子をご紹介いただきながら歩き回り、まちの課題をお聞きした。また実査にあたっては、調査票 6,500 部の印刷・封入、そして約 1,400 世帯を学生たちが一戸ずつポスティングをするなど社会調査のフィジカル的側面を身をもって経験した。学生たちは、まちを訪れたことによって、平日夕方に少し急ぎながら買い物をする子育て世代の人びと、放課後の校庭で遊びまわる小学生たち、防犯パトロールに練り歩く高齢ボランティアグループの背中、公園等で団らんの時間を過ごす高齢者、仕事帰りの帰路につく外国籍の人びと、その他まちの各店舗で働く人びとを目にした。こうしたフィールドで知覚した経験と、調査によって得られた量的データを連携させることは甚だ難しいことである。しかし、データの分析にさいして、さらに分析結果の解釈や考察を執筆する過程において、量的データのみでは見えない住民の生活の諸側面があることへの「想像力」ないし「わきまえ」のような態度も、いくらか芽が出ることを期待したい。インターネット調査とは異なる調査経験は学生にとって貴重な機会になったものと思われる。

なお、本調査の派生物（スピンオフ）としてまちのイベント情報や「地域デビュー」窓口をまとめた冊子を作成中である。この冊子を手に取った住民の方々が、まちのイベントに参加するきっかけになったり、まちに関わる窓口を知ることによって、住民同士の交流を促しまちを支えようとする住民同士のつながりづくりのきっかけツール、いわば「ソーシャルパンフレット」を企画している。

末筆になるが、調査実施に多大なご協力をいただいた幸町２丁目連携会議の皆さまをはじめ、回答にご協力いただいた全ての皆さまに心より感謝申し上げる。

令和８年３月

本多　敏明

青柳　涼子

単　純　集　計　表

Q1aまちイベント参加経験　UR主催

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	32	3.6	3.8	3.8
	数回参加したことがある	91	10.4	10.9	14.8
	参加したことがない	658	74.9	79.0	93.8
	知らなかったが参加したい	52	5.9	6.2	100.0
	合計	833	94.9	100.0	
欠損値	無回答	45	5.1		
合計		878	100.0		

Q1bまちイベント参加経験　自治会主催

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	214	24.4	24.9	24.9
	数回参加したことがある	307	35.0	35.7	60.6
	参加したことがない	305	34.7	35.5	96.0
	知らなかったが参加したい	34	3.9	4.0	100.0
	合計	860	97.9	100.0	
欠損値	無回答	18	2.1		
合計		878	100.0		

Q1cまちイベント参加経験　地区部会高齢者委員会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	34	3.9	4.0	4.0
	数回参加したことがある	56	6.4	6.6	10.6
	参加したことがない	716	81.5	84.6	95.3
	知らなかったが参加したい	40	4.6	4.7	100.0
	合計	846	96.4	100.0	
欠損値	無回答	32	3.6		
合計		878	100.0		

Q1dまちイベント参加経験　地区部会障害者福祉委員会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	26	3.0	3.1	3.1
	数回参加したことがある	64	7.3	7.5	10.6
	参加したことがない	728	82.9	85.6	96.2
	知らなかったが参加したい	32	3.6	3.8	100.0
	合計	850	96.8	100.0	
欠損値	無回答	28	3.2		
合計		878	100.0		

Q1eまちイベント参加経験　地区部会児童母子福祉委員会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	8	0.9	0.9	0.9
	数回参加したことがある	30	3.4	3.5	4.5
	参加したことがない	759	86.4	89.6	94.1
	知らなかったが参加したい	50	5.7	5.9	100.0
	合計	847	96.5	100.0	
欠損値	無回答	31	3.5		
合計		878	100.0		

Q1fまちイベント参加経験　地区部会ボランティア委員会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	12	1.4	1.4	1.4
	数回参加したことがある	25	2.8	3.0	4.4
	参加したことがない	760	86.6	90.7	95.1
	知らなかったが参加したい	41	4.7	4.9	100.0
	合計	838	95.4	100.0	
欠損値	無回答	40	4.6		
合計		878	100.0		

Q1gまちイベント参加経験　青少年育成委員会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	13	1.5	1.5	1.5
	数回参加したことがある	28	3.2	3.3	4.9
	参加したことがない	750	85.4	88.9	93.7
	知らなかったが参加したい	53	6.0	6.3	100.0
	合計	844	96.1	100.0	
欠損値	無回答	34	3.9		
合計		878	100.0		

Q1hまちイベント参加経験　幸町子育てリラックス館

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	何度も参加したことがある	16	1.8	1.9	1.9
	数回参加したことがある	24	2.7	2.9	4.8
	参加したことがない	747	85.1	89.0	93.8
	知らなかったが参加したい	52	5.9	6.2	100.0
	合計	839	95.6	100.0	
欠損値	無回答	39	4.4		
合計		878	100.0		

Q1iまちイベント参加経験　その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	847	96.5	96.5	96.5
	あり	31	3.5	3.5	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q1ifaまちイベント参加経験その他　自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述あり	31	3.5	100.0	100.0
欠損値	非該当	847	96.5		
合計		878	100.0		

Q2今後のまちイベント参加意欲

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	参加したい	79	9.0	9.7	9.7
	どちらかといえば参加したい	260	29.6	32.0	41.7
	どちらかといえば参加したくない	321	36.6	39.5	81.3
	参加したくない	152	17.3	18.7	100.0
	合計	812	92.5	100.0	
欠損値	無回答	66	7.5		
合計		878	100.0		

Q2fa今後のまちイベント参加意欲　自由記述有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述なし	578	65.8	65.8	65.8
	記述あり	300	34.2	34.2	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q2fa2今後のまちイベント参加意欲　自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述あり	300	34.2	100.0	100.0
欠損値	非該当	578	65.8		
合計		878	100.0		

Q3aイベント運営協力意欲　企画提案

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	とてもそう思う	18	2.1	2.2	2.2
	そう思う	86	9.8	10.7	12.9
	そう思わない	485	55.2	60.3	73.3
	まったくそう思わない	215	24.5	26.7	100.0
	合計	804	91.6	100.0	
欠損値	無回答	74	8.4		
合計		878	100.0		

Q3bイベント運営協力意欲　イベント宣伝

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	とてもそう思う	12	1.4	1.5	1.5
	そう思う	98	11.2	12.3	13.8
	そう思わない	475	54.1	59.4	73.1
	まったくそう思わない	215	24.5	26.9	100.0
	合計	800	91.1	100.0	
欠損値	無回答	78	8.9		
合計		878	100.0		

Q3cイベント運営協力意欲　チラシ作成

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	とてもそう思う	7	0.8	0.9	0.9
	そう思う	108	12.3	13.5	14.3
	そう思わない	475	54.1	59.2	73.6
	まったくそう思わない	212	24.1	26.4	100.0
	合計	802	91.3	100.0	
欠損値	無回答	76	8.7		
合計		878	100.0		

Q3dイベント運営協力意欲　前当日の簡単な手伝い

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	とてもそう思う	25	2.8	3.1	3.1
	そう思う	213	24.3	26.2	29.3
	そう思わない	399	45.4	49.1	78.4
	まったくそう思わない	175	19.9	21.6	100.0
	合計	812	92.5	100.0	
欠損値	無回答	66	7.5		
合計		878	100.0		

Q3eイベント運営協力意欲　協力者の勧誘

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	とてもそう思う	9	1.0	1.2	1.2
	そう思う	68	7.7	8.7	9.8
	そう思わない	471	53.6	60.2	70.1
	まったくそう思わない	234	26.7	29.9	100.0
	合計	782	89.1	100.0	
欠損値	無回答	96	10.9		
合計		878	100.0		

Q3fイベント運営協力意欲　その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	840	95.7	95.7	95.7
	あり	38	4.3	4.3	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q3ffaイベント運営協力意欲その他　自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述あり	38	4.3	100.0	100.0
欠損値	非該当	840	95.7		
合計		878	100.0		

Q401まちの定期イベント認知　URサークル

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	552	62.9	62.9	62.9
	知っている	326	37.1	37.1	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q402まちの定期イベント認知　幸町団地自治会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	496	56.5	56.5	56.5
	知っている	382	43.5	43.5	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q403まちの定期イベント認知　幸町2丁目地区部会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	654	74.5	74.5	74.5
	知っている	224	25.5	25.5	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q404まちの定期イベント認知　しょうじゅレジデンス

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	734	83.6	83.6	83.6
	知っている	144	16.4	16.4	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q405まちの定期イベント認知　あんしんケアセンター

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	779	88.7	88.7	88.7
	知っている	99	11.3	11.3	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q406まちの定期イベント認知　幸町子育てリラックス館

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	798	90.9	90.9	90.9
	知っている	80	9.1	9.1	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q407まちの定期イベント認知　幸町公民館サークル

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	573	65.3	65.3	65.3
	知っている	305	34.7	34.7	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q408まちの定期イベント認知　その他（シニアリーダー体操）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	知らない	819	93.3	93.3	93.3
	知っている	59	6.7	6.7	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q5a共用スペース交流　幸町公民館

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	かなり交流がある	52	5.9	6.2	6.2
	たまに交流がある	112	12.8	13.3	19.5
	あまり交流がない	144	16.4	17.1	36.6
	まったく交流がない	246	28.0	29.3	65.9
	利用したことがない	287	32.7	34.1	100.0
	合計	841	95.8	100.0	
欠損値	無回答	37	4.2		
合計		878	100.0		

Q5b共用スペース交流　幸町子育てリラックス館

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	かなり交流がある	9	1.0	1.1	1.1
	たまに交流がある	22	2.5	2.7	3.8
	あまり交流がない	59	6.7	7.2	10.9
	まったく交流がない	230	26.2	28.0	38.9
	利用したことがない	502	57.2	61.1	100.0
	合計	822	93.6	100.0	
欠損値	無回答	56	6.4		
合計		878	100.0		

Q5c共用スペース交流　ふくふく広場

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	かなり交流がある	13	1.5	1.6	1.6
	たまに交流がある	40	4.6	4.9	6.4
	あまり交流がない	76	8.7	9.2	15.7
	まったく交流がない	222	25.3	26.9	42.6
	利用したことがない	473	53.9	57.4	100.0
	合計	824	93.8	100.0	
欠損値	無回答	54	6.2		
合計		878	100.0		

Q5d共用スペース交流　幸町団地内の各集会所

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	かなり交流がある	27	3.1	3.2	3.2
	たまに交流がある	81	9.2	9.7	13.0
	あまり交流がない	135	15.4	16.2	29.2
	まったく交流がない	215	24.5	25.8	55.0
	利用したことがない	375	42.7	45.0	100.0
	合計	833	94.9	100.0	
欠損値	無回答	45	5.1		
合計		878	100.0		

Q5e共用スペース交流　団地以外の自治会館集会所

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	かなり交流がある	15	1.7	1.8	1.8
	たまに交流がある	47	5.4	5.7	7.5
	あまり交流がない	94	10.7	11.4	18.9
	まったく交流がない	228	26.0	27.6	46.5
	利用したことがない	442	50.3	53.5	100.0
	合計	826	94.1	100.0	
欠損値	無回答	52	5.9		
合計		878	100.0		

Q5f共用スペース交流　幸町団地内の公園

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	かなり交流がある	20	2.3	2.4	2.4
	たまに交流がある	118	13.4	14.2	16.6
	あまり交流がない	173	19.7	20.9	37.5
	まったく交流がない	268	30.5	32.3	69.8
	利用したことがない	250	28.5	30.2	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q5g共用スペース交流　千葉市が管轄する公園

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	かなり交流がある	20	2.3	2.5	2.5
	たまに交流がある	92	10.5	11.4	13.8
	あまり交流がない	156	17.8	19.3	33.1
	まったく交流がない	280	31.9	34.6	67.7
	利用したことがない	261	29.7	32.3	100.0
	合計	809	92.1	100.0	
欠損値	無回答	69	7.9		
合計		878	100.0		

Q5h共用スペース交流　その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	862	98.2	98.2	98.2
	あり	16	1.8	1.8	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q5hfa共用スペース交流その他　自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述あり	16	1.8	100.0	100.0
欠損値	非該当	862	98.2		
合計		878	100.0		

Q6家族や仕事以外での異なる世代との交流頻度

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	よくある	179	20.4	20.8	20.8
	たまにある	295	33.6	34.3	55.1
	あまりない	161	18.3	18.7	73.8
	まったくない	226	25.7	26.2	100.0
	合計	861	98.1	100.0	
欠損値	無回答	17	1.9		
合計		878	100.0		

Q7a地域愛着　このまちはリラックスできる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	241	27.4	28.8	28.8
	どちらかといえばあてはまる	436	49.7	52.1	80.9
	どちらかといえばあてはまらない	122	13.9	14.6	95.5
	あてはまらない	38	4.3	4.5	100.0
	合計	837	95.3	100.0	
欠損値	無回答	41	4.7		
合計		878	100.0		

Q7b地域愛着　雰囲気や土地柄が気にいっている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	211	24.0	25.3	25.3
	どちらかといえばあてはまる	439	50.0	52.6	77.8
	どちらかといえばあてはまらない	149	17.0	17.8	95.7
	あてはまらない	36	4.1	4.3	100.0
	合計	835	95.1	100.0	
欠損値	無回答	43	4.9		
合計		878	100.0		

Q7c地域愛着　このまちを歩くのは気持ちよい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	206	23.5	24.7	24.7
	どちらかといえばあてはまる	438	49.9	52.6	77.3
	どちらかといえばあてはまらない	145	16.5	17.4	94.7
	あてはまらない	44	5.0	5.3	100.0
	合計	833	94.9	100.0	
欠損値	無回答	45	5.1		
合計		878	100.0		

Q7d地域愛着　お気に入りの場所がある

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	125	14.2	15.1	15.1
	どちらかといえばあてはまる	277	31.5	33.4	48.5
	どちらかといえばあてはまらない	283	32.2	34.1	82.6
	あてはまらない	144	16.4	17.4	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q7e地域愛着　自分のまちという感じがする

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	157	17.9	18.7	18.7
	どちらかといえばあてはまる	351	40.0	41.9	60.6
	どちらかといえばあてはまらない	233	26.5	27.8	88.4
	あてはまらない	97	11.0	11.6	100.0
	合計	838	95.4	100.0	
欠損値	無回答	40	4.6		
合計		878	100.0		

Q7f地域愛着　このまちが好きだ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	194	22.1	23.1	23.1
	どちらかといえばあてはまる	426	48.5	50.7	73.7
	どちらかといえばあてはまらない	165	18.8	19.6	93.3
	あてはまらない	56	6.4	6.7	100.0
	合計	841	95.8	100.0	
欠損値	無回答	37	4.2		
合計		878	100.0		

Q7g地域愛着　まちに思い出がある

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	183	20.8	22.1	22.1
	どちらかといえばあてはまる	282	32.1	34.1	56.2
	どちらかといえばあてはまらない	193	22.0	23.3	79.5
	あてはまらない	170	19.4	20.5	100.0
	合計	828	94.3	100.0	
欠損値	無回答	50	5.7		
合計		878	100.0		

Q7h地域愛着　まちに自分の居場所がある

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	154	17.5	18.6	18.6
	どちらかといえばあてはまる	343	39.1	41.3	59.9
	どちらかといえばあてはまらない	215	24.5	25.9	85.8
	あてはまらない	118	13.4	14.2	100.0
	合計	830	94.5	100.0	
欠損値	無回答	48	5.5		
合計		878	100.0		

Q7i地域愛着　このまちは住みやすい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	218	24.8	25.6	25.6
	どちらかといえばあてはまる	471	53.6	55.4	81.1
	どちらかといえばあてはまらない	113	12.9	13.3	94.4
	あてはまらない	48	5.5	5.6	100.0
	合計	850	96.8	100.0	
欠損値	無回答	28	3.2		
合計		878	100.0		

Q7j地域愛着　このまちにずっと住みたい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	222	25.3	26.2	26.2
	どちらかといえばあてはまる	372	42.4	43.9	70.1
	どちらかといえばあてはまらない	166	18.9	19.6	89.7
	あてはまらない	87	9.9	10.3	100.0
	合計	847	96.5	100.0	
欠損値	無回答	31	3.5		
合計		878	100.0		

Q801体調不良時の相談相手　同居・近居家族・親戚

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	203	23.1	23.3	23.3
	あてはまる	667	76.0	76.7	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q802体調不良時の相談相手　遠方の家族・親戚

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	733	83.5	84.3	84.3
	あてはまる	137	15.6	15.7	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q803体調不良時の相談相手　近所の知人・友人

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	632	72.0	72.6	72.6
	あてはまる	238	27.1	27.4	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q804体調不良時の相談相手　遠方の知人・友人

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	812	92.5	93.3	93.3
	あてはまる	58	6.6	6.7	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q805体調不良時の相談相手　医師やケアマネなどの専門職

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	584	66.5	67.1	67.1
	あてはまる	286	32.6	32.9	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q806体調不良時の相談相手　市や区、警察・消防・救急

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	689	78.5	79.2	79.2
	あてはまる	181	20.6	20.8	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q807体調不良時の相談相手　千葉市あんしんケアセンター

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	720	82.0	82.8	82.8
有効	あてはまる	150	17.1	17.2	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q808体調不良時の相談相手　相談できる人がいない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	833	94.9	95.7	95.7
有効	あてはまる	37	4.2	4.3	100.0
	合計	870	99.1	100.0	
欠損値	無回答	8	0.9		
合計		878	100.0		

Q809体調不良時の相談相手　その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	858	97.7	97.8	97.8
有効	あてはまる	19	2.2	2.2	100.0
	合計	877	99.9	100.0	
欠損値	無回答	1	0.1		
合計		878	100.0		

Q809fa体調不良時の相談相手　その他自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	記述なし	3	0.3	15.8	15.8
有効	記述あり	16	1.8	84.2	100.0
	合計	19	2.2	100.0	
欠損値	非該当	859	97.8		
合計		878	100.0		

Q901嫌がらせ時の相談相手有無　同居・近居家族・親戚

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	322	36.7	38.2	38.2
有効	あてはまる	521	59.3	61.8	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q902嫌がらせ時相談相手　遠方の家族・親戚

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	758	86.3	89.9	89.9
有効	あてはまる	85	9.7	10.1	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q903嫌がらせ時の相談相手　近所の知人・友人

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	573	65.3	68.0	68.0
有効	あてはまる	270	30.8	32.0	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q904嫌がらせ時の相談相手　遠方の知人・友人

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	738	84.1	87.5	87.5
有効	あてはまる	105	12.0	12.5	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q905嫌がらせ時の相談相手　医師やケアマネなどの専門職

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	あてはまらない	758	86.3	89.9	89.9
有効	あてはまる	85	9.7	10.1	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q906嫌がらせ時の相談相手　市や区、警察・消防・救急

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	615	70.0	73.0	73.0
	あてはまる	228	26.0	27.0	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q907嫌がらせ時の相談相手　千葉市あんしんケアセンター

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	741	84.4	87.9	87.9
	あてはまる	102	11.6	12.1	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q908嫌がらせ時の相談相手　相談できる人がいない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	781	89.0	92.6	92.6
	あてはまる	62	7.1	7.4	100.0
	合計	843	96.0	100.0	
欠損値	無回答	35	4.0		
合計		878	100.0		

Q909嫌がらせ時の相談相手　その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	831	94.6	94.9	94.9
	あてはまる	45	5.1	5.1	100.0
	合計	876	99.8	100.0	
欠損値	無回答	2	0.2		
合計		878	100.0		

Q909fa嫌がらせ時の相談相手　その他自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述なし	1	0.1	2.2	2.2
	記述あり	45	5.1	97.8	100.0
	合計	46	5.2	100.0	
欠損値	非該当	832	94.8		
合計		878	100.0		

Q101近所DV気づいた時の相談相手有無　同居・近居家族・親戚

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	471	53.6	56.8	56.8
	あてはまる	358	40.8	43.2	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q102近所DV気づいた時の相談相手　遠方の家族・親戚

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	805	91.7	97.1	97.1
	あてはまる	24	2.7	2.9	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q103近所DV気づいた時の相談相手　近所の知人・友人

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	549	62.5	66.2	66.2
	あてはまる	280	31.9	33.8	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q104近所DV気づいた時の相談相手　遠方の知人・友人

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	804	91.6	97.0	97.0
	あてはまる	25	2.8	3.0	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q105近所DV気づいた時の相談相手　医師やケアマネなどの専門職

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	767	87.4	92.5	92.5
	あてはまる	62	7.1	7.5	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q106近所DV気づいた時の相談相手　市や区、警察・消防・救急

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	334	38.0	40.3	40.3
	あてはまる	495	56.4	59.7	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q107近所DV気づいた時の相談相手　千葉市あんしんケアセンター

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	650	74.0	78.4	78.4
	あてはまる	179	20.4	21.6	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q108近所DV気づいた時の相談相手　相談できる人がいない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	783	89.2	94.5	94.5
	あてはまる	46	5.2	5.5	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q109近所DV気づいた時の相談相手　その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	858	97.7	97.9	97.9
	あてはまる	18	2.1	2.1	100.0
	合計	876	99.8	100.0	
欠損値	無回答	2	0.2		
合計		878	100.0		

Q109fa近所DV気づいた時の相談相手　その他自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述なし	1	0.1	5.6	5.6
	記述あり	17	1.9	94.4	100.0
	合計	18	2.1	100.0	
欠損値	非該当	860	97.9		
合計		878	100.0		

Q11a個人の生活満足　収入

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	55	6.3	6.6	6.6
	まあ満足している	307	35.0	36.7	43.3
	やや不満だ	283	32.2	33.9	77.2
	不満だ	191	21.8	22.8	100.0
	合計	836	95.2	100.0	
欠損値	無回答	42	4.8		
合計		878	100.0		

Q11b個人の生活満足　貯蓄

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	47	5.4	5.6	5.6
	まあ満足している	248	28.2	29.7	35.3
	やや不満だ	303	34.5	36.3	71.6
	不満だ	237	27.0	28.4	100.0
	合計	835	95.1	100.0	
欠損値	無回答	43	4.9		
合計		878	100.0		

Q11c個人の生活満足　食生活

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	124	14.1	14.6	14.6
	まあ満足している	501	57.1	59.1	73.7
	やや不満だ	169	19.2	19.9	93.6
	不満だ	54	6.2	6.4	100.0
	合計	848	96.6	100.0	
欠損値	無回答	30	3.4		
合計		878	100.0		

Q11d個人の生活満足　住生活

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	97	11.0	11.4	11.4
	まあ満足している	463	52.7	54.5	66.0
	やや不満だ	212	24.1	25.0	90.9
	不満だ	77	8.8	9.1	100.0
	合計	849	96.7	100.0	
欠損値	無回答	29	3.3		
合計		878	100.0		

Q11e個人の生活満足　レジャー余暇

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	84	9.6	10.1	10.1
	まあ満足している	417	47.5	50.1	60.2
	やや不満だ	235	26.8	28.2	88.5
	不満だ	96	10.9	11.5	100.0
	合計	832	94.8	100.0	
欠損値	無回答	46	5.2		
合計		878	100.0		

Q12個人の全体的生活満足

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	90	10.3	10.5	10.5
	まあ満足している	529	60.3	61.6	72.1
	やや不満だ	188	21.4	21.9	93.9
	不満だ	52	5.9	6.1	100.0
	合計	859	97.8	100.0	
欠損値	無回答	19	2.2		
合計		878	100.0		

Q13aまちの満足度　公共交通機関利用しやすい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	157	17.9	18.7	18.7
	どちらかといえばあてはまる	368	41.9	43.8	62.5
	どちらかといえばあてはまらない	208	23.7	24.8	87.3
	あてはまらない	107	12.2	12.7	100.0
	合計	840	95.7	100.0	
欠損値	無回答	38	4.3		
合計		878	100.0		

Q13bまちの満足度　このまちは清潔

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	168	19.1	20.0	20.0
	どちらかといえばあてはまる	540	61.5	64.4	84.4
	どちらかといえばあてはまらない	103	11.7	12.3	96.7
	あてはまらない	28	3.2	3.3	100.0
	合計	839	95.6	100.0	
欠損値	無回答	39	4.4		
合計		878	100.0		

Q13cまちの満足度　このまちの自然は豊か

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	153	17.4	18.3	18.3
	どちらかといえばあてはまる	477	54.3	56.9	75.2
	どちらかといえばあてはまらない	163	18.6	19.5	94.6
	あてはまらない	45	5.1	5.4	100.0
	合計	838	95.4	100.0	
欠損値	無回答	40	4.6		
合計		878	100.0		

Q13dまちの満足度　このまちは静穏

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	110	12.5	13.3	13.3
	どちらかといえばあてはまる	457	52.1	55.1	68.4
	どちらかといえばあてはまらない	200	22.8	24.1	92.5
	あてはまらない	62	7.1	7.5	100.0
	合計	829	94.4	100.0	
欠損値	無回答	49	5.6		
合計		878	100.0		

Q13eまちの満足度　このまちは近隣住民と交流しやすい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	40	4.6	4.8	4.8
	どちらかといえばあてはまる	274	31.2	33.1	38.0
	どちらかといえばあてはまらない	381	43.4	46.1	84.0
	あてはまらない	132	15.0	16.0	100.0
	合計	827	94.2	100.0	
欠損値	無回答	51	5.8		
合計		878	100.0		

Q13fまちの満足度　このまちは家族友人と交流しやすい

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	54	6.2	6.6	6.6
	どちらかといえばあてはまる	359	40.9	43.8	50.4
	どちらかといえばあてはまらない	308	35.1	37.6	87.9
	あてはまらない	99	11.3	12.1	100.0
	合計	820	93.4	100.0	
欠損値	無回答	58	6.6		
合計		878	100.0		

Q13gまちの満足度　このまちの人はルール守る

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	40	4.6	4.8	4.8
	どちらかといえばあてはまる	418	47.6	50.4	55.2
	どちらかといえばあてはまらない	271	30.9	32.7	87.8
	あてはまらない	101	11.5	12.2	100.0
	合計	830	94.5	100.0	
欠損値	無回答	48	5.5		
合計		878	100.0		

Q13hまちの満足度　このまちの人は親切

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	59	6.7	7.1	7.1
	どちらかといえばあてはまる	524	59.7	63.4	70.6
	どちらかといえばあてはまらない	205	23.3	24.8	95.4
	あてはまらない	38	4.3	4.6	100.0
	合計	826	94.1	100.0	
欠損値	無回答	52	5.9		
合計		878	100.0		

Q13iよく会話する人がこのまちにいる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	111	12.6	13.2	13.2
	どちらかといえばあてはまる	265	30.2	31.6	44.9
	どちらかといえばあてはまらない	251	28.6	30.0	74.8
	あてはまらない	211	24.0	25.2	100.0
	合計	838	95.4	100.0	
欠損値	無回答	40	4.6		
合計		878	100.0		

Q13j困ったときに頼れる人がこのまちにいる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	99	11.3	11.8	11.8
	どちらかといえばあてはまる	245	27.9	29.2	41.0
	どちらかといえばあてはまらない	267	30.4	31.8	72.7
	あてはまらない	229	26.1	27.3	100.0
	合計	840	95.7	100.0	
欠損値	無回答	38	4.3		
合計		878	100.0		

Q13k信頼できる人がこのまちにいる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	92	10.5	11.0	11.0
	どちらかといえばあてはまる	255	29.0	30.5	41.5
	どちらかといえばあてはまらない	255	29.0	30.5	72.0
	あてはまらない	234	26.7	28.0	100.0
	合計	836	95.2	100.0	
欠損値	無回答	42	4.8		
合計		878	100.0		

Q13l普段から気にかけている人がこのまちにいる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	78	8.9	9.4	9.4
	どちらかといえばあてはまる	243	27.7	29.2	38.6
	どちらかといえばあてはまらない	250	28.5	30.1	68.7
	あてはまらない	260	29.6	31.3	100.0
	合計	831	94.6	100.0	
欠損値	無回答	47	5.4		
合計		878	100.0		

Q14防災訓練参加度

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	必ず参加している	31	3.5	3.6	3.6
	できるだけ参加している	84	9.6	9.8	13.4
	以前は参加していたが最近不参加	166	18.9	19.3	32.8
	参加したことない	577	65.7	67.2	100.0
	合計	858	97.7	100.0	
欠損値	無回答	20	2.3		
合計		878	100.0		

Q1501防災対策　食料備蓄

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	427	48.6	49.4	49.4
	あてはまる	438	49.9	50.6	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1502防災対策　飲料水備蓄

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	276	31.4	31.9	31.9
	あてはまる	589	67.1	68.1	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1503防災対策　懐中電灯準備

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	189	21.5	21.8	21.8
	あてはまる	676	77.0	78.2	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1504防災対策　ラジオの準備

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	441	50.2	51.0	51.0
	あてはまる	424	48.3	49.0	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1505防災対策　非常用の持出し袋

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	515	58.7	59.5	59.5
	あてはまる	350	39.9	40.5	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1506防災対策　生活用水の汲み置きや備蓄

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	639	72.8	73.9	73.9
	あてはまる	226	25.7	26.1	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1507防災対策　簡易携帯トイレの準備

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	515	58.7	59.5	59.5
	あてはまる	350	39.9	40.5	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1508防災対策　ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等の電池切れ対策

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	525	59.8	60.7	60.7
	あてはまる	340	38.7	39.3	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1509防災対策　家具の固定や転倒防止

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	580	66.1	67.1	67.1
	あてはまる	285	32.5	32.9	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1510防災対策　感震ブレーカーの設置

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	807	91.9	93.3	93.3
	あてはまる	58	6.6	6.7	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1511防災対策　家具の耐震強化

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	825	94.0	95.4	95.4
	あてはまる	40	4.6	4.6	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1512防災対策　土のうの用意

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	852	97.0	98.5	98.5
	あてはまる	13	1.5	1.5	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1513防災対策　暴風対策（ガラス飛散防止）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	800	91.1	92.5	92.5
	あてはまる	65	7.4	7.5	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1514防災対策　地震・火災保険などの加入

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	482	54.9	55.7	55.7
	あてはまる	383	43.6	44.3	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1515防災対策　家族との連絡方法の確認

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	587	66.9	67.9	67.9
	あてはまる	278	31.7	32.1	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1516防災対策　帰宅経路や帰宅困難時の対応確認

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	799	91.0	92.4	92.4
	あてはまる	66	7.5	7.6	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1517防災対策　避難場所の確認

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	522	59.5	60.3	60.3
	あてはまる	343	39.1	39.7	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1518防災対策　災害情報の積極的な収集

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	752	85.6	86.9	86.9
	あてはまる	113	12.9	13.1	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1519防災対策　防災訓練への参加

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	770	87.7	89.0	89.0
	あてはまる	95	10.8	11.0	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1520防災対策　まちの避難所の安全性の下調べ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	795	90.5	91.9	91.9
	あてはまる	70	8.0	8.1	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q1521防災対策　特に何もしていない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまらない	802	91.3	92.7	92.7
	あてはまる	63	7.2	7.3	100.0
	合計	865	98.5	100.0	
欠損値	無回答	13	1.5		
合計		878	100.0		

Q16定住意向

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いまの住まいに住みつづけたい	497	56.6	57.3	57.3
	いまのまちのなかで住み替え	51	5.8	5.9	63.2
	いずれ引っ越し	174	19.8	20.1	83.3
	わからない	145	16.5	16.7	100.0
	合計	867	98.7	100.0	
欠損値	無回答	11	1.3		
合計		878	100.0		

Q17まちの全体的な満足度

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	とても満足	98	11.2	11.3	11.3
	どちらかといえば満足	612	69.7	70.5	81.8
	どちらかといえば満足せず	134	15.3	15.4	97.2
	まったく満足せず	24	2.7	2.8	100.0
	合計	868	98.9	100.0	
欠損値	無回答	10	1.1		
合計		878	100.0		

Q18aまちの関心　子育てしやすい環境づくり

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	110	12.5	14.8	14.8
	低	46	5.2	6.2	20.9
	中低	74	8.4	9.9	30.9
	中	291	33.1	39.1	69.9
	中高	88	10.0	11.8	81.7
	高	54	6.2	7.2	89.0
	最高	82	9.3	11.0	100.0
	合計	745	84.9	100.0	
欠損値	無回答	133	15.1		
合計		878	100.0		

Q18bまちの関心　安心して暮らせる地域づくり

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	25	2.8	3.1	3.1
	低	19	2.2	2.4	5.5
	中低	57	6.5	7.1	12.7
	中	275	31.3	34.5	47.1
	中高	135	15.4	16.9	64.0
	高	110	12.5	13.8	77.8
	最高	177	20.2	22.2	100.0
	合計	798	90.9	100.0	
欠損値	無回答	80	9.1		
合計		878	100.0		

Q18cまちの関心　教育環境の充実

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	90	10.3	11.8	11.8
	低	52	5.9	6.8	18.6
	中低	82	9.3	10.7	29.4
	中	313	35.6	41.0	70.4
	中高	97	11.0	12.7	83.1
	高	66	7.5	8.7	91.7
	最高	63	7.2	8.3	100.0
	合計	763	86.9	100.0	
欠損値	無回答	115	13.1		
合計		878	100.0		

Q18dまちの関心　医療・福祉体制の充実化

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	47	5.4	5.9	5.9
	低	28	3.2	3.5	9.4
	中低	67	7.6	8.4	17.9
	中	232	26.4	29.2	47.1
	中高	121	13.8	15.2	62.3
	高	120	13.7	15.1	77.5
	最高	179	20.4	22.5	100.0
	合計	794	90.4	100.0	
欠損値	無回答	84	9.6		
合計		878	100.0		

Q18eまちの関心　飲食店のさらなる充実

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	85	9.7	10.9	10.9
	低	55	6.3	7.0	17.9
	中低	89	10.1	11.4	29.2
	中	221	25.2	28.2	57.5
	中高	116	13.2	14.8	72.3
	高	92	10.5	11.7	84.0
	最高	125	14.2	16.0	100.0
	合計	783	89.2	100.0	
欠損値	無回答	95	10.8		
合計		878	100.0		

Q18fまちの関心　騒音対策の充実

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	51	5.8	6.6	6.6
	低	42	4.8	5.4	12.0
	中低	90	10.3	11.6	23.6
	中	289	32.9	37.2	60.7
	中高	113	12.9	14.5	75.3
	高	68	7.7	8.8	84.0
	最高	124	14.1	16.0	100.0
	合計	777	88.5	100.0	
欠損値	無回答	101	11.5		
合計		878	100.0		

Q18gまちの関心　交通の利便性向上

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	50	5.7	6.2	6.2
	低	34	3.9	4.2	10.5
	中低	65	7.4	8.1	18.6
	中	186	21.2	23.2	41.7
	中高	115	13.1	14.3	56.0
	高	126	14.4	15.7	71.7
	最高	227	25.9	28.3	100.0
	合計	803	91.5	100.0	
欠損値	無回答	75	8.5		
合計		878	100.0		

Q18hまちの関心　買い物環境の利便性向上

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	39	4.4	4.9	4.9
	低	27	3.1	3.4	8.3
	中低	56	6.4	7.0	15.3
	中	233	26.5	29.2	44.5
	中高	132	15.0	16.6	61.1
	高	130	14.8	16.3	77.4
	最高	180	20.5	22.6	100.0
	合計	797	90.8	100.0	
欠損値	無回答	81	9.2		
合計		878	100.0		

Q18iまちの関心　交流の活性化

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	75	8.5	9.8	9.8
	低	58	6.6	7.6	17.3
	中低	116	13.2	15.1	32.4
	中	331	37.7	43.1	75.5
	中高	93	10.6	12.1	87.6
	高	55	6.3	7.2	94.8
	最高	40	4.6	5.2	100.0
	合計	768	87.5	100.0	
欠損値	無回答	110	12.5		
合計		878	100.0		

Q18jまちの関心　まちの景観の保全

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	41	4.7	5.2	5.2
	低	34	3.9	4.3	9.5
	中低	73	8.3	9.3	18.8
	中	305	34.7	38.8	57.6
	中高	143	16.3	18.2	75.8
	高	100	11.4	12.7	88.5
	最高	90	10.3	11.5	100.0
	合計	786	89.5	100.0	
欠損値	無回答	92	10.5		
合計		878	100.0		

Q18kまちの関心　街灯の整備

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	33	3.8	4.1	4.1
	低	31	3.5	3.9	8.0
	中低	59	6.7	7.4	15.5
	中	279	31.8	35.1	50.5
	中高	135	15.4	17.0	67.5
	高	120	13.7	15.1	82.5
	最高	139	15.8	17.5	100.0
	合計	796	90.7	100.0	
欠損値	無回答	82	9.3		
合計		878	100.0		

Q18lまちの関心　防災対策の充実

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	最低	28	3.2	3.5	3.5
	低	25	2.8	3.2	6.7
	中低	54	6.2	6.8	13.5
	中	266	30.3	33.6	47.1
	中高	114	13.0	14.4	61.5
	高	117	13.3	14.8	76.3
	最高	188	21.4	23.7	100.0
	合計	792	90.2	100.0	
欠損値	無回答	86	9.8		
合計		878	100.0		

Q19aほとんどの人は信頼できる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	44	5.0	5.4	5.4
	どちらかといえばあてはまる	421	47.9	51.4	56.8
	どちらかといえばあてはまらない	260	29.6	31.7	88.5
	あてはまらない	94	10.7	11.5	100.0
	合計	819	93.3	100.0	
欠損値	無回答	59	6.7		
合計		878	100.0		

Q19bたいてい信頼された場合、同じように信頼する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	55	6.3	6.7	6.7
	どちらかといえばあてはまる	506	57.6	62.1	68.8
	どちらかといえばあてはまらない	191	21.8	23.4	92.3
	あてはまらない	63	7.2	7.7	100.0
	合計	815	92.8	100.0	
欠損値	無回答	63	7.2		
合計		878	100.0		

Q19cほとんどの人は他人を信頼

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	30	3.4	3.7	3.7
	どちらかといえばあてはまる	329	37.5	40.9	44.7
	どちらかといえばあてはまらない	337	38.4	41.9	86.6
	あてはまらない	108	12.3	13.4	100.0
	合計	804	91.6	100.0	
欠損値	無回答	74	8.4		
合計		878	100.0		

Q19dほとんどの人は基本的に正直

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	40	4.6	4.9	4.9
	どちらかといえばあてはまる	406	46.2	50.1	55.1
	どちらかといえばあてはまらない	275	31.3	34.0	89.0
	あてはまらない	89	10.1	11.0	100.0
	合計	810	92.3	100.0	
欠損値	無回答	68	7.7		
合計		878	100.0		

Q19e私は人を信頼するほう

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	88	10.0	10.7	10.7
	どちらかといえばあてはまる	481	54.8	58.2	68.9
	どちらかといえばあてはまらない	197	22.4	23.8	92.7
	あてはまらない	60	6.8	7.3	100.0
	合計	826	94.1	100.0	
欠損値	無回答	52	5.9		
合計		878	100.0		

Q19fほとんどの人は基本的に善良で親切

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あてはまる	66	7.5	8.0	8.0
	どちらかといえばあてはまる	464	52.8	56.3	64.3
	どちらかといえばあてはまらない	227	25.9	27.5	91.9
	あてはまらない	67	7.6	8.1	100.0
	合計	824	93.8	100.0	
欠損値	無回答	54	6.2		
合計		878	100.0		

Q20性別

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男	338	38.5	39.2	39.2
	女	505	57.5	58.6	97.8
	その他	1	0.1	0.1	97.9
	答えたくない	18	2.1	2.1	100.0
	合計	862	98.2	100.0	
欠損値	無回答	16	1.8		
合計		878	100.0		

Q21年齢

末尾に掲載

Q22配偶関係

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	未婚	156	17.8	18.3	18.3
	既婚（いる）	397	45.2	46.5	64.8
	既婚（離死別）	301	34.3	35.2	100.0
	合計	854	97.3	100.0	
欠損値	無回答	24	2.7		
合計		878	100.0		

Q23居住年数

末尾に掲載

Q24世帯構成

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人暮らし	352	40.1	41.1	41.1
	夫婦のみ	257	29.3	30.0	71.1
	夫婦と未婚の子(一人親含)	156	17.8	18.2	89.3
	その他	92	10.5	10.7	100.0
	合計	857	97.6	100.0	
欠損値	無回答	21	2.4		
合計		878	100.0		

Q25中学生以下の子ども同居有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いる	50	5.7	6.1	6.1
	いない	774	88.2	93.9	100.0
	合計	824	93.8	100.0	
欠損値	無回答	54	6.2		
合計		878	100.0		

Q26居住形態

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	UR（賃貸	454	51.7	52.8	52.8
	UR10&15街区（分譲	196	22.3	22.8	75.6
	非URの集合住宅（分譲	161	18.3	18.7	94.3
	非URの集合住宅（賃貸	30	3.4	3.5	97.8
	一戸建て（持ち家	7	0.8	0.8	98.6
	その他	12	1.4	1.4	100.0
	合計	860	97.9	100.0	
欠損値	無回答	18	2.1		
合計		878	100.0		

Q2607居住形態その他自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述なし	1	0.1	12.5	12.5
	記述あり	7	0.8	87.5	100.0
	合計	8	0.9	100.0	
欠損値	非該当	870	99.1		
合計		878	100.0		

Q27学歴

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	中学校	52	5.9	6.1	6.1
	高校	359	40.9	42.1	48.2
	専門学校	132	15.0	15.5	63.7
	短大・高専	80	9.1	9.4	73.1
	大学	198	22.6	23.2	96.4
	大学院	22	2.5	2.6	98.9
	その他	9	1.0	1.1	100.0
	合計	852	97.0	100.0	
欠損値	無回答	26	3.0		
合計		878	100.0		

Q28職業

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	経営者・役員	13	1.5	1.5	1.5
	会社員・公務員	158	18.0	18.2	19.7
	派遣・契約・嘱託職員	63	7.2	7.3	27.0
	パート・アルバイト	160	18.2	18.5	45.5
	自営業、自由業	27	3.1	3.1	48.6
	専業主婦・主夫	70	8.0	8.1	56.7
	学生	6	0.7	0.7	57.4
	無職（年金受給等	350	39.9	40.4	97.8
	その他	19	2.2	2.2	100.0
	合計	866	98.6	100.0	
欠損値	無回答	12	1.4		
合計		878	100.0		

Q2809職業その他自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述なし	2	0.2	25.0	25.0
	記述あり	6	0.7	75.0	100.0
	合計	8	0.9	100.0	
欠損値	非該当	870	99.1		
合計		878	100.0		

自由記述

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	記述なし	669	76.2	76.2	76.2
	記述あり	209	23.8	23.8	100.0
	合計	878	100.0	100.0	

Q21年齢

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	19	2	0.2	0.2	0.2
	20	1	0.1	0.1	0.4
	21	1	0.1	0.1	0.5
	23	2	0.2	0.2	0.7
	24	1	0.1	0.1	0.8
	25	1	0.1	0.1	0.9
	26	1	0.1	0.1	1.1
	27	4	0.5	0.5	1.5
	28	1	0.1	0.1	1.7
	29	4	0.5	0.5	2.1
	30	2	0.2	0.2	2.4
	31	2	0.2	0.2	2.6
	32	3	0.3	0.4	3.0
	33	4	0.5	0.5	3.4
	34	3	0.3	0.4	3.8
	35	7	0.8	0.8	4.6
	36	2	0.2	0.2	4.8
	37	5	0.6	0.6	5.4
	38	5	0.6	0.6	6.0
	39	4	0.5	0.5	6.5
	40	3	0.3	0.4	6.9
	41	7	0.8	0.8	7.7
	42	6	0.7	0.7	8.4
	43	3	0.3	0.4	8.7
	44	4	0.5	0.5	9.2
	45	3	0.3	0.4	9.6
	46	7	0.8	0.8	10.4
	47	7	0.8	0.8	11.2
	48	9	1.0	1.1	12.3
	49	7	0.8	0.8	13.1
	50	21	2.4	2.5	15.6
	51	15	1.7	1.8	17.4
	52	13	1.5	1.5	18.9
	53	11	1.3	1.3	20.2
	54	10	1.1	1.2	21.4
	55	15	1.7	1.8	23.2
	56	15	1.7	1.8	24.9
	57	20	2.3	2.4	27.3
	58	14	1.6	1.7	29.0
	59	12	1.4	1.4	30.4
	60	17	1.9	2.0	32.4
	61	24	2.7	2.8	35.2
	62	16	1.8	1.9	37.1
	63	17	1.9	2.0	39.1
	64	17	1.9	2.0	41.1
	65	17	1.9	2.0	43.1
	66	20	2.3	2.4	45.5
	67	19	2.2	2.2	47.8
	68	16	1.8	1.9	49.6
	69	20	2.3	2.4	52.0
	70	25	2.8	3.0	55.0
	71	17	1.9	2.0	57.0
	72	13	1.5	1.5	58.5
	73	16	1.8	1.9	60.4

	74	21	2.4	2.5	62.9
	75	28	3.2	3.3	66.2
	76	16	1.8	1.9	68.1
	77	26	3.0	3.1	71.2
	78	18	2.1	2.1	73.3
	79	18	2.1	2.1	75.4
	80	28	3.2	3.3	78.7
	81	17	1.9	2.0	80.7
	82	23	2.6	2.7	83.5
	83	21	2.4	2.5	85.9
	84	31	3.5	3.7	89.6
	85	15	1.7	1.8	91.4
	86	11	1.3	1.3	92.7
	87	17	1.9	2.0	94.7
	88	13	1.5	1.5	96.2
	89	8	0.9	0.9	97.2
	90	12	1.4	1.4	98.6
	91	6	0.7	0.7	99.3
	92	1	0.1	0.1	99.4
	93	2	0.2	0.2	99.6
	95	2	0.2	0.2	99.9
	96	1	0.1	0.1	100.0
	合計	846	96.4	100.0	
欠損値	999	32	3.6		
合計		878	100.0		

Q23居住年数

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	54	6.2	6.3	6.3
	2	31	3.5	3.6	9.9
	3	36	4.1	4.2	14.2
	4	16	1.8	1.9	16.0
	5	26	3.0	3.0	19.1
	6	21	2.4	2.5	21.5
	7	13	1.5	1.5	23.0
	8	6	0.7	0.7	23.7
	9	5	0.6	0.6	24.3
	10	30	3.4	3.5	27.8
	11	6	0.7	0.7	28.5
	12	17	1.9	2.0	30.5
	13	7	0.8	0.8	31.3
	14	14	1.6	1.6	33.0
	15	17	1.9	2.0	35.0
	16	1	0.1	0.1	35.1
	17	10	1.1	1.2	36.3
	18	6	0.7	0.7	37.0
	19	6	0.7	0.7	37.7
	20	40	4.6	4.7	42.3
	21	4	0.5	0.5	42.8
	22	10	1.1	1.2	44.0
	23	11	1.3	1.3	45.3
	24	14	1.6	1.6	46.9
	25	25	2.8	2.9	49.8
	26	4	0.5	0.5	50.3
	27	6	0.7	0.7	51.0
	28	15	1.7	1.8	52.7
	29	5	0.6	0.6	53.3
	30	50	5.7	5.8	59.2
	31	3	0.3	0.4	59.5
	32	6	0.7	0.7	60.2
	33	6	0.7	0.7	60.9
	34	4	0.5	0.5	61.4
	35	20	2.3	2.3	63.7
	36	5	0.6	0.6	64.3
	37	4	0.5	0.5	64.8
	38	7	0.8	0.8	65.6
	39	3	0.3	0.4	66.0

	40	51	5.8	6.0	71.9
	41	4	0.5	0.5	72.4
	42	5	0.6	0.6	73.0
	43	11	1.3	1.3	74.3
	44	10	1.1	1.2	75.4
	45	21	2.4	2.5	77.9
	46	6	0.7	0.7	78.6
	47	9	1.0	1.1	79.6
	48	9	1.0	1.1	80.7
	49	4	0.5	0.5	81.2
	50	73	8.3	8.5	89.7
	51	2	0.2	0.2	89.9
	52	3	0.3	0.4	90.3
	53	7	0.8	0.8	91.1
	54	10	1.1	1.2	92.3
	55	37	4.2	4.3	96.6
	56	19	2.2	2.2	98.8
	57	10	1.1	1.2	100.0
	合計	855	97.4	100.0	
欠損値	99	23	2.6		
合計		878	100.0		

自　由　記　述

No.	性・年代	自由記述内容（順不同。判読できなかった部分は「●」で表記。注目したい記述は太字）
Q1 参加経験のある不定期イベント（その他）		
1	女・80代	色々イベントがある事が知らなかった、もっとPRしてほしいです。
2	女・80代	社協いきいきサロン①
3	男・70代	イキイキくらぶ（社協）
4	女・30代	先日のふくふく広場のイベント
5	女・30代	pop up dayのイベント
6	女・40代	POP UP DAY　参加あり
7	女・50代	階段そうじ
8	女・60代	青少年相談員として活動していた。
9	女・80代	子どもが小さいときは上記のようなことはなかったように思う
10	女・80代	幸町70才以上の配食を企画作成に関し15年間行った他男性料理教室ふれあいサロン等15年間やりました
11	女・80代	幸カフェ/団地文化祭
12	女・80代	幸町公民館で週1回気功
13	女・80代	寄席に参加
14	女・80代	敬老会
15	男・50代	幸スワローズという少年サッカーのお父さんコーチを6年やった
16	男・60代	マンション独自の納涼会、鏡開き
17	男・60代	幸町団地住民ゴルフコンペ等
18	男・60代	UR主催による多文化フェスに参加、見学しました。
19	女・80代	しょうじゅに入居して3年位でまだ上記のようなイベントは何もわかりません。
20	男・80代	健康麻雀に週一回参加
Q2 イベントへの今後の参加意欲（「1. 参加したい」と回答した理由）		
1	女・30代	**親子で参加できるイベントがあれば参加したい（幼児向け）**
2	男・30代	子どもが楽しみにしているので、祭りなどのイベントに参加したい
3	女・30代	子どもが喜ぶなら
4	女・60代	幸町で育った子供達が孫を連れて参加してくれてる。
5	女・30代	子供が楽しみにしているから。
6	女・40代	季節のイベントを体験したいから
7	女・40代	異文化フェスとっても楽しかったです。また参加したいです。
8	女・30代	子育てママとの交流が欲しい。リフレッシュ
9	男・60代	同じ団地、マンションに住んでいるので仲良く協力して参加したい。自治会にも多いに参加します
10	男・60代	団地祭りは好きです
11	女・80代	外出の機会が少なくなるのでなるべく参加したい
12	男・50代	**母子向けではない料理教室があれば参加したい。外国人の住人も多くなってきたので、自国の料理のような他国の料理教室などがあれば楽しいと思う。**
13	男・90代	いろんな人達とおつきあいしたいからです。
14	女・60代	祭りが好きです
15	男・60代	ボウリング大会開催されれば是非参加したい。イベントのお知らせツールがよくわからないので宣伝を徹底してほしい。
16	女・90代	子供がいるので（子供が）楽しめるやつなら参加したい。
17	女・80代	**高齢者の食事会等もできればボランティアとして参加したい**
18	女・50代	人とのコミュニケーションがなくなってしまう
19	女・80代	近くの人とのつながりコミュニケーション
20	女・80代	身体障害者の為参加したいが出来ない
21	女・70代	団地祭りは子供たちの思い出になるから、良いと思うこれからも
22	男・70代	屋台が出るから良い
23	男・30代	お祭りが好きなため。
24	女・60代	地元の方との交流を楽しみにしている。
25	女・30代	地域の人と関われるから
26	女・70代	知らない方も皆さん元気なようすを見て、元気をもらうことができるので参加したいと思います。
27	女・60代	楽しそうだから
28	男・90代	バス旅行
29	男・80代	イベントが盛り上がるから
30	女・80代	皆さんと交流するのが楽しいので参加します
31	男・60代	住民同士の交流
32	女・50代	予定が合えば参加したい。住んで1年半位ですが、花火大会に参加しました。手作りのおまつりの感じが良かったです。
33	女・80代	とても楽しく、子供達が元気でパワーをもらえるから。
34	女・70代	健康体操など、身体を動かすことがないので参加したい　一人なので、いろいろ参加して、話す機会があれば良いと思う
35	女・70代	たのしかったから
36	男・80代	健康で長生きしたい為
37	女・80代	団地のお祭り、健康体操
38	女・70代	ボランティアで何かできることがあれば参加したいです。高齢で1人住まいの人にお弁当を作りました。
39	女・80代	楽しい
40	女・70代	高齢なので身体が許す限り参加したいです
Q2 イベントへの今後の参加意欲（「2. どちらかといえば参加したい」と回答した理由）		
1	女・80代	もっとPRをした方が良い
2	男・40代	自分の今後の人生において何か成長できるイベントだと思ったので参加したいと思いました
3	男・70代	一人住まいで出かける用事がなくひきこもり
4	女・50代	仕事もしているので休みの日程がつけば参加してみたいです
5	女・20代	昔から参加していて親しみがあるから
6	女・70代	自分の年代に会うイベントがあれば参加したいと思います
7	女・60代	出来る範囲で参加したいと思います。。。。ただ人間関係が少し大変と思います
8	女・70代	自分が興味あるイベントに参加したい。参加して友人を作りたい
9	女・70代	参加したい気持ちはあるがその日の体調で変わる
10	女・70代	高齢者世帯なのでなかなか参加できない。認知症（夫）でもあるので、むずかしいところがある
11	男・50代	イベントによる

12	男・60代	d[幸町2丁目地区部会(障害者福祉委員会)]のみ
13	男・70代	地域住民として自覚したい。
14	女・30代	**まだ引っこしてきたばかりなので、知らないことが多いが今後参加してみたい。ただ、例に書いてあったイベントは年配の方向けが多いように感じるので、そもそも参加できないかもしれない。**
15	男・60代	**土日に仕事なのでなかなか参加しにくい**
16	男・60代	時間が合えば、参加したい
17	女・20代	今後子供が生まれたら、お祭りなど参加できたら良いなと思う。
18	女・60代	まだ年齢的に仕事等も忙しくゆとり時間が少ないのですが将来的には、参加してみたいと思います。
19	女・70代	1人では参加しずらい
20	男・80代	自分に役立つ様な企画であるなら
21	女・40代	子ども同士の交流のため
22	女・40代	当日に時間があれば、楽しみたい。
23	女・80代	体調不良の為残念ですが無理です。
24	女・70代	e参加したいので
25	女・70代	七夕や夏祭り等、季節の行事の雰囲気を味わえるのであれば行きたい。
26	女・70代	人との交流で、刺激を受け、ボケ防止にもなる。
27	女・80代	イベントは楽しいですが、高令なので無理かも知れません。
28	女・70代	参加したいが土・日祭日仕事のため無理です
29	女・50代	時間がある時に交流を深めていきたい
30	女・50代	団地等は何度も行っているが規模が縮小してしまいあまり楽しくなくなってしまった
31	女・60代	イベントは知らなかったけれど時間が出来た今はさんかしてみたいです
32	男・70代	参加したい気持ちはあるが多忙のため参加できない。
33	女・90代	子供が産まれたから
34	女・60代	**ひとりでも行きやすい雰囲気で有れば参加したいです**
35	男・40代	**地域のイベントが無くならないように、協力したい。**
36	女・30代	**子供が喜ぶイベントには参加したい。**
37	男・60代	**退職により時間の余裕ができた。地域社会とのかかわり合いが大切と考える。**
38	女・50代	**参加年齢が子供か老人なので参加するきかいがない**
39	男・70代	高齢の上介護中
40	男・60代	**地域との繋がりはある程度維持したい。**
41	女・70代	**退職をし、地域とのつながりが必要と思うようになった。自分の住んでいる地域の事をなにも知らないと思ったから。**
42	女・50代	今後高齢になったら、高齢者向きのイベントに参加したいです。
43	女・60代	お話しのきかいがふえそう
44	女・90代	体調があまり良くなく、知っていても参加しないことが多い。
45	男・60代	何もないとつまらない
46	女・80代	参加とは見物のことですか？
47	男・60代	参加してみたいが時間がない
48	女・60代	仕事や私用で予定が埋まっており、そちらを優先するため。空いてたら。
49	女・30代	季節の行事もあるので子どもと一緒に楽しめらと思います。
50	男・60代	地域の人とのつながりを大切にして行きたい。
51	男・80代	転居して来て日が浅くまだ町内のことがわからない。健康上の体調が心配
52	女・60代	仲間作り
53	女・90代	参加したい手伝いたいが年齢90才では体が体力的に準備にじゃまになる。お祭り大好き、出来るだけ参加したいと思う。
54	女・40代	仕事が多忙であったり、資格受験の勉強をしたり時間があまりないが、時間ができれば参加してみたい。
55	女・60代	仕事や介護で自由になる時間がなく、親しい人もいないので参加できずにいましたが、条件が許せば参加してみたいです
56	女・90代	ここに住んでまだ2年で様子がよくわかっていないので徐々に参加しようと考えています
57	男・70代	健康が更に必要なれば
58	女・20代	七夕祭りや団地祭などは季節を感じられるし、何より家の近くで行われているため、行きやすいから。
59	男・70代	自由に歩けない
60	男・90代	身体不自由
61	女・40代	機会があれば
62	女・30代	**高齢の方が多く、若年層の我が家ではなじみにくいと思う。若者世帯のイベントがあれば、参加したいと思う。**
63	女・60代	体調が良ければ参加したい。
64	男・70代	七夕祭り、バス旅行、ボーリング大会
65	女・80代	日付が合えば参加したい
66	男・70代	良い距離感でいたい。
67	女・80代	**イベントの知らせがないのでわからない**
68	男・60代	**日本語学校の講師をしていることもあり、団地住民の高齢化とともに外国人居住者が増えていることをふまえ、両者がいさかいなく理解しあうことが大切と考えています。UR主催の多文化フェスのような行事には積極的に参加できればと考えています。**
69	男・50代	お祭りは楽しいので、参加してみたい
70	男・20代	公民館の自習室は役に立った。
71	女・80代	友達をつくる機会になるから
72	女・40代	1人でも参加しやすい気軽なイベントは好き。
73	男・80代	地域の人たちと交流を大切にしたい
74	女・80代	高齢者ですのでそろそろやめたいと思っている　10年くらいボランティアを視力ながらお手伝させていただきました
75	男・60代	住民間の交流があるのはいいことだと思うから
76	女・60代	休みが不定期シフトの為なかなか参加出来ない
77	女・80代	社会とのつながりをまりたくないので
78	女・70代	興味があるものは参加してみたい
79	女・80代	年令的なこともあり責任のあるものにはムリになってます。
80	女・60代	ボランティアで何かできることがあれば参加したいです。
81	女・80代	1年前にいしきがなくなって左の手くびをこっせつしてかたやヒザなどがいたいので行けない。
82	男・80代	自治会の役員の為多忙に付き参加が限られる。
83	女・60代	機会があれば参加したい
84	女・50代	その年代が近づいてきたら諸々の行事に参加、関与できる余裕と関心が深まるのではと思う
85	男・50代	近隣の方や地域活動は重要である
86	女・70代	同じ地域に住む方とのふれあいの場をもちたいと思う

87	女・50代	七夕祭りと餅つきは今後も参加したい
88	女・50代	参加したい内容もあれば、したくない内容もある（仕事の休み日と合うならば）。
89	女・50代	夏祭り以外。お子さんがいるか、相当な高齢者以外、楽しめなさそう
90	男・50代	ひとつも参加した事がないが、（知らなかった）体験してみたいものもある為
91	女・30代	引っ越してきてまだあまり事情がわからないが、これから少しずつ知っていきたい。
92	女・60代	5月に引越してきたばかりなので、いろいろ体験してみたい。とは言っても友人知人をたくさん作りたいわけではない。
93	女・80代	5月にこちらに来ましたので、いろいろな事がわかりません。
Q2 イベントへの今後の参加意欲（「3. どちらかといえば参加したくない」と回答した理由）		
1	女・60代	障害のある子ども（成人）がいて、参加するのが難しい
2	女・80代	年齢的（高齢者）に友だちが作りにくい。性格、経済事情など。
3	女・60代	体力的に無理がきかなくなった
4	男・60代	自分のライフスタイルと合うものがないから。
5	男・70代	年をとったのであまり参加したくない
6	女・50代	今は子どもも出てゆき自分も仕事があり参加することもできにくい。今後生活状況が変われば参加してゆくと思う
7	男・90代	91歳と高齢のため参加できない
8	男・60代	身体的に困難がある
9	男・80代	歩行がつらいので
10	女・50代	日程が難しい（平日とか）
11	女・40代	子どもが人見知りなので参加したがらないので
12	女・80代	仕事をしているので時間が取れない（以前はフリーだったので参加していた）
13	男・50代	時間的な確定が難しく申し込んでも不参加となる可能性があるため
14	男・70代	体の具合が悪いから
15	男・80代	十数年前区内打瀬中学校に市内公立中学校としては初めての硬式テニス部新設を2年余り口説き認めて頂いた事があり中学生指導には関心があります。しかし齢87を迎え耳・目はもとより脳にも懸念ありで十街区の役職は全て辞退させて頂いております。
16	男・50代	**団地祭り、七夕まつり等の希節のイベントは参加しやすいが少人数向けのイベントには興味があまり出ない。**
17	男・60代	自分の仲間との交際がある為です。
18	男・70代	人と多少なり、係わっていたいと思う
19	女・80代	余り社交的では無いので、知人が居ない所へは気が進みません
20	女・60代	知り合いがあまりいないから
21	男・40代	本職の仕事が多忙で休みが取れない
22	男・60代	自分の趣味に合うものがあれば参加したいが、今のところ趣味に合うと思われる催し物は無し。
23	女・90代	時間の都合がつかない
24	女・80代	高年齢の無理
25	男・50代	あまり関心がない。
26	男・80代	足腰の故障で歩行困難
27	女・70代	自治会費を納めたり納めなかったりするので又ひとりで友人もいないので
28	女・70代	知人が居ない
29	女・70代	高齢なので
30	男・50代	**参加はしたくないが団地内が祭りなどでにぎやかな雰囲気になるのは嬉しい**
31	女・50代	めんどくさい。
32	男・80代	自治会関係の仕事が多い為。
33	女・70代	趣味の合わないものが多い
34	女・60代	イベントの日時と予定が合わないことが多い。
35	男・90代	内容が不明なため
36	女・20代	知りあいに会いたくない。
37	男・60代	年齢・マンションのコミュニティで十分かと…
38	女・70代	転居して来て14年になります。マンションの理事会以外参加したことはありません。高齢の為、体力なし
39	女・60代	今は1日8時間働いているので、休みの日は休みたいと思っています。
40	女・80代	雑事ややりたい事が沢山有る
41	女・70代	人間関係がわずらわしそう。
42	女・40代	人の集まる所が苦手。
43	男・60代	ひとりで、のんびりやっている。
44	女・50代	知り合いがおらず楽しめないと思うから
45	女・80代	体が不自由なため
46	男・70代	仕事上参加できない
47	女・70代	**社交的な性格ではないので不特定多数の人の集まりには足が向かないが、災害時や今後年齢を重ねて自宅に籠もりがちになりやすい状況に至ったら、参加する必要はあると思う。**
48	女・60代	仕事をしているので時間がとれない
49	女・80代	高令のため
50	男・80代	時間的に仕事の関係で参加できない。
51	女・50代	仕事が多忙です。
52	女・70代	仕事をやっているので休みはゆっくりしたい
53	女・80代	老人（88才）で病弱なため。
54	女・20代	いそがしいから
55	男・80代	歩行困なんだから
56	女・80代	手足が不自由
57	女・20代	参加する時間がない
58	男・50代	仕事のため体を休めたいから。
59	男・70代	2年前に引越しをして住んでいる為、知人がいない。老後の暮らしなので、静かに余生を過ごしたい。
60	女・60代	働いているので時間が合わないですし、時間が無いです。
61	女・60代	どちらかと言うと、お子さんのいる方や、ご高齢の方が参加するイベントだと思っていました。（私は65才です）
62	女・80代	身体が思うように動かず、頭の働きもにぶくなり、、、、若い人にはついていかれない。
63	女・30代	外出が多いため時間が合わない
64	男・40代	時間があれば。
65	女・70代	何しろ今の現状は介護でいっぱいです（家の事）（主人を）病院行ったり、区役所行ったりで時間と月日が合わない事も有り、参加出来る状態でないですね。
66	男・80代	高齢のため（夫婦共）

67	女・80代	足の痛みで歩くのが不自由のため
68	女・40代	団地祭り以外は、時間的にも経済的にも難しいから。
69	女・50代	人見知りなので自分は
70	女・20代	全く知らない人がいるところに行くのが苦手
71	女・90代	足が不自由なため歩くのがたいへんなので
72	女・80代	年なので！！
73	女・70代	このんで参加したい物がない
74	女・70代	体力的に無理
75	男・50代	何となく疲れそうだから。誘われたら行くかもしれない。
76	男・70代	関心ない
77	女・70代	時間がない
78	女・90代	高れいの為
79	男・80代	知りあいがいないから
80	女・50代	子供の成長で機会がない。地域での人との交流が苦手なので。
81	男・60代	地域の方とのつながりを持つため
82	女・80代	体調整わず残念ながらすべてに不参加ならさるを得ず。
83	男・60代	興味がない
84	女・70代	仕事をしているので休みの日はゆっくりしたい
85	男・70代	イベントによっては参加する
86	女・50代	・引越しを検討中　・子供が親元を離れ独立したため　・近所付き合いを避けたい気持ちがある
87	男・80代	高令世帯につき、迷惑をかけたくない。
88	女・50代	仕事をしているので時間が取れない。
89	女・60代	仕事をしているので、そちらの方にあまり気が向かない。
90	男・80代	年令が80才以上の為
91	女・60代	現在はどちらかといえば参加したくない　将来はわからない
92	女・50代	子育ても一段落したが、まだ高齢者でもない層のため、関心がうすれている
93	女・60代	体力的に難しいので楽しめないと思う
94	女・70代	高齢者の為
95	男・80代	年齢的にきつい
96	男・80代	高齢で病院通いが多い
97	男・70代	参加している人たちは同じ人が多く質問や意見が出しづらい
98	女・50代	独り身なので恥ずかしい
99	女・60代	必要性を感じない
100	女・30代	興味があるものには参加したい。でも高齢者や子ども向けのイベントが多く合わない
101	女・50代	体調が悪いので
102	女・90代	残念だが、年齢・体力的に不可能に近くなってしまいましたので……
Q2　イベントへの今後の参加意欲（「4. 参加したくない」と回答した理由）		
1	女・60代	興味がない
2	男・40代	自分の予定があるから
3	男・60代	人づきあいがわずらわしい
4	男・60代	参加する事に対するDriving Forceがわいて来ない。
5	男・60代	仕事があるため、参加できない
6	男・30代	平日は仕事で、土日祝日も私用でほぼ外出しているためイベントに参加できない。
7	男・70代	仕事しているので
8	女・70代	仕事をしているので時間がない。
9	女・50代	私のやり方、考え方など押しつけられたりするのは、しんどい。
10	女・80代	大病から外出困難になり年齢も高齢で家の中で過すのが精いっぱいになってしまいました。
11	女・40代	仕事が不定休だから
12	男・60代	めんどう
13	女・80代	年取っている為
14	男・40代	うしろめたいので。
15	女・40代	休みの日は家でゴロゴロしていたい。
16	女・20代	住民との距離感を大事にしたいから。（そんなに関わらなくて良い派なので…。）挨拶程度で良いから。
17	男・50代	めんどう
18	女・70代	過去に十分に参加し、満足しておりますので。
19	女・80代	歩行が困難になりました。
20	男・50代	参加したいと思わないから。
21	女・50代	この町に住んでいて不安感が高いから参加したくない。高齢者でもなく、子育て世帯でもないので参加しにくい。
22	男・50代	興味がない。
23	男・90代	高令のため
24	男・80代	年令故に。
25	男・60代	[無記入]
26	男・70代	興味がないから。
27	女・60代	仕事しているので、時間がない。時間があるなら自分の為の時間を過ごしたい。
28	女・50代	年齢を考えると疲れるし、一人で参加するのも気がねするし子供も大きくなって参加する事もなくなりました為。
29	女・30代	シフト勤務で土日のイベントには参加しづらい。魅力的なイベントが少ない。
30	女・90代	高齢のため
31	女・70代	年令、体調的に無理だから。
32	男・70代	障害者のため歩行困難
33	男・70代	面倒なり
34	女・80代	高齢なので
35	女・80代	歩けない。
36	女・70代	働いているため
37	女・50代	興味と余裕が無い
38	女・50代	高齢者もしくは乳幼児対象のイベントしかやらないイメージなので
39	女・80代	週に3～5日仕事をしている為、仕事の休みの日は家事及び趣味に時間を使う為　例（編み物、習字、音楽、カラオケ等）

40	女・80代	人との交わりが苦手
41	女・80代	どれも興味なし
42	女・60代	特に知人やつきあいもないので、よく分からない。
43	男・60代	人付き合いが不得手
44	女・90代	足がわるいため
45	男・80代	89歳。午前中動いたら午後は休憩時間。一人暮らし
46	女・70代	足が不自由なので……
Q2 イベントへの今後の参加意欲（無回答）		
1	女・70代	仕事をしているので
2	男・年齢不明	子供が参加できるものがあれば考えたい
3	女・80代	膝が痛い為参加しない
4	女・80代	年を取り参加できない。会場まで行くのが大変だよ
5	男・80代	イベントの内容によっては参加したい
6	女・80代	障害者委員の一員の為、主催者側です。
7	男・80代	参加したいのですが高齢につき体調不良につき残念ながらイベント内容により参加
8	女・80代	高令になり（80代）若い時は役員で多いに活動した楽しい思い出が沢山あります。
9	男・80代	個人的に必要性を感じない
10	男・80代	参加したい、と思える様なイベントがあれば、参加する。
11	女・60代	好きな物があれば参加するかも？
Q3 イベント運営協力内容（その他）		
1	男・60代	イベント等の企画・司会等
2	女・70代	自分と興味が合うものなら手伝いたい。例　映画、音楽、全員でコーラス、カラオケ
3	女・80代	参加したいと思う。具体策を提案して欲しい
4	女・50代	募金をするとかで協力したい。自治会費もきちんと支払っているし、お祭りやほかの募金も払っている。日本人に元気で楽しくこの団地で暮らしてほしい。
5	女・50代	ふだんは仕事をしているので参加できることはないが予定が合えば参加したい。
6	女・40代	参加してみたい気持ちはあるが仕事の休みのかねあいが難しい。
7	男・80代	地域のゴミひろいなど、海岸、河川、公園など、
8	女・90代	ミニ公園の美化に協力したい
9	女・80代	敬老会の折、苦なんを拂うというさるほぼをなん先の枝に九でき並べたものをく顔には風せんかつらの実をつけて何本も作って届けたことがある。
10	女・50代	マンションの役員で手伝い担当することがある
11	男・50代	都合がつけばどんなことでも手伝う気持ちはあります
12	男・80代	イベント内容により参加、高齢（87才）
13	男・40代	短時間で協力可能なら。
14	女・40代	今は仕事があり無理だが、将来的に考えない事もない。
15	女・60代	今、仕事をしていて時間がない
16	女・50代	**今は難しいが、いずれ協力できればと思います。**
17	女・70代	参加したことがないので何とも言えない
18	男・80代	思っても体がもたないので残念
19	女・80代	年齢、体力、不自由な身体では無理です。
20	女・70代	年令的に無理。もっと若い方たちにお願いしたい。
21	女・80代	体力的に年をとり過ぎです。
22	女・80代	年齢的な問題で参加できない
23	女・70代	77才高令のため協力できなくて申し訳ないです。
24	男・80代	高令者のため
25	男・90代	95才なのでむずかしい
26	男・90代	90才
27	女・80代	年齢的に無理と思う。
Q5 交流のある地域の共用スペース（その他）		
1	男・40代	**公民館があることを知らなかった**
2	女・80代	我家に多数の老人が来て話し合手をしています
3	女・80代	仲間が集ってお茶会すること
4	女・80代	趣味のイベントを見学に行く。・生き生きプラザ、県美術館、市〃
5	女・70代	同じ階、あいさつしたり、少しのお話し程度
6	男・50代	今は整備されなくなった青空囲碁の集まり（マルエツの前の広場　時計塔付近）
7	女・80代	最近はナシ。イオンマリンピアにバス（無料）で行くのが楽しみとなっている
8	女・60代	子供達が小中学校位まではあったが、成人し、家を出ると利用しなくなった。
9	女・60代	子育てが終わったので利用しなくなりました
10	女・70代	公園の中を通って買い物、バス停に行くくらい
11	女・80代	幸町以外の公民館
12	女・80代	コロナになってからの集いは今月に●●0
Q8 自身が体調不良時に相談できる人（その他）		
1	女・40代	実家
2	男・50代	仕事場の上司
3	男・40代	手を借りようと思う事がない
4	女・80代	家族が居て現在体の不自由さはあるが一度day careの体験をしてみたい
5	女・40代	職場の同僚
6	女・70代	兄弟が近くに住んでいるのでそちらに相談
7	男・90代	社会法人と契約
8	女・70代	遠方の家族は自分の事でいっぱい　出来れば⑤、⑦です。
9	女・50代	勤務先の同僚
10	女・40代	会社の人
11	女・80代	子供を中心に老いて生活してます。
12	女・80代	しょうじゅレジデンスのヘルパーさん
13	男・70代	「しょうじゅ」の方
14	女・80代	しょうじゅレジデンスに入居している為

15	女・80代	ALSOKガードセンターみまもり
16	女・90代	「アルソック」に加入
Q9　嫌がらせ（ハラスメント）を受けた時に相談できる人（その他）		
1	男・80代	自分で解決する
2	男・20代	警察、弁護士
3	女・70代	職場の友人
4	男・60代	個人的に雇っている顧問弁護士
5	女・70代	職場の上司、近間の子供達
6	女・90代	相談しない
7	男・40代	職場の先輩
8	女・20代	相談しないこともある。
9	男・50代	自助努力又は弁護士に依頼する。
10	女・50代	UR幸町団地生活支援アドバイザー
11	女・50代	友人
12	男・40代	職場の同僚、上司
13	男・30代	職場の上司、同僚等
14	女・50代	親友
15	女・40代	職場の本社
16	女・30代	職場の上司
17	女・80代	市内に息子夫婦がいます
18	女・90代	組合、ホットライン
19	女・60代	会社に相談窓口がある
20	男・80代	受けた事がない。
21	女・90代	会社の上司・家族・近くの友人
22	女・50代	勤務先の同僚、上司
23	男・60代	労働組合（個人加入ユニオンに入っています
24	女・40代	会社の人
25	女・50代	職場の人
26	男・50代	ネットのSNS
27	女・80代	なし（ハラスメントが）
28	女・80代	幸い体験したことがない
29	女・70代	嫌がらせ受けた事がない
30	女・50代	ちょっと話せる人は居ても本当にちゃんと話せる人は居ない　誰も居ない。
31	女・80代	今迄に経験した事がありません
32	男・80代	自己解決
33	男・80代	ハラスメント受けたことがない
34	女・90代	嫌がらせを受けたことはない
35	男・90代	いやがらせを受けたことはない
36	女・70代	嫌がらせを受けたことがないし、受けても気にしないと思う。
37	男・80代	その様な事がおきないように人付き合いを避ける。
38	女・80代	なし
39	女・80代	うけたことはない
40	男・40代	やり返すor無視する
41	女・70代	自分の事は自分でできる、いじめられても平気、自分は負けません
42	女・80代	問8と同じ[しょうじゅレジデンスに入居している為]
43	男・70代	「しょうじゅ」の方
Q10　近所で家庭内暴力等のDVに気づいた時に相談できる人（その他）		
1	女・70代	どこに相談したら良いかわからない
2	男・50代	児童相談所
3	男・50代	警察
4	女・20代	けいさつにも言うかもしれない。
5	男・20代	学校の先生
6	男・40代	職場のリーダー等
7	男・70代	確信できるまで調べる。確信できたら6
8	男・50代	自分で現実を確認して対応
9	性・年不明	同棟でなら親しい住民と訪問、事情によってはその後も接触
10	男・60代	顧問弁護士
11	女・90代	深く付合っている人がいないので立ち入らない様にする。
12	女・80代	問8と同じ[しょうじゅレジデンスに入居している為]
13	女・80代	気付いたことがない
14	男・90代	近所で聞いた事がない
15	男・80代	受けた事がない。
末尾　調査の感想やまちづくりに対する考え（自由記述）※①～⑪は調査者によるおおまかな分類		
①交流・コミュニティ		
No	属性	内容
1	女・50代	幸町団地は4、5階はほとんど空き室。4、5階は家賃を下げる、学生を誘致する等、イベントより住人を増やすよう頑張ってほしい。
2	女・40代	**地域でフリーマーケットをやってくれてるといいな、と思う。引越してきてまだ10日間ほどしか経ってないので、地域についてはほぼ知らない状態である。（これから知っていきたい）**
3	男・80代	同じ建物に住んでいる人間関係があっても良いと思う。
4	女・40代	**青休中はリラックス館によく通いました。とても良くしてくれて楽しかったです。また七日イベント6月の異文化フェスはとっても楽しかったです。**
5	女・80代	若い世代との交流の場が欲しいと思う。しかし、役割が無いと行動する所まで気持ちが動かないのが実情です。
6	男・50代	**イベント等のアピールが弱いように思います。問1のイベントはほとんど知りませんでした。地域とつながりたいとは思いますが、何をしていて何を予定していて、どこでやっている等、自分から積極的に掲示板などで確認しないとわかりません。**
7	女・60代	地域の人と交流したいが、なかなか機会がない。地域全体が高齢化しており、いざという時のためにも、もっとお互いを知り合うハードルの低い機会が欲しいと思う。気軽に近所を散歩する、一緒に買い物に行くなどの、ゆるっとした交流のきっかけがあれば良いと思う。
8	女・50代	外国の方が増えているので、文化の違いとはいえ困惑してしまう。言葉の壁は高い。交流イベントがあれば良いかと思う。
9	男・70代	**※構えたイベントなどではなく、もっとフリーに自由に参加できるようなものがあれば良いと思います。**

10	男・60代	老若男女関係なく利用できて交流できるコミュニティーができたらよいなぁと思います。SNSではなく、実際に出かけられる場所。
11	男・50代	**イベントが分かりづらい！参加の仕方がわからない！交流の場わからない！**
12	男・60代	人と人とのつながりが、良いまちづくりにつながると思います。地区のイベントを知る機会も増やしてほしい
13	女・60代	**知らない活動ばかりでもう少し関心をもとうと思いました。参加しやすいイベントや催しがあれば参加したいと思います。**
14	女・50代	みなさんいつも一生懸命、熱心に活動されていると思います。ありがとうございます。私は消極的で活発ではないので、イベント等なかなか協力しようとはなりません。興味がある事であれば関心はありますがチームになって活動するのは苦手です。いろいろな人たちの話を聞きたいと思って、トークイベント（地域とは別のもの）のようなものに行ったことがありますが、たいてい聞いたことのある話でつまらないと思いもっと聞いたこと、見たことのない新しい事を知りたいです。一辺倒でないイベント等があれば活発ではない人（おとなしい人、静かな人など）たちも参加しやすいかもしれません。
15	女・80代	高齢者の多い街になって(私自身も)、イベントも少なくなり、又外国人の居住者多くなってきた。なかには勝手に生活習慣なども無視し、住民としての役割などは果さない人達が出てきた。
16	女・60代	集合住宅は人との交流が気薄になりがちなので(コロナ以降特に)誰でも参加しやすい交流の場などが有ったらいいと思います。老若男女問わずに。（今も有ると思いますが、ほとんど知らないので）
17	男・80代	（高齢者87才　診察券5枚）診察券これ以上増えない様に日常注意しながら生活してます。イベント参加は無理です。さてどうするか、自治会で若い人達が企画実行に参加お手伝いする程度です。高齢者でも参加できるイベントを是非検討願い度い。
18	男・40代	高齢者が住みやすい仕組み、インフラを大切にしていただきたい。イベントなどの交流を盛り上げたい。
19	女・60代	URに引越してきて地域のコミュニティを意識するようになった。先日も多文化イベントがあり楽しかった。私もイベントに協力してみたい気持ちがあるが昔からの地域だけに古いコミュニティが出来上がっているんじゃないかとちゅうちょする部分もある。集会所や公民館などがおもしろい場所になれば日常が楽しくなると思うのでまずは、イベントを見つけて少しずつ参加するところから始めたい。
20	男・90代	しょうじゅレジデンスに住んでます。地域のイベントの案内。
21	女・80代	**緑の樹木が多いし季節の樹木花々が豊富で住みなれ大変環境がよいので感謝しています。アンケートの結果尚一層隣人との交流や真砂方面では100才体操などあって活発です。よりよい街になることを願っています。公民館の集合する場所を利用して交わりのある会が開くのを期待します。**
22	男・60代	外国の方とのコミュニティの仕方の考察マナーのちがいによる生活スタイル等ゴミ出し等、教えたいのですが…引っこしてこられた方に挨拶をしないという風潮のために交流が妨げられるところに大きな不安を感じます。どうして挨拶してはいけないのか理解できません。
23	女・80代	幸第二小の跡地がコミュニティセンターとして築かれるよう願っています。
24	女・40代	いろいろイベントがあり、住民が参加できるのはいいと思います。若い世帯が住みたいと思えるようなまちづくりができるといいと思います。カフェや飲食店ができるといいと思います。無印良品とのリノベにも興味があります。
25	女・20代	**京葉線など近くに最寄駅と呼べる駅があると嬉しいです。また、最近は海外の方も多く見かけるため、言語を学ぶ機会や交流があっても楽しいのではないかと感じます。**
26	男・70代	地震対策(津波対策、液状化対策)に重点的に取り組んでいただきたい。できるだけ地域のコミュニティにかかわっていきたい。地域防犯がすすむようお願いしたい。
27	男・80代	高齢者の住民の方が多くなり、近隣のコミュニティが取れない、また5F建て住戸の階段甲車イスの開発が望ましい。
28	女・70代	高齢者の多い町、開かれた集会場（おしゃべり出来る・交流の場）・散歩グループ・15街区自治会で作製した輪投げの活用・低価格参加型ランチ会（お弁当でも可）
29	男・70代	少子高齢化が進み、今迄やってきたイベントや行事、草刈等、同じ事を毎年やるのはもう無理だと思います。5月後半～10月一杯は日差しも強く、温度も高くなる一方なので、この間の行事は開催しない方が良いと思います。
30	女・70代	回りが、外人さんが多いため、交流はないのではないのですか？言葉が分らない　あいさつはしますけど、、、それとお年が高い人は、もう少しお店を多くするとか車で千葉産の安い・数多い品物を届けて頂けると、ありがたいですね！！UR団地は今高いです。（部屋が）エレベーターが欲しい。足が悪くなります。
31	女・80代	いろいろイベントがあるようだが知る方法は？回覧板等で知らせて頂ければ参加できる事があるかも。45年住んでいますが何も知らされていません。
32	男・60代	住民同士の交流の場、地域コミュニティの活性化等必要かと思う
33	男・60代	**◎前述しましたが、団地への外国人居住者が増えていることをふまえ、日本人居住者と外国人居住者が理解しあえるイベント等を定期的に開催するべきでは。ボランティアベースも含め、日本語教育の場を設けることも必要。そうすることで犯罪等も未然に防げます。 ◎スーパーはいくつかあるが、全ての用が足せないので、多店舗を増やしたり、フリースペースでマーケットを開くことを可能にすべきでは。**
34	男・50代	**アルバイト、仕事をやめたあとの生活、暮らしをどうしていくか考える。日常で退屈しない程度の交流を持てばよいと考える。行事、目的、と構えるのではなく、ゆるっと挨拶して、会話できるふんいきがあればよい。以前、中央広場にあったベンチ（？）集会所から出てきた机（？）で青空囲碁の集いが三々五々、5～6人からグループもあり、「参加してみたい」と通り過ぎながら考えた。自転車修理のおじさんのリヤカーが定番でほほえましかった。**
35	女・50代	**6月末のぶくふく広場でのイベントで（多文化ふれあいフェス）4か国語でアナウンスされていたのがとてもよいと感じました。企業の社宅として活用されるようになった団地、しかし企業は"住まい"を与えるだけで"地域"は気にしない、、おまかせ感があるように思います。企業・地域の連系も大切な気がしています。企業からの出店のスポーツ大会など？廃校あとのグランドでサッカーを楽しんでいたベトナム？ネパール？の人たちを見かけなくなりました、、、**
36	女・70代	皆さんで料理して食べるイベントが楽しそうで　出来たら良いですね。
37	女・60代	**高齢者が多い団地に住んでおりますので、自治会の方やURの活動やイベントが活発なことに感謝しております。地域の活動があることで、たとえ自分が直接参加しなくても活き活きした雰囲気が伝わって元気をいただけます。それが安心して住める気持ちにつながっているとも思えます。（私は部屋のたばこ臭などから転居を考えていますが）外国人の若いご家族が団地には増えているようなので、お互いのちがいを知り合い、交流できる場が地域の中にあるといいと思っています。**
38	女・30代	**幸町団地は高齢化が進んでおり、コロナ禍以降、地域のイベント（夏祭り、もちつき等）が減っているのが残念です。公民館もシニア向けサークルばかりで子どもや若い世代が楽しめるものが少ない。バスの路線も減って不便になってしまった。子どもが楽しく安全にのびのびと遊べる環境ができると嬉しいです**
39	男・50代	**中国や東南アジアの方々と仲良くなりたい。そんなイベントが必要ですね。**
②防犯・安全		
1	女・70代	◦歩道橋がどこも朽ちて汚く危険◦14号を渡る登戸4丁目交差点・高齢者・ベビーカーを押している人はどのように渡るのか？自転車用の信号は変わるのが早くて渡れない。階段の他に渡手段がなく昔の橋のない川のようです。◦14号に降りて幸町へくる細い坂道どこも暗くて怖い、娘はちかんにあいました（他にもいるのではないでしょうか？）→（サイゼリア　ジェリーパスタ）の道までこないと京成みどり台からは14号に出られません（細い坂道はいくつかありますが、草木ボーボーの1m巾の道しかありません）
2	女・50代	空き巣事件が起こっておりますので、防犯対策に力を入れた町作りが必要だと感じています。
3	女・50代	小学校の跡地活用、廃校のままだと暗くて怖いため
③福祉・高齢者支援		
1	女・70代	団地の中に整形外科やがん化が欲しいです。ケガをした時、杖をつきバスに乗る事は出来ません。ケアセンターが休みの時にケガをすると、ひたすらベッドで耐える事しか出来ません。
2	男・80代	同じ地域、団地内の高齢者の見守り隊に、自分が、70才くらいまで参加していたが、現在は81才を過ぎて、これからは、自身んが見守りを希望するようになった事、体調は、今のところ、問題ありません。
3	女・80代	階段の一ツづつの高さがもう少し低いと助かります。木下にはなるべくイスがあると助かります。階段に補助手すりが設備されていると助かります。子供も大人同士も知り合いでなくても"こんにち"や"こんばんは"などのあいさつがしやすい環境づくりに力を入れてほしいです　高齢者が喜こぶ街はすべての世代にとっても喜ばしい街になるのではないでしょうか　私も若い頃は思いもよらなかった事ばかりです　おはずかしい事です本当に・・・
4	男・40代	外国人が増えていて、治安が心配　学校が減って、どんどん高齢者ばかりになっていて、今後が不安。
5	女・80代	高齢にて転入し、公民館等利用したいが、参加がむづかしいです。マリンピア、バス利用したいが、1時間に1本、コミニテーバス等を走らせてほしい

6	男・80代	当団地も築56年を経過し、大規模修繕工事を4～5年事に実施しなければならない。何をすべきかは調査済みで費用などはどれくらい必要かは長期計画等で提出されている。建物が80年持つのか5年事は●居住者の高齢化がすすみ、街の活性化、老々世帯の見守り等問題が多々でてくる。同じ様な問題を抱えている団地も多くあると思うが、行政支援も含め、取り組んでいる情報を少しでも多く収集し、参考にできる材料を提供できる連携会議をして欲しい。
④ 子育て・教育		
1	女・70代	**環境は、緑も多く、鳥がさえずりとても良いと思う。高齢化が住み、子供の数も少なくなり残念。子供が住みやすい、子育てしやすい街づくりを目指してほしい（長く住んでいるが、階段なので住み替えも考えている）**
2	男・60代	**地域活動の中心的組織（自治会等）の役員に若い方々を引き入れ活発化して行かなければ将来が見えない。例）昔実施していた夏祭り（小学校校庭）※活気があった時を知ってる為を千葉市、地元等の応援を得て、宣伝し集客行い、費用は必要だが一度大々的に実施して見てはいかがでしょう？**
3	女・40代	学校を統合してほしい。小中学校の生徒数が少ないので。
⑤ 環境・生活環境		
1	男・80代	幸町は住みよい町と思っています。
2	女・70代	外国人が増え不安を感じます。ルール無視等が多い。長く住んでいるので変化していく街の様子がうれしかったり不安だったり感じます。終の住家としたいのでよりよい街になってほしいと思います。
3	女・80代	**幸町団地に越してきてまわりの方と仲良くしていられるのがとても良いと思います。外人の方も少しずつお話もできるようになり楽しく過せております。**
4	女・60代	昨今海外の方が増えてきてごみ出しのルールを守らない、あいさつがない等が気になります。本来社宅として借り上げているのは賃貸契約上OKなのでしょうか？かつては上階に中国の方、今国籍不明の方々が住んでいます。
5	女・70代	外国の方が多く住居され地域としてどのように接すれば良いか理解ができない。迷惑を受ける事も多くて困っています
6	女・60代	今年に入り外国の方が急激に増え始め治安の悪化が心配です。（マナー違反が多く見られます）
7	女・50代	**外国人が増えているので日本人がこれはゆるせない、ちょっとちがう等、目にふれるような周知をしてくれるとありがたい。例）自転車の並走・大声でしゃべる・むれて通行のじゃま。**
8	男・50代	外国人のマナーが全くなっていない。ごみ出し、あいさつ、ポイ捨て、他。
9	女・50代	最近、外国人の方が居住するようになりました。文化の違い、言葉の違いなどあるせいか、ルールを守られなかったりすることがあり、少し生活しにくいなぁと感じることがあります。集合住宅に居住する上でのルールを分かっていただけるような、支援があったら良いのかもと思います。
10	女・50代	**外国人の居住者が多くなっているので、ゴミの出し方や、騒音を出さない等、日本で生活をする上での最低限のルールを伝える仕組みがあったらいい。個々は良い人が多いのに、集団になると手がつけられなくなるのが怖い。**
11	男・60代	**この町は古くなった団地が主体（面積など…）＋αのマンション、一部の一戸建て、この融合をいかに地域として考えるかがポイントの一つです。又、団地の住民の高齢化、外国人の増加など考えると地域の活性化が難しくなんらかの形で成功事例を少しづつ積み重ねることが必要かと思います。団地の中にシンボル的な何か？活巾？〇〇センターなどを設け皆が集い、活性化へつなげることも良いかと思います。いずれにしても従来の延長線上でのやり方、疎腐化したものに固執しない方が良いと考えます。**
12	女・70代	最近外国の方が多く住まれて、ゴミ出しや、騒音などマナーが悪くてこまります。注意にも言葉がわからなくて"わかりません"で終わります。日本人はマナーが良く静かですが、世の中変わりました。もっと仲良く暮らせる様にしたいと思います。公園で小さなお子様が安心に遊べる様（昔みたい）なると幸町団地も良いと思います。
13	女・80代	幸町団地は特に実習生の外国人が多くなりました。中には、マナーや、音や、生活面での事故（水もれ）、最悪の場合があります。仲良く友好したい。どうにかマナー教育する方法考えてください。
14	男・40代	この幸町は自然が豊かなところがあって景観は良いですが、その反面得体の知れない虫が多いので、何か対抗策があればいいなと思います。
15	男・30代	ゴミ出しのマナーが悪いと思う。早朝から大声で話す外国人の人もいて、もっと配慮して欲しいと思う。居住者やまちの人口が増えることはとても良いことだと思うけれど、マナーやモラルの維持向上が課題だと感じています。
16	女・40代	子供やお年寄に気遣えるような町　近所からトラブルを受けた時、当人同士で話し合いをさせないで管理事務所の人が対応すべき。UR以外の所は管理人が対応しています。不燃ゴミ、粗大ゴミを盗む人がいるので小型カメラを付けた方がいい。安全の為に廃校の建物は何かに使った方がいい。ゴーストタウンで不気味な気がします。
17	女・70代	URは設備・管理が非常にしっかりしていて住みやすい。階段ですれ違う時、あいさつをしても無言の人が多く、寂しく感じる。ゴミの捨て方が徹底されていない。（ペットボトルのラベルははがされていないものがある。ダンボールをたたまず出してある時がある。）
18	女・80代	外国人が増えています。ゴミの分別、提出日の定まりなど私達と同じ様にまもってほしい。その階段に責任があり、持って行かないごみは日本人がしまつをする事になる。
19	男・50代	外国人が増えすぎて、騒音や治安に不満がある。
20	男・50代	・美浜区は夏になると航空機がうるさすぎる　・ゴミ出しのルールを守らない人がいる　ルールを徹底させるべき　監視カメラ設置等。
21	女・70代	**外国の方が多くなり言葉や生活環境の違いなどで対応がむつかしいと感じている。サギの電話らしきものがあったと聞いて不安に思う**
22	男・30代	大通り（357号線）の騒音について、警察等に相談するなど対策してほしい。団地内の駐輪場付近に、自転車のごみが山積みになっているが、撤去して欲しい。
23	女・70代	バスの本数がへり、不便を感じています。ベルクスバスもなくなりこちらも不便です。
24	男・60代	小さい子供が居るため、近隣の喫煙時の副流煙が気になる。コンビニでの喫煙（回り）気をつけてほしい
25	男・30代	百万石という寿司屋について。駐車場の一角の荒れ地、ごみが捨てられやすい。団地側の外構の塀が傾いていて崩れそう
26	女・70代	他県から引っ越して来て、買物、病院他不便
⑥ バス・交通の利便性		
1	男・80代	コミュニティバスの様な交通機関がほしい。現在たよりになるのはジャスコのバスのみ。
2	女・60代	**高齢化が進む中で、最寄りの駅までの交通手段（バス）の本数が少なすぎると思います。私は高齢者ですが、以前に雨が降る日、バスに乗っていた時です。バスの本数が減っていたのでとても混んでいました。そこにある停留所で、ベビーカーに赤ちゃんを連れたお母さんがいました。でも乗り込むには、かなりキツイ状態でしたが、なんとか乗れるようにと思っていましたが運転手が「次のバスへ乗って下さい。」と言ったのです。私はそんな…次は一時間あとなのに…と思い、奥の方へつめるように皆で協力しました。交通の便が不便になるとは過疎化つながり、子育てもしづらい町につながると思います。どうぞ子育て中の親御さんや高齢者でも行動範囲が広げられるよう交通の便が不便にならないようお願いします。**
3	女・70代	西千葉駅、稲毛海岸行のバス(マイクロバスでも)の運行をお願いしたいです。
4	男・80代	1タテ・横に貫通する道路が欲しい。2近くに鉄道の駅が欲しい
5	女・50代	バスの本数を増やしてほしいまだまだ交通の便が不便。
6	男・50代	団地内の廃校を若い人達の意見を聞いて人々が集う場所にしてもらいたい。団地側から京葉線を自転車や徒歩で渡れる、地下道などを作ってもらいたい。西千葉駅南口から幸町団地方面のバスを運行してもらいたい。
7	男・50代	バスの本数が少なすぎる
8	男・30代	バスの便数がどんどん減っていっており、不便に感じる。気軽に千葉駅や稲毛駅方面に行けるようになるとありがたい。
9	女・80代	稲毛海岸駅のアクセスが悪い、交通機関が少なくてとても不便、稲毛海岸駅⇔幸町バスがマリピア往復（昼間のみの1時間に1本）しかない、タクシーもない時は30分強です。
10	男・60代	自然豊かであるが公共交通機関が不便です。
11	女・50代	廃校のグラウンド等有効活用、交通の便、バスの時間、千葉駅、西千葉駅へのバス、ショッピングモール、若者が集まるような飲食店、病院、公園(ボール遊びできるような)
12	女・80代	お世話になっています。感謝の生活です。近くに総合病院がほしいですネ。千葉駅に出る。バスの回数が欲しいです。
13	女・90代	現在は年をとり過ぎ行動出来ないが町作りに関心あり。交通は非常に不便。若い頃は自転車でどこへも行けたが今はバス利用。バスが時間があけすぎ不便、タクシーのみでは生活出来ない、タクシーも少ない。住み続けたいが1番こまるのは交通。
14	女・30代	**交通の利便性の向上を期待します。お年よりの多い地域のため、コンビニやスーパーなどの店員さんがとても親切なように感じます。とてもおどろいた点です。**

15	女・50代	**医療の充実　バスの増便　災害時の行動についての具体的な冊子作成**
16	男・70代	自家用車を持たない人の移動手段が不便。バスは路線・時刻が今いち。要は、鉄道がない　これも不便。
17	女・50代	**自分は参加しなくても、ご年配の方が、元気に明るく、快適に暮らせる活動を今後も続けてほしい。外国人を住まわせるなら、ルールを理解させる為、例えば、2時間講習とか受けさせてほしい。日本人の生活を守ってほしい。★バスの最終（土・日・休日）が一本でいいので1時間、遅いとありがたい。団地バスと京成の交代で、どちらか1本でいいので。**
18	女・50代	**・廃校の再利用の迅速化　・京葉線の駅までの交通機関（バス）　・中高生以上が利用できる施設**
19	女・40代	バスの運行本数が各方面減っているのが不便になってきたと感じる。稲毛海岸へのバスが4本しかないとはいい。MrMaxなど線路越えればすぐのところも遠まわりで、バスのアクセスがなくなったのは不便。団地内医療機関　各科←耳鼻科、整形外科など　あったら便利なのにと思う。飲食店、商店街が無いのは残念（URの団地だと、花見川やさつきが丘みたいな）
20	女・50代	団地バスの本数を増やしてほしい（夜間）（平日夕方の千葉行き）
21	女・70代	是非ともバス交通昼間でも便利よく走らせてほしいです。幸町中央から千葉が少ない。
22	男・60代	・リソースの問題で仕方がないとは承知していますが、バスの便が悪い（特に千葉駅方面）事が気になります。　・医療センターや市役所が近い事は良い事であると感じています。（美浜区役所は遠いですが、、、）
23	女・60代	**京葉線に「幸町駅」を作ってほしい。最初はこのアンケートに関心がなく開封したのも7月5日（土）です。でも、回収ボックスを見る度に返送用封筒が増えているを目にしてきました。多くの住民が協力している様子に励まされ、自分も時間を作ってアンケートに答えようと思いました。**
24	女・70代	**本屋さんが近くに会ったら嬉しいです。京葉線の駅まで出るのが大変です**
25	男・40代	交通が非常に不便！引越し予定あり！
⑦跡地利用		
1	無回答	**廃校の市立幸町第2小学校運動場を開放してください**
⑧防災		
1	男・70代	問15関連ですが、毎年異常気象とか言ってますが、大雨などで道路に水があふれて洪水になっておりますがその原因の一つとして排水溝の整備不足にあると思います。落葉、タバコがつまり、清掃が全くされていなくて、そこに草木が生えており、管が詰まり流れが悪くなっているのを国、県、市は分かっているけど無視している。台風の時必ず見当たる。
2	女・50代	線状降水帯が昨年、起こった時に冠水がすごかったです。地盤が心配です。
⑨要望など		
1	女・50代	とても過ごしやすいのですが、年令57才となり階段の登り下りが辛くなって来ています。5階、エレーベーターなしだとこれからもっと辛くなると思います。1階、2階は防犯上不安ですし、残念ながらいずれは引っ越ししなくてはと思っています。エレベーターを付けて頂けるとこのまま住み続けられるのになーと思っております。やはり5階は上階の物音もなく過ごしやすいんです…。
2	女・80代	この町は住みやすい所だと感謝しています。　要望としましては幸町から14号を横切る歩道橋（24時間ジムの所）のいたみみが酷く、止めてある枠（？）がとび出していたり穴が開いていたり危険です。なおしていただけたらと思います。　・バスの便が以前は千葉へ行くのも楽でしたけど、今、社会問題でもありますが便数が減り、高齢者は外へ出るのが大変だと思います。増やして（元通りに）いただけたらと思います。
3	男・90代	高齢者が多く、居場所作って欲しい。外国人が多くなっており、おつきあい場所がない。おつきあい方法をおしえたい。10街区内空家が多くなっている。
4	女・70代	**コインランドリーが近くにほしいです。1人住まいの人の食事、特に男の人は1人で1日だれとも話をしない人が多いと思います。その人達のための気軽にできる運動と食事（昼食）があったら・・・・現在の子供食堂のような・・・・子供にも老人にもやさしい場所が必要だとおもいます。**
5	女・90代	①10街区の街灯をキレイなものにしてほしい。くらいので。←8街区みたいな②パーキングの広さ(横幅)をもう少し広く出来たらうれしい③同じとしくらいの子供があつまれる集会？など知るにはどうしたら良い？小学校入学前
6	女・20代	もっとエレベーター付きの団地を増やしてほしい。外国人の騒音対策に力を入れてほしい。1階のベランダ前の芝生に侵入して遊んでいる子供たちに注意してほしい。一方通行を逆走して駐車じょゆに入ってきたり団地内の抜け道として利用している車をしっかり取り締まってほしい。
7	女・80代	長寿を祝う会を願っている　バス旅行も再会できればと楽しみが増して日々の思い出もできるのではないかと思います。が連絡ができないので一度も参加したことがないです。
8	女・70代	UR(賃貸)に住んでいますが公営（県営や市営）のように収入により家賃を（収入の少ない人は安く？）決めていただけないですか？市営、県営に住んだことはありませんがURの方々は親切？かなと思います。京葉線で幸町に駅ができることはないですか。
9	男・50代	カラス・ハト・ムクドリ・すずめ等の害鳥を駆除してもらいたい。清潔な町づくりをお願いしたい。又、URに外国人の住人が増えていて夜中に大声で話していた入り、たむろしていたりと治安が悪いのをどうにかしてほしい。
10	女・80代	幸町団地大好きです　12月もちつきお願いします　たべたいです・・・・・？
11	女・70代	散歩や、読書等出来る公園が有ると最良い
12	女・50代	・仕事をフルでしているので色々お手伝いが出来なくていつも申し訳なく思っております。 ・友人や親せきを当日でも呼んで駐車場を500円で利用できると嬉しいです（いつもは前もって自治会様にお金を払って申込まないといけないので……）。団地内パーキングはすぐ満車になってしまうので……。
13	男・60代	このアンケートは、幸町の街づくりに必ず役立ててください。要望ですが、どこかに宅配ボックスをお願いします。置配が進められているので不安です。高齢者に優しい街づくりをお願いします。バリアフリーなどの改修をお願いします。
14	女・60代	幸町団地に住んでいますが、団地にもエレベーターが必要だと思います。
15	女・70代	コインランドリーが無い
16	女・20代	電車までがとおい。ごはん屋さんが少ない。コンビニがへった。
17	女・70代	換気扇を浴室に付けてくれたら問題なし（幸町団地
18	女・30代	旧二小と10街区（2棟・3棟ベランダ側）の間の道の街灯があまりなく夜になると暗く感じます。街灯を増やして頂けると歩きやすいです。
19	男・40代	公園の中に、運動のできる用具が多いと楽しい。※部屋から、見えすぎる広場では利用者は少ないのでNG　※ウォーキングの途中で遊歩道に間隔をあけて、利用出来たら、多数喜びそう　※なんでも、コミュニケーションをとろうとしないで1人で、行動したい人のほうが多いのもお分かり下さい。
20	男・20代	もっと緑を増やしてほしいです。私が4年住んだ感想として、都会のふりをしている田舎というイメージです。それならもっと木を植えて幸町2丁目の独自路線を歩いてほしいですね。私は散歩を毎日2時間はしています。市原とかは緑が多くて公園もあり、親子で仲良く遊んでいます。無理して都会化を目指すのではなく、人口が減っても住みやすい町にしたら、未来の住民も笑顔になるのではないでしょうか。
21	女・80代	団地内放送のアナウンスが聞き取れない。一度検証して伝えられているのか聞こえているのか調べて欲しい。団地内に空地ができた時に、スポーツ施設、子供の利用できる広場等の利用にしたらどうか、という意見を自治会新聞で目にしている。私的には、ほっとできる安価なカフェの常設、一人ぼーっとできる場所、知人と、公民館の趣味活動の後の談笑の場が欲しい。公的な、利用目的のみでなく、民間の力やあるいは、社会福祉施設の活動の一つとしての販売店や食堂でもよい。例えばドトールのような店の誘致も嬉しい。
22	女・50代	**・農園を造って野菜作り等をしてみたい　・ファミリーレストランがあるとうれしい**
23	男・60代	特にありません。が、商店街が出来ればと思います
24	女・40代	URの空き駐車場をマンションの駐車場空き待ちの人に貸してほしい
⑩その他		
1	男・60代	この20年で変わって来たこと。高齢化が進んだ、空住戸が増えた、祭りが縮小、桜並木が枯れて来た、街灯が明るくなった（LED）、バスの便がかなり減った、特にMNRやアリオの無料バスがなくなった。バスをあまり見かけなくなった。
2	女・70代	旧幸町第一小学校　旧幸町第二小学校の処分を至急に考えてほしいです。
3	男・60代	この町が誕生して今年で56年になる。ある本に書いてあったことですが「日本は敗戦により焼け野原に建てる住宅が、810万戸必要である、しかし年間に11万戸を建てるのが精一杯。そこで日本住宅公団が出来、標準化された住宅団地を建設することを行った。畳のサイズも京間、中京間、江戸間ではなく、江戸間より一回り小さい団地サイズ」を作り出した。時は昭和から平成に代わるころ、建替えの話が出るか7～8年間話題になったが、頓座した。そこには老後においてあるいは急病において、あるいは事故によって自身の身体が障碍者になったからという誰一人考えなかった。年金生活者となってしまってからでは遅いと思う。バリアフリーになっていない住戸、いくらリフォーム、リノベーションを行っても狭い階段では難しい。今更ながらであると思う。

4	男・80代	1)このアンケートは高齢化が進む10街区住民の民意を汲み取るアンケートとして100点は遠い　2)自分の年を考えずに申せばQ7の勉強会の立ち上げに御校と千葉大・URを中心に傾注して欲しい。
5	男・60代	歩道橋など老朽化した施設の修理メンテナンスの充実。
6	女・50代	子供が小さい頃は、いろいろな行事に参加したり、主催者側や協力をする機会が多かったが、子の成長とともに遠ざかっていった。現在は自分の仕事が優先で、そのような行事に時間を使おうとする意識はなくなってきている。自分が年を重ねるとまた違う意識となっていくのかな？
7	男・60代	幸町には店舗を作る場所が無い為、クリーニング、飲食店、食事処等楽しむ施設がほしい。
8	女・40代	問19の意味、必要性がよく分からなかった。
9	女・80代	隣は何をする人ぞ？
10	男・60代	設問への解答欄選択項目が、やや難しい(判断が難しい)
11	男・40代	何も協力出来ず、申し訳無く思っています。
12	女・70代	UR以外に住んでいますと、とても疎外感が有ります。
13	女・80代	夫が病気でしょうじゅレジデンスに入所、私も膝が悪く、前の住居が中高層5階の階だった為に夫と共に入居しました。近所方も知りあいが無かったが、次第に友達も出き、公民館や団地の祭りにも見物に行くようになり、この町に永住したいと思います。
14	女・80代	・団地が築50年以上と古いため、耐震性が心配です。どうなっているのか知りたいです。(津波、液状化等も)・改築などはしないのでしょうか。(耐震工事も)・洗面所お湯が出ないのも冬場困っています。・緑が多く散策などはしやすいので、よく手がいき届いていると感じています。
15	男・70代	居住して約1年で、日中は外に出ていますので、このまちについての理解がほとんどありません。申し訳ありません。
16	男・70代	幸町団地11街区の大修繕がつい先日、終了しました。UR側も多大な予算の元の大修繕でしたので、あと10年は住めるかと思っております。建て替えですることなく、ここを終の棲家になればと思っております。
17	女・50代	感想　・生きていく上で、気にかけて暮らしていけると良い事に気付けた。が、、、、自分の年齢では、まだまだ子供も親の手が掛かるので自分の心も体もいろいろ後回しにしがちで、あまり考える余裕はないです。1か月に1日は、そういうことも考えられる時間を作りたいと思います。
18	男・60代	外国人が増えてきているように思うが、漠然とした心配を持っている
19	女・80代	最後までこの街で・・・・。自分達なりに生きて子供も社会的にも必要転孫もしっかりと自分の道を責任を負い生きてます。あとは自分たちの今後)街には子供が少なく外国人が多くてなかなか大変・・・。すべてがです。自治会も役割にもむずかしい様です。どうなるのか・・・子供もこの家は不用とか？
20	女・80代	時々、(団地内の)道ばたで農家から直接、とりたての野菜を売っている時は、新鮮で買うのですが、とてもおいしい！こういった野菜、くだものを定期的に車で売りに来てくれる農家はいないでしょうか？必ず買います！！
21	女・60代	自治会の皆さま、いつもご苦労様です。幸町公民館のサークルを利用させていただいております。これからも協力していきたいと思っております
22	女・60代	犬のふん、尿、たぶんほとんどの飼主さんは自覚し処理していますが、一部(たぶん同じ人。犬のふんの大きさが同じだから)が、ルール違反!!どうにか処理して欲しい。一部の人の為に団地の中の遊歩道が使えなくなりました。残念。飼主同士での注意しかないのでしょうかね、解決策は。
23	女・80代	お互いが信頼出来る地域社会を目指していきたい!!　★皆々様の声を●い
24	女・60代	幸町2丁目のことをお考えいただきありがとうございました。
25	女・60代	ありがとうございます。よろしくお願いします。
⑪調査やまちづくりへの意見		
1	女・60代	**このような調査を通じて、このまちで何も貢献できない上にまちで起きていることもほとんど知らずに暮らしていると痛感しました。今後災害などが起きた時、隣の人の名前も顔も知らないようでは非常に危険だと思います。できる限り人やまちにかかわって生活していきたいと感じました。ありがとうございます。**
2	女・70代	**ずーっと働いてきましたが、最近仕事をやめました。地域活動はほとんど参加しませんでした。時間が出来た今、何かに参加させて頂きたいと思っています。この様なアンケートを実施してこの町を良くして行こうと考えて下さっている方がいることを嬉しく思いました。**
3	男・60代	ネットでのアンケートを併用できれば集計・分析も楽になると思うのですが
4	女・80代	5月末に引っ越して来ましたので、全然様子がわからなくて、アンケートに答える事が出来ませんでした。よろしくお願い致します。
5	男・50代	アンケートはアンケートを取る事が最終の目的ではなく、どう改善した、やどう変更したを重視すべきだと思います。暮しぶりをテーマにしたアンケートで最終学歴を記入する必要性が良くわからない。
6	女・90代	漠然としすぎてわかりにくいアンケートだと思う
7	女・60代	調査に関する感想は特にありません。まちづくりに関しては、市の放送、防災無線が聞こえません。電源が切られているかmスピーカーのボリュームがoffになっているのか、災害時に心配です。AEDが団地の中でも設置場所にかたよりがあるように思います。防災倉庫や集会所にも設置してほしいと思います

調　査　票

暮らしぶりに関するアンケート

問 1. あなたは、このまち（幸町 2 丁目）で不定期に行われている（過去に行われていた）イベントに参加した経験はありますか。それぞれ
あてはまるものに○をつけてください（○はひとつずつ）

1 何度も参加したことがある	2 数回参加したことがある	3 参加したことがない	4 知らなかったが参加したい

a. UR 主催イベント

（民族楽器演奏会、親子体操、健康体操、自習室など）……1……2……3……4

b. 自治会主催イベント（団地祭り、七夕祭り、もちつき）……1……2……3……4

c. 幸町 2 丁目地区部会イベント

（高齢者委員会：お楽しみ会、長寿を祝う会）……1……2……3……4

d. 幸町 2 丁目地区部会イベント

（障害者福祉委員会：ボッチャ、バス旅行）……1……2……3……4

e. 幸町 2 丁目地区部会イベント

（児童母子福祉委員会：料理教室、ボーリング大会）……1……2……3……4

f. 幸町 2 丁目地区部会イベント

（ボランティア委員会：地区部会だより発行作業）……1……2……3……4

g. 青少年育成委員会イベント

（オータムスクール）……1……2……3……4

h. 幸町子育てリラックス館イベント（にんぎょうげき、

育児相談と身体測定、わいわいたいむ）……1……2……3……4

i. その他イベント（具体的にお書きください：　　）

問 2. あなたは、問 1 のａ～ｈのようなイベントにこれからも参加したいですか（〇はひとつ）。よろしければ下の自由記述欄にそのように回答した理由をお書きください

1. 参加したい　　2. どちらかといえば参加したい

3. どちらかといえば参加したくない　　4. 参加したくない

自由記述（回答の理由をお書きください）

問 3. あなたは、問 1 のａ～ｈのようなイベントの**運営**に協力したいと思いますか（〇はひとつずつ）。その他、協力したいことがあれば f の自由記述欄にお書きください

1 とてもそう思う	2 そう思う	3 そう思わない	4 まったくそう思わない

a. 企画の提案…… 1……2……3……4

b. イベントの宣伝…… 1……2……3……4

c. チラシの作成…… 1……2……3……4

d. 前日や当日の簡単なお手伝い…… 1……2……3……4

e. イベント協力者の勧誘…… 1……2……3……4

f. その他（具体的に:　　）

問 4. このまちで定期的に開かれているイベントのうち、あなたが知っているものすべてに○をつけてください（○はいくつでも）

1. UR サークル活動（健康マージャン、ポールウォーキング、太極拳、ラジオ体操など）
2. 幸町団地自治会（憩いの場さいわい、ラジオ体操）
3. 幸町 2 丁目地区部会（ふれあいいきいきサロン）
4. しょうじゅレジデンス（認知症カフェ）
5. あんしんケアセンター幸町（ゆるり健康教室）
6. 幸町子育てリラックス館（わらべうたベビーマッサージ、ママとベビーのマッサージ、インスパイリングエクササイズ、みんなでいっしょに、パパもいっしょに、あかちゃんあつまれ）
7. 幸町公民館内の各サークル
8. その他（シニアリーダー体操など）

問 5. あなたは、以下の地域の共用スペースにおいて、他の住民とどのくらい日常的な交流がありますか（イベントを除く）（○はひとつずつ）

1 かなり交流がある	2 たまに交流がある	3 あまり交流がない	4 まったく交流がない	5 利用したことがない

a. 幸町公民館…… 1……2……3……4……5
b. 幸町子育てリラックス館…… 1……2……3……4……5
c. ふくふく広場…… 1……2……3……4……5
d. 幸町団地内の各集会所…… 1……2……3……4……5
e. 団地以外の自治会館の集会所や集会室…… 1……2……3……4……5
f. 幸町団地内の公園…… 1……2……3……4……5
g. 千葉市が管轄する公園…… 1……2……3……4……5
h. その他（具体的に: ）

問 6. あなたは異なる世代の人（5 歳以上離れた人）と日常的な交流がありますか。家族との会話や仕事上のやりとりは除きます（〇はひとつ）

1. よくある　　2. たまにある

3. あまりない　　4. まったくない

問 7. あなたは、今住んでいるこのまちについてどのように感じていますか（〇はひとつずつ）

1 あてはまる	2 どちらかといえばあてはまる	3 どちらかといえばあてはまらない	4 あてはまらない

a. このまちはリラックスできる……1……2……3……4

b. 雰囲気や土地柄が気に入っている……1……2……3……4

c. このまちを歩くのは気持ちよい……1……2……3……4

d. お気に入りの場所がある……1……2……3……4

e. 自分のまちという感じがする……1……2……3……4

f. このまちが好きだ……1……2……3……4

g. まちに思い出がある……1……2……3……4

h. まちに自分の居場所がある……1……2……3……4

i. このまちは住みやすい……1……2……3……4

j. このまちにずっと住みたい……1……2……3……4

問 8.あなたは自身がケガや病気など体調不良で人の手を借りたいとき、どなたに相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください（〇はいくつでも）

1. 同居または近居の家族・親戚
2. 遠方の家族・親戚（日帰りでは行き来できない場所に住んでいる家族・親戚）
3. 近所の知人・友人（自治会・民生委員など地域の役職者を含む）
4. 遠方の知人・友人
5. 医師やケアマネジャーなどの専門職者
6. 市や区（役所や公的窓口）、警察や消防・救急
7. 千葉市あんしんケアセンター（地域包括支援センター）
8. 相談できる人がいない
9. その他（具体的に:　　）

問9.あなた自身が職場・学校・近所づきあいで嫌がらせ（ハラスメント）を受けたとき、どなたに相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください（〇はいくつでも）

1. 同居または近居の家族・親戚
2. 遠方の家族・親戚（日帰りでは行き来できない場所に住んでいる家族・親戚）
3. 近所の知人・友人（自治会・民生委員など地域の役職者を含む）
4. 遠方の知人・友人
5. 医師やケアマネジャーなどの専門職者
6. 市や区（役所や公的窓口）、警察や消防・救急
7. 千葉市あんしんケアセンター（地域包括支援センター）
8. 相談できる人がいない
9. その他（具体的に:　　）

問 10. あなたは、近所で家庭内暴力や虐待を受けているかもしれない人に気づいたとき、どなたに相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください（○はいくつでも）

1. 同居または近居の家族・親戚
2. 遠方の家族・親戚（日帰りでは行き来できない場所に住んでいる家族・親戚）
3. 近所の知人・友人（自治会・民生委員など地域の役職者を含む）
4. 遠方の知人・友人
5. 医師やケアマネジャーなどの専門職者
6. 市や区（役所や公的窓口）、警察や消防・救急
7. 千葉市あんしんケアセンター（地域包括支援センター）
8. 相談できる人がいない
9. その他（具体的に: ）

問 11. あなたは、以下の a～e についてどう思いますか
あてはまるものに○をつけてください （○はひとつずつ）

	1 満足している	2 まあ満足している	3 やや不満だ	4 不満だ
a. 収入に対して満足している	1	2	3	4
b. 貯蓄に対して満足している	1	2	3	4
c. 食生活に対して満足している	1	2	3	4
d. 住生活に対して満足している	1	2	3	4
e. レジャー・余暇生活に対して満足している	1	2	3	4

問 12. あなたは、全体として見ると、現在の生活にどの程度満足していますか
（○はひとつ）

1. 満足している　　2. まあ満足している
3. やや不満だ　　4. 不満だ

問 13. あなたは、今住んでいるまちについてどのようにお考えですか。以下の a～l それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください（○はひとつずつ）

1 あてはまる	2 どちらかといえばあてはまる	3 どちらかといえばあてはまらない	4 あてはまらない

a. このまちは公共交通機関の利用がしやすい …… 1……2……3……4
b. このまちは清潔だ …… 1……2……3……4
c. このまちの自然は豊かだ …… 1……2……3……4
d. このまちは静穏だ …… 1……2……3……4
e. このまちは近隣住民との交流がしやすい …… 1……2……3……4
f. このまちは家族や友人との交流がしやすい …… 1……2……3……4
g. このまちの人はルールを守る …… 1……2……3……4
h. このまちの人は親切だ …… 1……2……3……4
i. 私には、よく会話する人がこのまちにいる …… 1……2……3……4
j. 私には、困ったときに頼れる人がこのまちにいる …… 1……2……3……4
k. 私には、信頼できる人がこのまちにいる …… 1……2……3……4
l. 私には、普段から気にかけている人がこのまちにいる …… 1……2……3……4

問 14. このまちでは防災訓練が毎年開催されています。あなたは参加していますか。あてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

1. 必ず参加している　　2. できるだけ参加している
3. 以前は参加していたが、最近は参加していない　　4. 参加したことはない

問 15. 自然災害に備えてあなたや同居家族が行っていることはありますか
あてはまるものすべてに○をつけてください（○はいくつでも）

1. 食糧の備蓄
2. 飲料水の備蓄
3. 懐中電灯の準備
4. ラジオの準備
5. 非常用の持出し袋の準備
6. 生活用水の汲み置きや備蓄
7. 簡易携帯トイレの準備
8. スマートフォンや携帯電話の電池切れ対策
9. 家具の固定や転倒防止
10. 感震ブレーカーの設置
11. 家屋の耐震強化
12. 土のうの用意
13. 暴風対策（片付け・ガラス飛散防止）
14. 地震保険や火災保険などへの加入
15. 家族との連絡方法の確認
16. 帰宅経路や帰宅困難時の対応の確認
17. 避難場所の確認
18. 災害情報の積極的な収集
19. 防災訓練への参加
20. まちの避難所の安全性の下調べ
21. 特に何もしていない

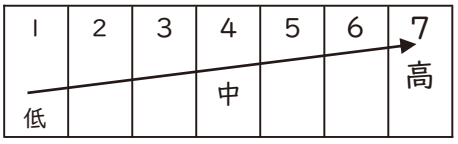
問 16. あなたは、このまちに住みつづけたいですか。あてはまるものに○をつけてください
（○はひとつ）

1. いまの住まいに住みつづけたい
2. このまちのなかで住み替えたい
3. いずれは引っ越しをしたい
4. わからない

問 17. あなたは、全体的にみて、このまちに満足していますか。あてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

1. とても満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば満足していない
4. まったく満足していない

問 18. あなたは、このまちの a ～l についてどの程度、関心がありますか。あてはまるものに○をつけてください（○はひとつずつ）



a. 子育てしやすい環境づくり……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
b. 安心して暮らせる地域づくり……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
c. 教育環境の充実……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
d. 医療・福祉体制の充実化……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
e. 飲食店のさらなる充実……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
f. 騒音対策の充実……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
g. 交通の利便性向上……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
h. 買い物環境の利便性向上……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
i. 交流の活性化……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
j. まちの景観の保全……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
k. 街灯の整備……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7
l. 防災対策の充実……1･･･2･･･3･･･4･･･5･･･6･･･7

問 19. あなたは、以下についてどう思いますか。あてはまるものに○をつけてください（○はひとつずつ）

1	2	3	4
あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない

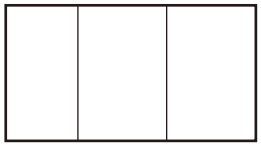
a. ほとんどの人は信頼できる……1……2……3……4
b. たいていの人は、人から信頼された場合、同じように信頼する……1……2……3……4
c. ほとんどの人は他人を信頼している……1……2……3……4
d. ほとんどの人は基本的に正直である……1……2……3……4
e. 私は人を信頼するほうである……1……2……3……4
f. ほとんどの人は基本的に善良で親切である……1……2……3……4

問 20. あなたの性別を教えてください（〇はひとつ）

1. 男　　2. 女　　3. その他　　4. 答えたくない

問 21. あなたの年齢を教えてください

数字をお書きください



歳

問 22. あなたの配偶関係を教えてください（〇はひとつ）

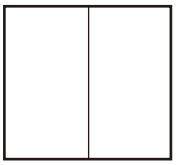
1. 未婚　　2. 既婚（現在、配偶者がいる）　　3. 既婚の経験あり（離・死別）

問 23 . あなたは幸町2丁目地区に何年お住まいですか。

数字をお書きください。このまちのなかで引越経験の

ある方は通算年数でお答えください

およそ



年

問 24. あなたの世帯構成を教えてください（〇はひとつ）

1. 一人暮らし　　2. 夫婦のみ

3. 夫婦と未婚の子ども（一人親を含む）　　4. その他

問 25. あなたの同居家族には、中学生以下の子どもがいますか

1. いる　　2. いない

問 26. あなたの現在のお住まいにあてはまるものに〇をつけてください（〇はひとつ）

1. UR（賃貸）　　2. UR 10 街区および 15 街区（分譲）

3. UR 以外の集合住宅（分譲）　　4. UR 以外の集合住宅（賃貸）

5. 一戸建て（持ち家）　　6. 一戸建て（賃貸）

7. その他（　　）

問 27. あなたが最後に通った（または在学中の）学校を教えてください（〇はひとつ）

1. 中学校　2. 高校　3. 専門学校　4. 短大・高専
5. 大学　6. 大学院　7. その他

問 28. あなたの職業を教えてください

1. 経営者・役員
2. 常時雇用されている会社員・公務員
3. 派遣社員・契約社員・嘱託社員
4. パート・アルバイト
5. 自営業主（家族従業者を含む）、自由業者
6. 専業主婦・主夫
7. 学生
8. 無職（年金受給等）
9. その他（　　）

最後に、調査の感想やまちづくりに対するお考えがございましたらご記載ください。

また、まちのイベントなどに協力したい・お知りになりたい方は、各自治会やあんしんケアセンター幸町など、このまちを支える各所までご連絡ください。

ご協力ありがとうございました

返送用封筒に密封し、郵便ポストか指定の回収ボックスへご投函下さい

令和７年度　社会調査実習報告書　第14号

発　行：2026 年 3 月 31 日
発行者：淑徳大学コミュニティ政策学部
〒260-8701
千葉市中央区大巌寺町200
℡　043−265－7331
印　刷：株式会社　正文社